

- 五 分割後存続スル組合又ハ組合聯合會ノ分割ニ伴フ規約變更ノ認可申請書類ノ寫
- 六 合併後存続スル組合又ハ組合聯合會アル場合ニ於テハ其ノ組合又ハ組合聯合會ノ合併ニ伴フ規約變更ノ認可申請書類ノ寫
- 三 組合ノ解散ヲ認可セントスルトキ若ハ代行人ニ代行事業ノ廢止ヲ許可セントスルトキ又ハ組合聯合會ノ解散ヲ認可セントスルトキハ其ノ認可又ハ許可ノ申請書類ノ寫ヲ添ヘ社會保險局長ニ内職スルコト
- 四 (削除)
- 五 法第十一條ノ二第三項ノ規定ニ依リ規約ヲ作成セントスルトキハ其ノ理由ヲ具シ社會保險局長ニ内職スルコト(規約ヲ添附スルコト)
- 六 (削除)
- 七 法第四十五條ノ規定ニ依リ組合ノ解散ヲ命セントスルトキ若ハ代行人ニ對シ組合ノ事業代行ノ許可ノ取消ヲ爲サントスルトキ又ハ組合聯合會ノ解散ヲ命セントスルトキハ其ノ理由ヲ具シ社會保險局長ニ内職スルコト
- 八 組合又ハ代行人ヨリ國民健康保險庫補助金交付規程第三條又ハ第四條ノ規定ニ依リ補助金交付ノ申請書提出アリタルトキハ意見ヲ附シテ之ヲ進達スルコト

- 九 左ノ場合ニ於テハ遲滞ナク保險院長官ニ報告スルコト
 - 一 組合ノ設立ヲ認可シタルトキ若ハ法第十一條ノ二第三項ノ規定ニ依リ規約ヲ作成シタルトキ若ハ法人ニ組合ノ事業代行ヲ許可シタルトキ又ハ組合聯合會ノ設立ヲ認可シタルトキ(認可ハ法第十一條ノ二第三項ノ規定ニ依ル規約作成又ハ許可ノ年月日ヲ具スルコト)
 - 二 組合又ハ組合聯合會ノ分割又ハ合併ヲ認可シタルトキ(認可ノ年月日ヲ具スルコト)
 - 三 組合ノ解散ヲ認可シタルトキ若ハ代行人ニ代行事業ノ廢止ヲ許可シタルトキ又ハ組合聯合會ノ解散ヲ認可シタルトキ(認可又ハ年月日ヲ具スルコト)
 - 四 組合員ノ缺亡ニ因リ組合カ解散シタルトキ又ハ會員ノ缺亡ニ因リ組合聯合會カ解散シタルトキ(解散ノ年月日ヲ具スルコト)
 - 五 代行人カ其ノ名稱、地區又ハ事務所ノ所在地ヲ變更シタルトキ(變更ノ年月日ヲ具スルコト)
 - 六 代行人カ解散シタルトキ(解散ノ年月日ヲ具スルコト)
 - 七 組合ノ規約若ハ代行人ノ國民健康保險規程又ハ組合聯合會ノ規約中左ノ事項ニ關スル變更ヲ認可シタルトキ(認可ノ年月日ヲ具シ保險料ノ等級又ハ額ノ變更ニ關スルモノニ在リテハ之ニ關スル保險料算出ノ基礎ヲ示シタル書面ノ寫)

(四二)

- 五 (寫ヲ添附スルコト)
- (一) 組合又ハ組合聯合會ノ名稱
- (二) 事務所ノ所在地
- (三) 組合地區(特別國民健康保險組合ニ在リテハ組合員ノ範圍)
- (四) 保險給付ノ種類
- (五) 療養ノ給付ノ支給期間
- (六) 保險料ノ等級若ハ額又ハ納期
- (七) 組合會議員又ハ理事ノ定數
- 八 組合ニ付法第十三條第一項ノ規定ニ依リ指定ヲ爲シタルトキ又ハ代行人ニ付法第五十四條ノ二第一項ノ規定ニ依リ指定ヲ爲シタルトキ(理由並ニ法施行規則第七十條第二號又ハ同則第九十條ノ二第二號ニ該當スル者ノ種類、指定ニ依リ新ニ被保險者ト爲リタル者ノ數、指定ノ日前日ノ現在ニ於テ被保險者數及指定ノ年月日ヲ具スルコト)
- 八ノ二 法第四十條ノ二ノ規定ニ依リ組合又ハ代行人ニ對シ組合聯合會ニ加入スヘキコトヲ命シタルトキ(理由及命令ノ年月日ヲ具スルコト)
- 九 法第四十三條ノ規定ニ依リ組合若ハ代行人又ハ組合聯合會ニ規約又ハ國民健康保險規程ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲シタルトキ(理由及命令又ハ處分ノ年月日ヲ具スルコト)

- 處分ノ年月日ヲ具スルコト但シ規約又ハ國民健康保險規程ノ變更命令ニ在リテハ理由ヲ除ク)
- 十 法第四十四條第一項ノ規定ニ依リ組合若ハ代行人又ハ組合聯合會ノ役員ノ職務ヲ官吏又ハ其ノ他ノ者ヲ指定シテ執行セシメタルトキ(理由並ニ職務ヲ執行スル者ノ官職氏名及其ノ指定ノ年月日ヲ具スルコト)
- 十一 法第四十五條ノ規定ニ依リ組合若ハ代行人又ハ組合聯合會ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解職シタルトキ(理由及取消又ハ解職ノ年月日ヲ具スルコト)
- 十二 法第四十五條ノ規定ニ依リ組合ノ解散ヲ命シタルトキ若ハ代行人ニ對シ組合ノ事業代行ノ許可ノ取消ヲ爲シタルトキ又ハ組合聯合會ノ解散ヲ命シタルトキ(命令又ハ許可取消ノ年月日ヲ具スルコト)
- 十三 組合若ハ代行人又ハ組合聯合會ニ於テ醫師、齒科醫師、藥劑師其ノ他ノ者又ハ其ノ團體トノ間ニ保險給付ニ關スル契約ヲ爲シタルトキ(契約書ノ寫ヲ添附スルコト)
- 十 組合若ハ代行人又ハ組合聯合會ヨリ毎年度ノ收支決算及事業報告ノ届出アリタルトキハ其ノ届出ニ係リ收支決算書及事業報告書(添附書類タル財産目錄ヲ含ム)ノ寫ヲ遲滞ナク保險局長ニ送付スルコト
- 十一 組合又ハ代行人ヨリ毎月ノ事業狀況ノ報告アリタルト

キハ其ノ報告ニ係ル事業狀況報告書ノ寫ヲ遲滞ナク保險院ニ送付スルコト

●無醫村ニ對スル醫療機關設置 ト國民健康保險トノ關係ニ關スル件

(昭和十四年五月二十日社發第四六四號通則)
厚生省衛生局長長保院社會保險局長通則

地方長官宛

無醫村ニ對スル醫療機關設置ト國民健康保險トノ關係ニ關スル件

無醫村ニ對スル醫療機關設置ノ事業ハ逐年其ノ實績ヲ舉ケツツアル處ナルカ此等無醫村ニ設置セラレタル醫療機關ノ經營並ニ其ノ利用ニ付遺憾ナキヲ期スルハ之カ設置ノ趣旨ニ鑑ミ極メテ緊要事ト被認候ニ就テハ醫療機關ヲ新設セラレタル町村ニ於テハ可及的速カニ國民健康保險制度ヲ實施セシメ以テ醫療機關經營ノ基礎ヲ確實ナラシムルト共ニ其ノ利用ニ付テモ之ヲ普通化セシメ爾々相俟ツテ醫療ノ普及ニ一段ノ成果ヲ擧タル様努メラレ度尙今後無醫村ニ對スル醫療機關設置ト國民健康保險ノ普及ハ常ニ相互連絡ノ上之レカ實施ニ當ル様留意セラレ度

●國民健康保險組合ノ毎年度ノ 決算ノ届出ニ關スル件

社發第四九二號

昭和十四年六月六日

保險院社會保險局長

地方長官宛

國民健康保險組合ノ毎年度ノ決算ノ届出ニ關スル件

國民健康保險法施行規則第七十六條ノ規定ニ依リ國民健康保險組合ヨリ毎年度ノ決算ヲ届出ツル場合ニハ之ニ決算殘金處分ヲ記載シタル書面ヲ添附セシメラレ度

追テ本年三月二十二日附社保第七六號國民健康保險事務取扱ニ關スル件通則ノ十二依リ寫ヲ當院ニ送付セラルル場合ニ於テモ同様ニ取扱ハレ度

(一七二)

●國民健康保險組合聯合會ノ 設立勸奨ニ關スル件

(昭和十五年一月三〇日)
保險院社會保險局長通則

各府縣知事宛

國民健康保險組合聯合會ノ設立勸奨ニ關スル件

國民健康保險組合ノ順調ナル普及ニ伴ヒ之ヲ統合スル國民健康保險組合聯合會ハ既ニ道府縣單位ヲ以テ拾有餘結成セラレ孰モ其ノ機能ヲ著々發揮シツツアル狀況ニ有之候處組合聯合會ハ組合及代行人ノ聯絡統制或ハ共同ノ施設ヲ爲スハ勿論組合ノ普及ニモ極メテ必要ト認メラルルノミナラス過般開催セラレ候第一回國民健康保險全國大會ニ於テ厚生大臣ヨリ發セラレタル諮問ニ對シ組合ノ急速ナル普及ト其ノ健全ナル發達ノ爲ノ具體的方策ノ一トシテ組合聯合會ノ設立ヲ促進セシムヘキ旨答申ノ次第在右之候ニ付テハ本制度ノ圓滿ナル發展ヲ圖ル爲貴府縣ニ於テモ成ルヘク速ニ組合聯合會カ成立スル様管下組合及代行人ニ對シ之カ設立方御勸奨相成度此段及申進候也
追テ組合聯合會ニ對シテモ組合又ハ代行人ニ對スルト同様府縣費ヲ以テ然ルヘキ補助金ヲ交付スル様御考慮相煩度

●市町村職員醫療共濟施設ト 國民健康保險組合トノ調整 ニ關スル件

(昭和十六年四月二十四日内務省發第六九號)
内務省地方局長長保院社會保險局長通則

各地方長官宛

市町村職員醫療共濟施設ト國民健康保險組合トノ調整ニ關スル件

市町村職員互助會等ニ於ケル市町村職員醫療共濟施設ニ關シテハ本年度ヨリ其ノ内容ヲ擴充シテ會員ノ家族ノ疾病又ハ負傷ニ關スル療養ニ對シ療養費ヲ支給シ得ルコトト相成リ右施設ニ對スル國庫ノ助成ニ關シ三月十八日内務省發地第五二號ヲ以テ内務次官ヨリ依命通牒相成候處市町村職員互助會等ニ於ケル市町村職員及其ノ家族ニ對スル醫療施設ト國民健康保險組合トノ關係ニ付テハ之ヲ調整スルノ要アルヲ以テ爾今左記ニ依リ措置セシメラレ度市町村職員互助會等ノ運営並ニ國民健康保險組合ノ設立及運営ニ關シ特ニ御配意相煩度

一 市町村職員互助會等(以下單ニ互助會ト稱ス)ニ於テ行フ醫療共濟施設ノ對象トナル會員及其ノ家族ハ國民健康保

- 險組合（以下單ニ組合ト稱ス）ノ被保險者トナリ得ルコト
- 二 前項ノ場合ニ於ケル會員及其ノ家族（被保險者）ノ疾病又ハ負傷ニ對スル療養ニ付テハ左ニ依リ調整スルコト
- 1 互助會ヨリ療養費ヲ支給スル場合ハ原則トシテ組合ニ於テハ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコト
 - 2 組合ニ於テ支給スル右療養費ノ額ハ療養ニ要シタル額（互助會ニ於ケル療養費支給ノ基準査定額）ヨリ互助會ノ支給スル療養費ノ額ヲ控除シタル額トスルコト
 - 3 地方ノ實情ニ依リ組合ニ於テ右療養費ノ支給ヲ爲スヨリモ療養ノ給付ヲ爲スヲ便宜ト認メラルル場合ハ先ヅ組合ニ於テ療養ノ給付ヲ爲シ得ルコト此ノ場合ニ於テハ互助會ヨリ會員ニ支給スル療養費ハ組合ニ之ヲ支給シ得ルコト
 - 4 互助會員ノ家族ノ疾病負傷ニ關シ互助會ヨリ療養費ヲ支給セザル療養ニ付テハ組合ニ於テ療養ノ給付ヲ爲スコト
 - 5 前項ニ依リ調整スル場合ハ組合ニ於テ當該組合員ノ納ムル保險料又ハ一部負擔ノ額ニ付テハ特別ノ事情アルモノトシテ適宜減免スルコト
 - 6 前三項ニ關シ必要ナル規定ハ互助會定款又ハ定款施行細則及組合ノ組合規約中ニ明記スルコト

●國民健康保險ノ被保險者ノ取扱方ニ關スル件

（昭和十六年七月二十八日）
（社務第一〇一八號）
地方長官宛

國民健康保險ノ被保險者ノ取扱方ニ關スル件

職員健康保險、給員保險、政府職員共済組合及教職員共済組合ノ被保險者又ハ組合員タル者ハ其ノ屬スル施設ニ依リ保護ヲ十全ニ受ケ得ルコトト存セラレ候條之カ重責ヲ避クル爲右ノ如キ者ハ國民健康保險法第十四條第一項第三號ニ所謂「特別ノ事由アル者」ニ該當シ國民健康保險ノ被保險者タルコトヲ得サルモノトシテ御取扱相成度

追テ右ノ取扱ニ基キ國民健康保險組合及組合ノ事業ヲ行フ法人ハ別紙規約變更例ニ倣ヒ其ノ規約又ハ國民健康保險規程ヲ變更スル御指示相成度

（別紙） 普通國民健康保險組合規約變更例

第七條 本組合ハ組合員及其ノ世帯ニ屬スル者ヲ以テ被保險者トス但シ左ニ掲クル者ヲ除ク

一 健康保險、職員健康保險及給員保險ノ被保險者

第一編 國民健康保險 第二款 國民健康保險條例施行細則

（參照）
內務省發地第五二號
昭和十六年三月十八日

北海道廳長官各府縣知事殿

市町村職員共済施設助成ニ關スル件依命通牒

市町村職員ノ醫療共済施設助成ニ關シテハ昭和十五年度ニ於テ其ノ方途ヲ講セラレ候處益々本施設ノ強化徹底ヲ要スル實情ニ鑑ミ昭和十六年度ニ於テハ一段ト本施設ノ內容ヲ擴充シ別紙市町村職員共済施設助成要綱ニ依リ市町村職員互助會等ニ於テ行フ市町村職員及家族ニ對スル療養費給付ノ施設ニ對シ國庫ヨリ助成可相成候ニ付テハ本施設ノ趣旨ヲ徹底セシムルト共ニ當該團體ヲシテ至急申請ノ手續ヲ取運ベシムル様御配慮相成度此段及通牒候也

追而本件申請書ニハ左記書類ヲ添付セシムル様致度申添候

- 記
- 一 定款（會則、規約）及附屬規程
 - 二 共済給付施設關係昭和十六年度歲入出豫算
 - 三 昭和十六年四月一日現在ニ於ケル助成ノ對象トナルベキ會員見込數及給料月額（見込）調
- （市職員、有給町村吏員、其ノ他町村職員別ニ區分スルコト）

（第一九號）

●國民健康保險法中改正法律ノ一部施行ニ關スル件

（昭和十七年五月十三日）
（社務第五八號）
國民健康保險法中改正法律ノ一部施行ニ關スル件

國民健康保險法中改正法律ノ一部施行ニ關スル件

國民健康保險組合ノ強制設立ノ途ヲ拓キ其ノ強制加入ノ制度ヲ

一七五

強化スル等國民健康保險制度ニ劃期的改正ヲ施セル國民健康保險法中改正法律ハ去ル二月二十一日昭和十七年法律第三十九號トシテ公布セラレ候處右法律ノ一部ハ四月二十八日勅令第四百五十六號ヲ以テ五月一日ヨリ施行相成候條左記事項御參照ノ上其ノ實施ニ付テハ萬遺憾ナキヲ期セラレ度此段及通則條也

記

一、施行規定

- 五月一日ヨリ施行セラレタル規定左ノ如シ
- (1) 第十一條(法第十一條ノ三ニ伴フ條文整理)
- (2) 第十一條ノ二(普通國民健康保險組合ノ強制設立ニ關スル規定)
- (3) 第十一條ノ三(組合ノ成立時期ニ關スル規定)
- (4) 第十三條(規會員ノ強制加入ニ關スル改正規定)
- (5) 第二十八條ノ二(官選理事ニ關スル規定)
- (6) 第四十條ノ二(組合又ハ代行人ニ對スル組合聯合會加入強制ニ關スル規定)
- (7) 第五十二條(訴訟法ノ改正ニ伴フ條文整理)
- (8) 第五十四條(代行條件ニ關スル改正規定)
- (9) 第五十四條ノ二(代行人ノ非社員ヲ強制的ニ被保險者

- ト爲スコトニ關スル規定)
- (10) 第五十四條ノ三(當該官吏ノ診療録等ノ検査權ニ關スル規定)
- (11) 第五十六條ノ二(診療録等ヲ検査スル當該官吏ノ默秘義務ニ關スル規定)
- (12) 第五十七條(非訟事件手續法ノ改正ニ伴フ條文整理)

二、未施行規定

- 今回施行セラレザリシ規定左ノ如シ
- (1) 第十九條ノ二乃至第十九條ノ五(保險醫及保險藥劑師ニ關スル規定)
- (2) 第二十一條(療養施設及保健施設ニ關スル改正規定)
- (3) 第四十二條(組合聯合會ノ準用規定ノ改正)
- (4) 第四十六條(第二十一條ノ施設ノ強制施行ニ關スル規定)
- (5) 第四十九條(診療機關ノ範圍ニ關スル地方社會保險審査會ノ意見答申ニ關スル規定ノ廢止)

〔附二〕

和十七年度内ハ仍舊前ノ取扱ニ依ル

三、施行期日ニ關スル勅令

改正法律ノ一部施行期日ニ關スル勅令ニ付テハ別紙(一)(省略)參照ノコト

四、改正國民健康保險法施行規則

- 改正法律ノ一部施行ニ伴ヒ改正シタル國民健康保險法施行規則ニ付テハ別紙(二)(省略)參照ノコト尙改正ノ要旨左ノ如シ
- (1) 普通國民健康保險組合ノ設立命令ニ關スル手續等ヲ規定シタルコト(第一條ノ二、第二條及第六條)
- (2) 設立委員ノ職務ヲ規定シタルコト(第九條ノ二)
- (3) 官選理事ノ職務ヲ規定シタルコト(第九條ノ三)
- (4) 強制設立ニ依ル普通國民健康保險組合又ハ強制加入ノ指定アリタル組合ノ組合員ト爲ルヘキ者ノ範圍ヨリ除外スル者ノ種類ニ關スル規定ヲ改正シタルコト(第七十條及第七十一條)
- (5) 當該官吏カ診療録等ヲ検査スル場合ニ於テハ一定様式ノ證票ヲ携帶スヘキコトヲ規定シタルコト(第八十一條ノ二)
- (6) 代行條件ヲ改正シタルコト(第八十七條)
- (7) 代行事業ノ開始又ハ其ノ廢止ニ關スル申請ハ當該市町村長ヲ經由セシムルコトトシタルコト(第八十八條及第九十

五條)

- (8) 非社員ヲ強制的ニ被保險者ト爲スノ指定アリタル法人ノ被保險者ト爲ルヘキ者ノ範圍ヨリ除外スル者ノ種類ヲ規定シタルコト(第九十條ノ二及第九十條ノ三)
- (9) 其ノ他條文ヲ整理シタルコト(第八十六條及第九十八條) 通則
- 改正法律ノ一部施行ニ伴フ通則トシテ左記件名ヲ以テ保險院社會保險局長ヨリ地方長官宛別途通牒セリ
- (1) 國民健康保險法第五十四條ノ許可ニ關スル件
- (2) 國民健康保險事務取扱ニ關スル件(本件ハ保險院長官發)
- (3) 國民健康保險法第十一條ノ二ノ規定ニ依ル普通國民健康保險組合ノ設立ニ關スル件
- (4) 國民健康保險法第十三條第一項ノ規定ニ依ル國民健康保險組合ノ指定及同法第五十四條ノ二第一項ノ規定ニ依ル組合ノ事業ヲ行フ法人ノ指定ニ關スル件
- (5) 國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人ニ關スル件
- (6) 國民健康保險組合ノ組合員及被保險者ノ取扱方ニ關スル件

●國民健康保險法ノ規定ニ依ル
保險料ニ對スル所得稅課稅方
法ニ關スル件

(昭和十七年六月十六日)
內閣府 縣長 官 宛

國民健康保險法ノ規定ニ依ル保險料ニ對スル所得稅課稅方法ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ今同大藏省ト交渉ノ結果國民健康保險法第二十
二條ノ規定ニ依ル國民健康保險組合(國民健康保險組合ノ事業
ヲ行フ法人ヲ含ム)ノ組合員ノ負擔スル保險料ハ之ヲ生命保險
料ニ準シ前年中ニ拂込ミタル保險料金額ト生命保險料トノ總額
ニ付所得稅法第二十六條ノ二ノ規定ニ依ル控除ヲ認ムルコトニ
決定相成候ニ付テハ國民健康保險組合(國民健康保險組合ノ事
業ヲ行フ法人ヲ含ム)ノ理事長又ハ組合長ニ對シ之カ決定内容
ノ周知方可然御取計相成度

三ノ款目ニ關スル件
昭和十七年六月十六日
內閣府 縣長 官 宛

(6) 國民健康保險組合ノ組合員及家屬ノ家賃ニ關スル
國民健康保險法ノ規定ニ依ル保險料ニ對スル所得稅課稅方
法ニ關スル件

(7) 國民健康保險組合ノ組合員及家屬ノ家賃ニ關スル
國民健康保險法ノ規定ニ依ル保險料ニ對スル所得稅課稅方
法ニ關スル件

(8) 國民健康保險組合ノ組合員及家屬ノ家賃ニ關スル
國民健康保險法ノ規定ニ依ル保險料ニ對スル所得稅課稅方
法ニ關スル件

(9) 國民健康保險組合ノ組合員及家屬ノ家賃ニ關スル
國民健康保險法ノ規定ニ依ル保險料ニ對スル所得稅課稅方
法ニ關スル件

(10) 國民健康保險組合ノ組合員及家屬ノ家賃ニ關スル
國民健康保險法ノ規定ニ依ル保險料ニ對スル所得稅課稅方
法ニ關スル件

(11) 國民健康保險組合ノ組合員及家屬ノ家賃ニ關スル
國民健康保險法ノ規定ニ依ル保險料ニ對スル所得稅課稅方
法ニ關スル件

(12) 國民健康保險組合ノ組合員及家屬ノ家賃ニ關スル
國民健康保險法ノ規定ニ依ル保險料ニ對スル所得稅課稅方
法ニ關スル件

第二編 國民健康保險關係法規

國民健康保險組合法令集目次

第二編 國民健康保險關係法規

第一款 職員健康保險法令

- 職員健康保險法……………(昭和十四年四月法律七〇號)……………六一
- 職員健康保險法ノ一部施行期日ノ件……………(昭和十四年二月勅令八五七號)……………六一
- 職員健康保險法ノ一部施行期日ノ件……………(昭和十五年五月勅令三六二號)……………六一
- 職員健康保險法施行令……………(昭和十四年二月勅令八五八號)……………六一
- 職員健康保險法施行規則……………(昭和十四年二月厚令四二號)……………二五
- 職員健康保險法施行令第七十六條第一項ノ規定ニ依リ療養ニ要スル費用ヨリ控除スル額……………(昭和十四年三月厚令二八號)……………六一
- 職員健康保險法施行令第七十六條第二項ノ規定ニ依リ療養ニ要スル費用ノ算定方法……………(昭和十五年五月厚令一五四號)……………六一
- 政府ノ管掌スル職員健康保險ノ保険料率……………(昭和十五年五月厚令一五二號)……………六一

第二款 健康保險法令

第二款 國民健康保險關係法規

目次

○健康保險法……………(大正一一年四月法律七〇號)……………六三

○昭和十七年法律第三十八號健康保險法中改正法律ノ一部施行期日ノ件……………(昭和一七年三月勅令二九〇號)……………七三ノ三

○健康保險法抄…………………………七三ノ四

○健康保險法施行令……………(大正一五年六月勅令二四三號)……………七四

○健康保險法施行規則……………(大正一五年七月內訓三六號)……………八九

○健康保險事務取扱規程……………(昭和六年二月內訓二四一號)……………一四三ノ三

○政府ノ管掌スル健康保險ノ保險料率……………(大正一五年一〇月內令一五九號)……………一四四

第三款 勞働者災害扶助責任保險法令

○勞働者災害扶助責任保險法……………(昭和六年四月法律五五號)……………一四五

○勞働者災害扶助責任保險法施行令……………(昭和六年一月勅令二七七號)……………一四六

○勞働者災害扶助責任保險法施行規則……………(昭和六年一月內令三三三號)……………一四九

○勞働者災害扶助責任保險ニ於ケル保險料率……………(昭和六年一月內令二六六號)……………一五五

第四款 船員保險法令

○船員保險法……………(昭和一四年四月法律七三號)……………一五七

○船員保險法施行令……………(昭和一五年二月勅令六六號)……………一六六

〔圖11〕

○船員保險法施行規則……………(昭和一五年二月厚令五號)……………一八二

○船員保險ノ保險料率……………(昭和一六年八月厚令三二三號)……………二一六

〔圖12〕

第五款 勞働者年金保險法令

○勞働者年金保險法……………(昭和一六年三月法律六〇號)……………二一七

○勞働者年金保險法施行令……………(昭和一六年一月勅令一二五〇號)……………二二八

○勞働者年金保險法施行規則……………(昭和一六年一月勅令一二五〇號)……………二四〇

○勞働者年金保險ノ保險料率……………(昭和一七年四月厚令一六三號)……………二七〇

第六款 共濟組合令

○政府職員共濟組合令……………(昭和一五年勅令八二七號)……………二七一

○內務職員共濟組合規則……………(昭和一五年內令四一號)……………二七七

○教職員共濟組合令……………(昭和一六年一月勅令一七號)……………二八三

○教職員共濟組合令施行規則……………(昭和一六年一月文令一號)……………二八四

○教職員共濟組合令施行細則……………(昭和一七年四月文部省訓令)……………二九〇

第二章 國民健康保險法 第一款 職員健康保險法

第九條 保險者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ヲ使用スル事業主ヲシテ其ノ使用スル者ノ異動及報酬ニ關シ報告ヲ爲サシメ、文書ヲ提示セシメ其ノ他職員健康保險ノ施行ニ必要ナル事務ヲ行ハシムルコトヲ得

第十條 行政官廳ハ必要アリト認ムルトキハ被保險者ノ異動及報酬並ニ保險給付ノ決定ニ關シ當該官吏ヲシテ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ勤務場所ニ就キ關係者ニ對シ質問ヲ爲シ又ハ便簿書類其ノ他ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條 主務大臣ハ本法ニ規定スル其ノ職權ノ一部ヲ命令ヲ以テ行政官廳ニ委任スルコトヲ得

第十二條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ヲ納付スル者アルトキハ保險者ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ

第十三條 前條ノ規定ニ依リ督促ヲ受ケタル者其ノ指定ノ期限迄ニ保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ヲ納付セザルトキハ保險者ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分シ又ハ滯納者若ハ其ノ者ノ財產ノ在ル市町村ニ對シ之カ處分ヲ請求スルコトヲ得但シ職員健康保險組合カ保險者ナル場合ニ於テ國稅滯納處分ノ例ニ依リ處分スルコトヲ得ルハ市町村ニ對シ處分ヲ請求スル

第十四條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次キ他ノ公課ニ先ツモノトス

第十五條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ニ關スル書類ノ送達ニ付テハ國稅徵收法第四條ノ七及第四條ノ八ノ規定ヲ準用ス

第十六條 本法ハ國、北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ事業ニ使用セラルル者ニ之ヲ適用ス

第十七條 本法中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノトス

第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル事業ノ事業所ニシテ市又ハ主務大臣ノ指定スル町村(以下指定町村ト稱ス)ニ在ルモノニ

一 物ノ販賣ニ關スル事業

二 金融又ハ保險ニ關スル事業

三 物ノ保管又ハ貸貸ニ關スル事業

四 媒介開業ニ關スル事業

五 集金、案内又ハ廣告ニ關スル事業

六 前各號ニ掲ケタルモノノ外勅令ヲ以テ指定スル事業

前項第一號乃至第五號ニ掲ケタル事業ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

モ市町村カ其ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ着手セス又ハ九十日以内ニ之ヲ結了セザル場合ニ限ル

前項但書ノ規定ニ依リ職員健康保險組合カ國稅滯納處分ノ例ニ依リ處分ヲ爲ス場合ニ於テハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルコトヲ要ス

第十四條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次キ他ノ公課ニ先ツモノトス

第十五條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ニ關スル書類ノ送達ニ付テハ國稅徵收法第四條ノ七及第四條ノ八ノ規定ヲ準用ス

第十六條 本法ハ國、北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ事業ニ使用セラルル者ニ之ヲ適用ス

第十七條 本法中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノトス

第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル事業ノ事業所ニシテ市又ハ主務大臣ノ指定スル町村(以下指定町村ト稱ス)ニ在ルモノニ

一 物ノ販賣ニ關スル事業

二 金融又ハ保險ニ關スル事業

三 物ノ保管又ハ貸貸ニ關スル事業

四 媒介開業ニ關スル事業

五 集金、案内又ハ廣告ニ關スル事業

六 前各號ニ掲ケタルモノノ外勅令ヲ以テ指定スル事業

前項第一號乃至第五號ニ掲ケタル事業ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ規定ニ拘ラス左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ職員健康保險ノ被保險者トセス

一 第一項ニ規定スル者ヲ常時十人未満使用スル事業所ニ使用セラルル者

二 健康保險ノ被保險者及健康保險法第十四條第一項ノ規定ニ依リ健康保險ノ被保險者ト爲ルコトヲ得ル者

三 一年ノ報酬千二百圓ヲ超ユル者

四 前各號ニ掲ケタル者ノ外勅令ヲ以テ指定スル者

第十九條 健康保險ノ被保險者タル職員ヲ使用スル事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ職員ノ事業所毎ニ包括シテ職員健康保險ノ被保險者ト爲スコトヲ得

第二章 國民健康保險法 第一款 職員健康保險法

タルモノト看做ス

第十八條 第一項ニ規定スル者ヲ常時十人未満使用スル事業所ト爲ルニ至リタルトキ

二 市又ハ指定町村以外ノ地ニ在ルニ至リタルトキ
三 第二十一條第一項第三號ノ規定ニ依リ指定スル事業ノ事業所ト爲ルニ至リタルトキ

第二十四條 第十八條、第二十條及第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ業務ニ使用セララルニ至リタル日又ハ第十八條

第三項第二號乃至第四號、第二十條第二項若ハ第二十二條第二項ノ規定ニ該當セザルニ至リタル日ヨリ其ノ資格ヲ取得ス

第二十五條 第十八條、第二十條及第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ハ死亡シタル日、其ノ業務ニ使用セララルニ至リタル日又ハ第十八條第三項第二號乃至第四號、第二十條第二項若ハ第二十二條第二項ノ規定ニ該當スルニ至リタル日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス

第二十六條 第二十條又ハ第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ヲ使用スル事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ被保險者ノ全部ヲシテ其ノ資格ヲ喪失セシムルコトヲ得

前項ノ認可ヲ申請スルニハ被保險者ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

得ルコトヲ要ス

第一項ノ認可アリタルトキハ被保險者ハ認可アリタル日ノ翌日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス

第二十七條 第二十五條ノ規定ニ依リ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニシテ喪失ノ日前二月以上引續キ被保險者タリシモノハ勅令ノ定ムル所ニ依リ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得

第二十八條 前條ノ規定ニ依ル被保險者ハ前條ノ規定ニ依リ被保險者ト爲リタル日ヨリ六月ヲ経過シタルトキ其ノ他勅令ヲ以テ定ムル事由ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ資格ヲ喪失ス

第二十五條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依ル被保險者カ死亡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三章 保險者

第二十九條 職員健康保險ノ保險者ハ政府及職員健康保險組合トス

第三十條 政府ハ職員健康保險組合ノ組合員ニ非サル被保險者ノ保險ヲ管掌ス

第三十一條 職員健康保險組合ハ其ノ組合員タル被保險者ノ保險ヲ管掌ス

第三十二條 職員健康保險組合ハ事業主及其ノ事業所ニ使用セラルル被保險者ヲ以テ之ヲ組織ス

會本

第三十八條 職員健康保險組合ハ設立ノ認可ヲ受ケタル時ニ成立ス

第三十九條 職員健康保險組合成立シタルトキハ事業主及其ノ事業所ニ使用セラルル被保險者ハ總テ之ヲ組合員トス

第四十條 職員健康保險組合ノ規約ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第四十一條 主務大臣ハ職員健康保險組合ニ對シ其ノ事業及財産ニ關シ報告ヲ爲サシメ、其ノ狀況ヲ検査シ、規約ノ變更ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十二條 職員健康保險組合ノ役員ニ欠缺若ハ故障アルトキ又ハ組合ノ役員カ保險給付其ノ他其ノ執行スヘキ職務ヲ執行セザルトキハ主務大臣ハ官吏其ノ他ノ者ヲ指定シテ其ノ職務ヲ執行セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ職務ノ執行ニ要スル費用ハ職員健康保險組合ノ負擔トス

第四十三條 主務大臣ハ職員健康保險組合ノ決議又ハ役員ノ行爲カ法令、規約若ハ主務大臣ノ命令若ハ處分ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキ又ハ組合ノ事業若ハ財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキハ決議ヲ取消シ、役員ヲ解職シ又ハ組合ノ解散ヲ命スルコトヲ得

職員健康保險組合ハ法人トス

第三十三條 一又ハ二以上ノ事業所ニ付被保險者常時三百人以上ヲ使用スル事業主ハ職員健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得

被保險者ヲ使用スル二以上ノ事業主ハ共同シテ職員健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ被保險者ノ員數ハ合算シテ常時三百人以上タルコトヲ要ス

第三十四條 職員健康保險組合ヲ設立セントスルトキハ組合員タル資格ヲ有スル被保險者ノ二分ノ一以上ノ同意ヲ得規約ヲ作り主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

二以上ノ事業所ニ付職員健康保險組合ヲ設立セントスル場合ニ於テハ前項ノ同意ハ各事業所ニ付之ヲ得ルコトヲ要ス

第三十五條 前二條ノ規定ニ於テ被保險者トアルハ第十九條第一項又ハ第二十一條第一項ノ規定ニ依リ認可ノ申請ト同時ニ職員健康保險組合ノ設立認可ノ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルヘキ者トス

第三十六條 主務大臣ハ一又ハ二以上ノ事業所ニ付第十八條ノ規定ニ依ル被保險者常時五百人以上ヲ使用スル事業主ニ對シ職員健康保險組合ノ設立ヲ命スルコトヲ得

第三十七條 前條ノ規定ニ依リ職員健康保險組合ノ設立ヲ命セラルル事業主ハ規約ヲ作り設立ニ付主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四十四條 解散ニ因リテ消滅シタル職員健康保險組合ノ權利義務ハ政府之ヲ承継ス

第四十五條 本法ニ規定スルモノノ外職員健康保險組合ノ管理財産ノ保管及利用方法、分合、解散其ノ他職員健康保險組合ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十六條 同時ニ二以上ノ事業所ニ使用セラルル被保險者ノ保險者ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第四十七條 被保險者カ其ノ疾病又ハ負傷ニ關シ療養ヲ受ケタルトキハ療養費ヲ支給ス

前項ノ療養費ヲ支給スヘキ療養ノ範圍並ニ療養費ノ額及支給方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

保險者ハ第一項ノ規定ニ拘ラス勅令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ノ疾病又ハ負傷ニ關シ療養費ノ支給ニ代ヘテ療養ノ給付ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ者ヨリ費用ノ一部ヲ徴收スルコトヲ得

第四十八條 療養費ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ關シ其ノ療養ヲ始メタル日ヨリ起算シ六月ヲ經過シタル後ノ療養ニ付テハ之ヲ支給セズ

主務大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ保險者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ期間ヲ起ニ尙六月以内ノ療養ニ付續シテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

費ヲ支給スルコトヲ得但シ其ノ療養ヲ始メタル日 勅令ニ定ムル期間引續キ被保險者タリシ者ニ限ル

第四十九條 被保險者カ療養ノ爲引續キ勞務ニ服スルコト能ハサルトキハ勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル日ヨリ起算シ三月ヲ經過シタル日ヨリ其ノ後ニ於ケル勞務ニ服スルコト能ハサル期間傷病手當金トシテ一日ニ付報酬日額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ支給ス但シ日給ヲ受ケル被保險者ニ付テハ勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル日ヨリ之ヲ支給ス

前項ノ傷病手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

保險者ハ第一項ノ規定ニ拘ラス勅令ノ定ムル所ニ依リ傷病手當金ノ支給ノ時期ヲ短縮シ又ハ廢スルコトヲ得

第五十條 傷病手當金ノ支給期間ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ關シテハ三月ヲ以テ限度トス但シ日給ヲ受ケル被保險者ニ付テハ六月ヲ以テ限度トス

第四十八條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

傷病手當金ハ其ノ支給期間ヲ經過セサルトキト雖モ療養費ノ支給ヲ爲シ得ル期間ヲ經過スルニ至リタルトキハ之ヲ支給セズ

日本

ヲ維持シタル者ニシテ埋葬ヲ行フモノニ對シ埋葬料トシテ報酬月額ノ一月分ニ相當スル金額ヲ支給ス但シ其ノ金額が三十圓ニ滿タサルトキハ之ヲ三十圓トス

被保險者カ死亡シタル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依リ埋葬料ノ支給ヲ受ケヘキ者ナキトキハ埋葬ヲ行ヒタル者ニ對シ前項ノ金額ノ範圍内ニ於テ其ノ埋葬ニ要シタル費用ニ相當スル金額ヲ支給ス

第五十二條 被保險者カ分娩シタルトキハ分娩費トシテ二十圓ヲ、出產手當金トシテ分娩ノ前後勅令ヲ以テ定ムル期間一日ニ付報酬日額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ支給ス

第五十三條 保險者ハ被保險者ヲ産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲スコトヲ得

産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲シタル被保險者ニ對シテ支給スヘキ分娩費及出產手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

第五十四條 分娩ニ關スル保險給付ニ付テハ勅令ヲ以テ分娩前一定ノ期間被保險者タリシ者ニ非サレハ之ヲ爲ササルコトヲ定ムルコトヲ得

第五十五條 出產手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ期間傷病手當金ヘ之ヲ支給セズ

第五十六條 被保險者ノ資格ヲ喪失シタル際疾病、負傷又ハ分娩ニ依リ保險給付ヲ爲サズ

第五十七條 前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケタル者カ死亡シタルトキ、前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケタル者カ其ノ給付ヲ受ケタルニ至リタル日後三月以内ニ死亡シタルトキ又ハ其ノ他ノ被保險者タリシ者カ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日後三月以内ニ死亡シタルトキハ被保險者タリシ者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニシテ埋葬ヲ行フモノハ最後ノ保險者ヨリ埋葬料ノ支給ヲ受ケルコトヲ得

第五十八條 被保險者タリシ者カ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日後勅令ヲ以テ定ムル期間内ニ分娩シタルトキハ分娩ニ關シ被保險者トシテ受ケルコトヲ得ヘカリシ保險給付ヲ最後ノ保險者ヨリ受ケルコトヲ得

第五十九條 前三條ノ規定ニ拘ラス被保險者タリシ者カ健康保險又ハ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ保險給付ヲ爲サズ

日本

第五十條 傷病手當金ノ支給期間ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ關シテハ三月ヲ以テ限度トス但シ日給ヲ受ケル被保險者ニ付テハ六月ヲ以テ限度トス

第四十八條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

傷病手當金ハ其ノ支給期間ヲ經過セサルトキト雖モ療養費ノ支給ヲ爲シ得ル期間ヲ經過スルニ至リタルトキハ之ヲ支給セズ

第五十二條 被保險者カ分娩シタルトキハ分娩費トシテ二十圓ヲ、出產手當金トシテ分娩ノ前後勅令ヲ以テ定ムル期間一日ニ付報酬日額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ支給ス

第五十三條 保險者ハ被保險者ヲ産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲スコトヲ得

産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲シタル被保險者ニ對シテ支給スヘキ分娩費及出產手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

第五十四條 分娩ニ關スル保險給付ニ付テハ勅令ヲ以テ分娩前一定ノ期間被保險者タリシ者ニ非サレハ之ヲ爲ササルコトヲ定ムルコトヲ得

第五十五條 出產手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ期間傷病手當金ヘ之ヲ支給セズ

第五十六條 被保險者ノ資格ヲ喪失シタル際疾病、負傷又ハ分娩ニ依リ保險給付ヲ爲サズ

第六十條 保險者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ本章ニ規定スル保險給付ニ併セテ其ノ他ノ保險給付ヲ爲スコトヲ得

第六十一條 疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分娩シタル場合ニ於テ繼續シテ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クルコトヲ得ヘキ者ニ對シテハ之ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間勅令ノ定ムル所ニ依リ傷病手當金又ハ出產手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セス

第六十二條 前條ニ掲クル者カ其ノ受クルコトヲ得ヘカリシ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クルコト能ハサリシトキハ保險者ハ之ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ傷病手當金又ハ出產手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給ス

前項ノ規定ニ依リ保險者ノ支給シタル金額ハ事業主ヨリ之ヲ徴收ス

第六十三條 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ自己ノ故意ノ犯罪行為ニ因リ又ハ故意ニ事故ヲ生セシメタルトキハ保險給付ヲ爲サス

第六十四條 被保險者カ闘争、泥酔若ハ著シキ不行跡ニ因リ又ハ故意ニ危害豫防ニ關スル業務上ノ監督者ノ指揮ニ從ハサルニ因リ事故ヲ生セシメタルトキハ傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セザルコトヲ得

第六十五條 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ疾病、負傷又ハ分娩ニ關シ其ノ期間ニ

保ル保險給付ハ之ヲ爲サ

一 陸海軍ニ徵集又ハ召集セラレタルトキ

二 本法施行區域外ニ在ルトキ

三 矯正院其ノ他之ニ準スヘキモノニ入院セシメラレタルトキ

四 監獄、留置場又ハ勞務場ニ拘禁又ハ留置セラレタルトキ
他ノ法令ニ依リ國又ハ公共團體ノ負擔ニ於テ診療所ニ收容セラレタル者ニ對シテハ療養費ヲ支給セス

第四十九條第二項及第五十三條第二項ノ規定ハ前項ニ掲クル者ニ之ヲ準用ス

保險者ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者カ第一項各號ノ一ニ該當スル場合ト雖モ第一條第二項ノ保險給付ヲ爲スコトヲ妨ケス

第六十六條 保險者ハ正當ノ理由ナクシテ療養ニ關スル指揮ニ從ハサル者ニ對シ之ニ支給スヘキ傷病手當金ノ一部ヲ支給セザルコトヲ得

第六十七條 保險者ハ詐欺其ノ他不正ノ行為ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ期間ヲ定メ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲ササルコトヲ得

第六十八條 保險者ハ必要アリト認ムルトキハ保險給付ヲ受ケル者ノ診斷ヲ行フコトヲ得

合考

ニ於テ職員健康保險事業ニ要スル費用ノ一部ヲ負擔ス
第七十四條 保險者ハ職員健康保險事業ニ要スル費用ニ充ツル爲保險料ヲ徴收ス

第七十五條 被保險者及被保險者ヲ使用スル事業主ハ各保險料額ノ二分ノ一ヲ負擔ス但シ第二十七條ノ規定ニ依リ被保險者ハ其ノ全額ヲ負擔ス

第七十六條 少額ノ報酬ヲ受クル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ勅令ヲ以テ事業主ノ負擔スヘキ割合ヲ増加スルコトヲ得

第七十七條 職員健康保險組合ハ第七十五條ノ規定又ハ前條ニ基キテ設スル勅令ノ規定ニ拘ラス其ノ規約ヲ以テ事業主ノ負擔スヘキ保險料額ノ負擔ノ割合ヲ増加スルコトヲ得

第七十八條 被保險者カ第六十五條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ期間保險料ヲ徴收セス

第七十九條 事業主ハ其ノ使用スル被保險者ノ負擔スヘキ保險料ヲ納付スル義務ヲ負フ但シ第二十七條ノ規定ニ依リ被保險者ノ負擔スル保險料ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十條 事業主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ納付スヘキ保險料ヲ被保險者ニ支拂フヘキ報酬ヨリ控除スルコトヲ得

第七十條 保險者ハ被保險者ノ健康ヲ保持増進スル爲左ノ施設ヲ爲スコトヲ得

一 疾病又ハ負傷ノ預防ニ關スル施設
二 健康診斷ニ關スル施設
三 保養ニ關スル施設

四 其ノ他健康ノ保持増進ニ關スル施設

第七十一條 保險者ハ事業ニ支障ナキ場合ニ限り被保險者ニ非サル者ヲシテ保險者ノ施設ヲ利用セシムルコトヲ得

保險者ハ其ノ施設ヲ利用スル者ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ利用料ヲ請求スルコトヲ得

第七十二條 第六十三條、第六十五條第一項及第二項、第六十八條及第六十九條ノ規定ハ世帯費ニ之ヲ準用ス
第七十六條ノ規定ハ第一條第二項ノ保險給付ニ之ヲ準用ス

第八十一條 保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ地方社會保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキハ中央社會保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキハ通常裁判所ニ訴テ提起スルコトヲ得

前項ノ審査ノ請求ハ時效ノ中断ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第八十二條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ賦課若ハ徵收ノ處分又ハ第十三條ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル訴願ニ關シテハ職員健康保險組合ヲ訴願法ノ規定ニ依ル行政廳ト看做ス

第八十三條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ賦課又ハ徵收ノ處分ニ關シ訴願ノ提起アリタルトキハ主務大臣ハ中央社會保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲スヘシ

第八十四條 本法ニ規定スルモノノ外社會保險審査會ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十五條 審査ノ請求、訴ノ提起又ハ訴願若ハ行政訴訟ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テ審査ノ請求ニ付テハ訴願法第八條第三項ノ規定ヲ、訴ノ提起ニ付テハ民事訴訟法第五百

十八條第二項及第五百五十九條ノ規定ヲ準用ス

第七章 罰則

第八十六條 正當ノ理由ナクシテ第十條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ其ノ検査ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十七條 第九條ノ規定ニ依ル保險者ノ請求アリタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ報告ヲ爲サズ、虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ文書ノ提示ヲ爲ササル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十八條 事業主ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第八十九條 第八十七條ノ罰則ハ其ノ者カ法人ナルトキハ理事取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九十條 職員健康保險組合ノ設立ヲ命セラレタル事業主カ正當ノ理由ナクシテ主務大臣ノ指定スル期日迄ニ設立ノ認可ヲ申請セザルトキハ其ノ手續ヲ遲延シタル期間其ノ負擔スヘキ保險料額ノ二倍ニ相當スル金額以下ノ過料ニ處ス

【第七條】

【三十四條】

職員健康保險法施行令

（昭和十四年十二月二十三日）
勅令第八百五十八號

【沿革】 昭和十五年五月勅令第三七四號、同十六年五月勅令第六五〇號、同十六年六月勅令第七一五號、同年十月勅令第九〇六號、同十七年一月勅令第三六號改正
職員健康保險法施行令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
職員健康保險法施行令

第一章 總則

第一條 職員健康保險法第二條第一項ノ俸給、給料又ハ賃金ニ準スヘキモノノ範圍ハ常時又ハ定期ニ受ケル給與其ノ他ノ利益トス但シ左ニ掲クルモノヲ除ク

一 三月ヲ超ユル期間毎ニ支給スル賞與又ハ手當

二 通勤手當又ハ外勤手當

三 住居ニ關スル利益又ハ住宅料ニシテ俸給、給料又ハ賃金ノ類ノ決定ニ影響ナキモノ

四 其ノ他厚生大臣ノ指定スルモノ

第二條 俸給、給料又ハ賃金ニ準スヘキモノノ全部又ハ一部カ金錢以外ノ給與其ノ他ノ利益ナル場合ニ於テハ其ノ價額ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同シ）ノ定ムル標準價格ニ依リ之ヲ算定ス

前項ノ標準價格ハ其ノ地方ノ時價ニ依リ之ヲ定ム

職員健康保險組合ハ第一項ノ規定ニ拘ラス規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第九十一條 職員健康保險組合カ第四十一條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ處分ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シタルトキハ其ノ役員ヲ百圓以下ノ過料ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ保險給付、保健施設及費用ノ負擔ニ關スル規定ニ其ノ他ノ規定ニ付各別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

職員健康保險法ノ一部施

行期日ノ件（昭和十四年十二月二十三日）
勅令第八百五十七號

職員健康保險法ノ一部施行期日ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

職員健康保險法ハ保險給付、保健施設及費用ノ負擔ニ關スル規定ヲ除クノ外昭和十四年十二月二十六日ヨリ之ヲ施行ス

職員健康保險法ノ一部施

行期日ノ件（昭和十五年五月三十日）
勅令第三百六十二號

職員健康保險法ノ一部施行期日ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

職員健康保險法中保險給付、保健施設及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三條 職員健康保險法第三條第一項ノ標準報酬ハ被保險者ノ報酬月額ニ基キ左ノ區別ニ依リ之ヲ定ム

標準報酬ノ等級	標準報酬	報酬月額
第一級	十圓	三十錢
第二級	二十圓	七十錢
第三級	三十圓	一圓
第四級	四十圓	一圓三十錢
第五級	五十圓	一圓七十錢
第六級	六十圓	二圓
第七級	七十圓	二圓三十錢
第八級	八十圓	二圓七十錢
第九級	九十圓	三圓
第十級	百圓	三圓三十錢

第四條 標準報酬ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日ノ現在ニ依リ之ヲ定ム
被保險者ノ報酬カ其ノ増減アリタルニ因リ従前ノ報酬月額ニ基キ定メラルタル標準報酬ニ該當セサルニ至リタル場合ニ於テハ其ノ報酬ニ増減アリタル月ノ翌月（報酬ニ増減アリタル日カ月ノ初日ナルトキハ其ノ月）ヨリ其ノ標準報酬ヲ變更ス

職員健康保險法第二十七條ノ規定ニ依リ被保險者ノ標準報酬ニ付テハ引續キ従前ノモノニ依ル

- 第五條 第三條ニ規定スル被保險者ノ報酬月額ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ算定ス
- 一年ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ現在ニ於ケル年額ノ十二分ノ一
 - 二月ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ現在ニ於ケル月額ノ二
 - 日、時間又ハ請負ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ前一月間ニ現ニ使用セララルル事業ニ於テ同様ノ業務ニ従事シ同様ノ報酬ヲ受ケタル者カ受ケタル報酬ノ額
 - 前三號ノ規定ニ依リ算定シ難キモノニ付テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ前一月間ニ其ノ地方ニ於テ同様ノ業務ニ従事シ同様ノ報酬ヲ受ケタル者カ受ケタル報酬ノ額
 - 前各號ノ二以上ニ該當スル報酬ヲ受ケル場合ニ於テハ其ノ各ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額

【第二四條】

第六 同時ニ二以上ノ事業所ニ於テ報酬ヲ受ケル場合ニ於テハ各事業所ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額被保險者ノ報酬月額ノ規定ニ依リ算定シ難キトキ又ハ前項ノ規定ニ依リテ算定シタル額カ若シク不當ナルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス被保險者ニ於テ適當ノ方法ニ依リ之ヲ算定ス

第七 保險者カ職員健康保險組合ナル場合ニ於テハ前項ノ算定方法ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第八 職員健康保險法第十二條第一項ノ規定ニ依リ保險料其ノ他同法ノ規定ニ依ル徵收金納付ノ督促ヲ爲サントスルトキハ保險者ハ納付義務者ニ對シ督促狀ヲ發スヘシ

第九 督促狀ヲ發シタルトキハ督促手数料トシテ二十錢ヲ徵收ス

第十 前條ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ徵收金額百圓ニ付一日三錢ノ割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ徵收金完納又ハ財産差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル延滞金ヲ徵收ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合又ハ滞納ニ付酌量スヘキ情狀アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十一 納入ノ告知書一通ノ徵收金額五圓未滿ナルトキ

第十二 納期ヲ繰上テ徵收ヲ爲ストキ

第二編 國民健康保險法 第一章 職員健康保險法

【第二四條】
三 納付義務者ノ住所及居所カ帝國内ニ在ラサル爲又ハ其ノ住所及居所共ニ不明ナル爲公示送達ノ方法ニ依リ納入ノ告知又ハ督促ヲ爲シタルトキ
督促狀ニ指定シタル期限迄ニ徵收金及督促手数料ヲ完納シタルトキハ延滞金ヲ徵收セス

第二章 被保險者
第八條 職員健康保險法第十八條第一項第一號乃至第五號ニ掲クル事業ノ範圍ハ左ノ如シ

- 一 物ノ販賣ニ關スル事業ハ物品販賣業、不動産販賣業其ノ他之ニ類スル事業トシ料理店業及飲食店業ハ之ヲ含マサルモノトス
- 二 金融又ハ保險ニ關スル事業ハ銀行業、信託業、無盡業、質屋業、融資業、保險業其ノ他之ニ類スル事業トス
- 三 物ノ保管又ハ貸貸ニ關スル事業ハ倉庫業、貸家貸室業、物品貸付業其ノ他之ニ類スル事業トシ貸席業及貸座敷業ハ之ヲ含マサルモノトス
- 四 媒介周旋ニ關スル事業ハ仲立業、問屋業、代理業、取引所業、有價證券業、有價證券引受業、周旋業其ノ他之ニ類スル事業トス

五 集金、案内又ハ廣告ニ關スル事業ハ集金業、旅行案内業、廣告業其ノ他之ニ類スル事業トス

同法同條同項第六號ノ規定ニ依リ電氣供給ノ事業ヲ指定ス

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ職員健康保險法第十八條第三項第四號、第二十條第二項又ハ第二十二條第二項ノ規定ニ依リ被保險者タラサルモノトス

一 臨時ニ使用セラルル者ニシテ左ニ掲クルモノ但シイニ該當スル者所定ノ期間ヲ超エテ引續キ使用セラルルニ至リタルトキ又ハ(ロ)若ハ(ハ)ニ該當スル者一月ヲ超エテ引續キ使用セラルルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

(イ) 二月以内ノ期間ヲ定メテ使用セラルル者

(ロ) 使用期間ノ定ナク勞務供給契約ニ基キ又ハ試ニ使用セラルル者

(ハ) 日日雇入レラルル者

二 事業所ノ所在地ノ一定セサル事業ニ使用セラルル者

三 左ニ掲クル事業ニ使用セラルル者ニシテ主トシテ現場ニ於ケル作業ニ従事スルモノ

(イ) 貨物又ハ旅客ノ運送ニ關スル事業

(ロ) 土木工事又ハ工作物ノ建設、保存、修理若ハ破壊ニ關スル事業

四 前三號ニ掲クル者ノ外厚生大臣ノ定ムル者

第十條 職員健康保險法第二十一條第一項第三號ノ規定ニ依ル事業ハ同法第十八條第一項第一號乃至第六號ニ掲クル事業及厚生大臣ノ指定スル事業以外ノ一切ノ事業トス

第十一條 職員健康保險法第二十五條ノ規定ニ依リ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニシテ喪失ノ日前二月以上引續キ被保險者タリシモノハ其ノ資格ヲ喪失シタル日(繼續シテ保險給付ヲ受クル者ニ在リテハ其ノ給付ヲ受ケサルニ至リタル日)ヨリ十日以内ニ職員健康保險法第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者タラントスル申請ヲ爲ストキハ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得但シ健康保險又ハ船員保險ノ被保險者タル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ規定スル期限ヲ經過シタル申請ト雖モ被保險者ニ於テ正當ノ事由アリト認ムルトキハ之ヲ受理スルコトヲ得

第十二條 職員健康保險法第二十八條第一項ニ規定スル事由ハ左ノ如シ

一 保險料ヲ納付セスシテ保險料ノ納付期日後十日ヲ經過シタルトキ

二 職員健康保險法第十八條、第二十條又ハ第二十二條ノ規

【第二四條】

二 定ニ依ル被保險者ト爲リタルトキ

三 健康保險又ハ船員保險者ト爲リタルトキ

第三章 職員健康保險組合

第一節 設立

第十三條 事業主ハ職員健康保險組合ヲ設立スル爲職員健康保險法第三十四條ノ同意ヲ求ムル場合ニ於テハ(左ニ掲クル事項ヲ記載シタル書面ヲ同條ノ被保險者(職員健康保險法第三十五條ノ場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルヘキ者)全部ニ送付スヘシ

フヘシ

職員健康保險組合ニ非サルモノハ其ノ名稱中ニ職員健康保險組合ナル文字ヲ用フルコトヲ得ス

第十六條 組合設立ノ際ニ於テ定ムヘキ保險料率及初年度ノ收入支出ノ豫算ハ事業主之ヲ定メ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條 組合設立ノ認可ヲ爲シタルトキハ厚生大臣ハ左ニ掲クル事項ヲ告示スヘシ

【第二四條】

一 組合員タルヘキ者ノ範圍

二 組合ノ組織ノ概要

三 保險料ノ概要

四 保險給付ノ概要

五 其ノ他事業計畫ノ概要

第十四條 規約ニハ左ニ掲クル事項ヲ規定スヘシ

一 組合ノ名稱

二 事務所ノ所在地

三 組合ノ設立アル事業所ノ名稱及所在地

四 公示ノ方法

五 其ノ他組合ニ關シ重要ナル事項

第十五條 組合ハ其ノ名稱中ニ職員健康保險組合ナル文字ヲ用

一 組合ノ名稱

二 事務所ノ所在地

三 組合ノ設立アル事業所ノ名稱及所在地

四 認可ノ年月日

前項各號ノ事項ニ關スル規約ノ變更ヲ認可シタルトキハ厚生大臣ハ其ノ事項ヲ告示スヘシ

第十八條 組合設立ノ認可アリタルトキハ事業主ハ遲滞ナク規約ヲ公示スヘシ

第十九條 組合設立ノ認可アリタルトキハ事業主ハ遲滞ナク組合會ヲ招集シ組合設立ノ經過、保險料率及初年度ノ收入支出ノ豫算其ノ重要ナル事項ヲ報告スヘシ

第二十條 組合設立後理事就職ニ至ル迄ハ事業主理事ノ職務ヲ行フ

第二十一條 組合ニ組合會ヲ置ク

組合會ハ組合會議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十二條 議員ノ定數ハ十二人以上ノ偶數トシ其ノ半數ハ事業主ニ於テ事業主又ハ其ノ代理人及其ノ事業所ニ使用セラルル者ノ中ニ就キ之ヲ選定シ他ノ半數ハ被保險者タル組合員ニ於テ之ヲ互選ス

第二十三條 議員就職シタルトキハ理事ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ公表スヘシ議員退職又ハ死亡シタルトキ亦同シ

第二十四條 議員ノ選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フテ例トス投票ハ無記名トシ一人一票ニ限ル

第二十五條 選舉人タル組合員ハ議員ノ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ第二十三條ノ公示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ理事ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ申立アリタルトキハ理事ハ二十日以内ニ之ヲ組合會ノ決定ニ付シ其ノ決定アリタルトキハ遲滞ナク之ヲ公示スヘシ前項ノ決定ニ不服アル者ハ決定アリタル日ヨリ三十日以内ニ監督官廳ニ訴願スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ職員健康保險組合ヲ訴願法ノ規定ニ依リ行政廳ト看做ス

議員ハ第二項ノ決定又ハ前項ノ訴願ノ裁決アル迄ハ會議ニ列席シ理事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第二十六條 本令ニ規定スルモノノ外議員ノ定數、資格、任期

選定及選舉ニ關スル事項ハ規約ノ定ムル所ニ依ル

第二十七條 組合會ノ議決スヘキ事項ハ左ノ如シ

- 一 收入支出ノ豫算
 - 二 事業報告及決算
 - 三 收入支出豫算ヲ以テ定ムルモノノ外新ナル義務ノ負擔又ハ權利ノ拋棄
 - 四 準備金ノ管理方法
 - 五 準備金其ノ他重要ナル財産ノ處分
 - 六 組合債
 - 七 規約ノ變更
 - 八 保險料率
 - 九 訴願訴訟ノ提起及和解
 - 十 其ノ他重要ナル事項
- 第二十八條 組合會ハ組合ノ事務ニ關スル書類ヲ檢閲シ、理事ノ報告ヲ請求シ又ハ事務ノ管理、決議ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得
- 組合會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ前項ノ組合會ノ權限ニ屬スル事項ヲ行ハシムルコトヲ得
- 第二十九條 組合會ハ理事之ヲ招集ス
- 議員定數ノ三分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ組合會招集ノ請求ヲ爲シタルトキハ理事ハ七日以内ニ之ヲ招集

【第二十四條】

スヘシ

組合會ノ招集ハ會議ノ目的タル事項ヲ示シ急遽ヲ要スル場合ヲ除クノ外開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ爲スヘシ前二項ノ期間ニ付テハ規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得組合會開會中急遽ヲ要スル事項アルトキハ理事ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

組合會ハ理事之ヲ開閉ス

第三十條 組合會ノ議長ハ理事長ヲ以テ之ニ充ツ

理事長故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ行フ

決算ノ認定ニ關スル會議ノ議長ハ前二項ノ規定ニ拘ラス理事以外ノ出席議員中ヨリ互選セラレタル者ヲ以テ之ニ充ツ

議長ハ會議ヲ總理シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第三十一條 組合會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得但シ第三十四條ノ除外ノ爲半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條 組合會ノ理事ハ出席議員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十三條 規約變更ノ議事ハ議員定數ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ之ヲ決ス

第三十四條 議長及議員ハ其ノ一身上ニ關スル事項ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得但シ組合會ノ同意ヲ得タルトキ

【第二十五條】

ハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第三十五條 議員ハ自ラ會議ニ出席シ表決ヲ爲スヘシ但シ病氣其ノ他已ムラ得サル事由ニ因リ會議ニ出席スルコト能ハサル議員ハ規約ノ定ムル所ニ依リ豫メ書面ヲ以テ出席議員ニ委任シテ表決ヲ爲スコトヲ妨クス此ノ場合ニ於テハ之ヲ會議ニ出席シタルモノト看做ス

第三十六條 組合員ハ規約ニ定ムル特別ノ場合ヲ除クノ外組合會ノ會議ヲ傍聽スルコトヲ得

第三十七條 議員ハ其ノ職務ノ爲要スル旅費ノ支給ヲ組合ヨリ受クルコトヲ得

被保險者タル議員ハ其ノ職務ヲ行フニ因リ平常ノ業務ニ對スル報酬ヲ受クルコトヲ得サル場合ニ於テハ其ノ補償ヲ組合ヨリ受クルコトヲ得

第一項ノ旅費及前項ノ補償ノ額及支給方法ハ規約ノ定ムル所ニ依ル

第三節 役員

第三十八條 組合ニ理事ヲ置ク

理事ノ定數ハ四人以上ノ偶數トシ其ノ半數ハ事業主ノ選定シタル議員ニ於テ、他ノ半數ハ被保險者タル組合員ノ互選シタル議員ニ於テ之ヲ互選ス

理事ノ中一人ヲ理事長トシ事業主ノ選定シタル議員タル理事

中ニ就キ理事之ヲ選舉ス

第三十九條 理事長ハ組合ヲ代表ス

理事長故障アルトキハ規約ノ定ムル所ニ依リ他ノ理事其ノ職務ヲ代理ス

第四十條 組合ノ事務ハ規約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外理事ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可ク同數ナルトキハ理事長ノ決スル所ニ依ル

第四十一條 組合會成立セス又ハ其ノ議決スヘキ事項ヲ議決セサルトキハ理事ハ監督官廳ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事項ヲ處理スルコトヲ得

第四十二條 組合會ニ於テ議決スヘキ事項ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ組合會成立セサルトキ又ハ之ヲ招集スルノ暇ナキトキハ理事ハ之ヲ專決スルコトヲ得

第四十三條 前二條ノ規定ニ依リ處置ヲ爲シタルトキハ理事ハ大同ノ會議ニ於テ之ヲ組合會ニ報告スヘシ

第四十四條 規約變更ノ認可アリタルトキハ理事ハ選擧ナク之ヲ公示スヘシ

第四十五條 理事ハ規約、財産目錄、事業報告書、組合原簿及組合會ノ會議録ヲ事務所ニ備フヘシ
組合員ノ前項ノ書類ノ閲覧ヲ求メタルトキハ理事ハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第四十六條 第二十三條、第二十六條及第三十七條ノ規定ハ理事及理事長ニ之ヲ準用ス

第四節 財務

第四十七條 組合ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第四十八條 組合ハ毎會計年度收入支出ノ豫算ヲ調製シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ豫算ヲ更正又ハ追加シタルトキ亦同シ
豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ス
豫算ニ定メタル各項ノ金額ハ組合會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得

第四十九條 組合ハ組合會ノ議決ヲ經テ繼續費ヲ設クルコトヲ得

第五十條 組合ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ豫備費ハ規約ヲ以テ定メタル費途以外ノ費途ニ之ヲ充ツルコトヲ得ス

第五十一條 組合ニ於テ其ノ收入金ヲ收納スルハ翌年五月三十一日、其ノ支出金ヲ支拂フハ翌年度四月十五日限トシ其ノ出納ヲ閉鎖ス

第五十二條 組合ハ保險料率ヲ變更セントスルトキハ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第五十三條 組合ハ少クトモ保險料給付ニ要シタル費用ノ前三年度（既往ノ三年度未滿ナルトキハ既往年度）ノ平均年額ニ

【連三四號】

【連三四號】

相當スル額ニ達スル迄毎年度ノ剩餘金中ヨリ平均年額ノ百分ノ五以上ニ相當スル額（剩餘金カ該平均年額ノ百分ノ五ニ達セサルトキハ其ノ全額）ヲ準備金トシテ積立ツヘシ

前項ノ限度内ノ準備金ハ保險給付ニ要スル費用ニ不足ヲ生シタルトキニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第五十四條 準備金其ノ他財産ノ管理方法ノ要綱ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第五十五條 組合ハ支拂上現金ニ不足ヲ生シタルトキハ準備金ニ屬スル現金ヲ繰替使用シ又ハ一時借入金ヲ爲スコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ繰替使用シタル金額及前項ノ一時借入金ハ當該會計年度内ニ之ヲ返還スヘシ

第五十六條 組合ハ組合債ヲ起シ起債ノ方法、利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更セントスルトキハ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第五十七條 組合ハ重要ナル財産ノ處分ヲ爲サントスルトキハ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第五節 分合解散

第五十八條 組合ハ合併又ハ分割ヲ爲サントスルトキハ關係アル組合ノ組合會ニ於テ職員定數ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ之ヲ議決シ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘシ
前項ノ場合ニ於テ規約ノ變更ヲ要スルトキハ前項ノ議決ト共

ニ之ヲ議決スヘシ

第五十九條 組合ノ分割ハ組合ノ設立アル事業所ノ一部ニ付之ヲ爲スコトヲ得ス

第六十條 分割ヲ爲ス場合ニ於テハ分割後存続スル組合又ハ分割ニ因リテ成立スル組合ノ被保險者タル組合員ノ員數ハ當時三百人以上タルヘキコトヲ要ス

第六十一條 合併ニ因リテ成立スル組合ノ規約、保險料率及初年度ノ收入支出ノ豫算ハ各組合ニ於テ選任シタル者共同シテ之ヲ定メ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六十二條 分割ニ因リテ成立スル組合ノ規約、保險料率及初年度ノ收入支出ノ豫算ハ其ノ組合ノ組合員タルヘキ事業主之ヲ定メ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六十三條 合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ成立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス
分割ニ因リテ成立シタル組合ハ分割ニ因リテ消滅シタル組合又ハ分割後存続スル組合ノ權利義務ノ一部ヲ承繼ス
前項ノ規定ニ依リ承繼スル權利義務ノ限度ハ分割ノ議決ト共

ニ之ヲ議決シ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六十四條 組合ノ合併又ハ分割ノ認可ヲ爲シタルトキハ厚生大臣ハ合併又ハ分割ニ因リテ成立又ハ消滅シタル組合及合併又ハ分割後存続スル組合ニ付左ニ掲クル事項ヲ告示スヘシ

一 組合ノ名稱
 二 事務所ノ所在地
 三 組合ノ設立アル事業所ノ名稱及所在地
 四 認可ノ年月日

第六十五條 第十八條乃至第二十條ノ規定ハ合併又ハ分割ニ因リテ成立シタル組合ニ之ヲ準用ス

合併又ハ分割ノ際其ノ合併又ハ分割シタル組合ノ理事タリシ者カ合併又ハ分割ニ因リテ成立シタル組合ノ組合員タル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ事業主ノ行フヘキ職務ハ其ノ理事タリシ者之ヲ行フ

第六十六條 組合ハ解散ヲ爲サントスルトキハ組合會ニ於テ議員定數ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ之ヲ議決シ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六十七條 組合ハ被保險者タル組合員ナキニ至ルモ其ノ欠陥カ一時的ナル場合ニ於テハ解散スルコトナシ

第六十八條 組合解散シタルトキハ厚生大臣ハ第六十四條ノ例ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第六十九條 組合ノ設立アル事業所ヲ増減セントスルトキハ編入又ハ削除セラレヘキ事務所ノ事業主ノ全部及其ノ事業所ニ使用セラレタル被保險者ノ二分ノ一以上ノ同意アルコトヲ要ス

編入又ハ削除セラレヘキ事業所ニ以上アル場合ニ於テハ前項

ノ被保險者ノ同意ハ各事業所ニ之ヲ得ルコトヲ要ス

前二項ノ規定ニ於テ被保險者トアルハ職員健康保險法第十九條第一項又ハ第二十一條第一項ノ規定ニ依リ認可ノ申請ト同時ニ事業所編入ニ關スル規約變更ノ認可ノ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルヘキ者トス

第七十條 事業所ノ削除ヲ爲ス場合ニ於テハ削除後ニ於テモ組合ノ被保險者タル組合員ノ員數ハ當時三百人以上タルヘキコトヲ要ス

第七十一條 組合ハ第六十九條ノ同意ヲ求メントスルトキハ事業所ノ編入ノ場合ニ在リテハ第十三條各號ニ掲クル事項ヲ記載シタル書面ヲ、事業所ノ削除ノ場合ニ在リテハ削除ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ編入又ハ削除ニ因リ組合員タル資格ヲ取得又ハ喪失スヘキ者ノ全部ニ送付スヘシ

第六節 監督

第七十二條 厚生大臣ハ組合會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

組合會解散ノ場合ニ於テハ一月以内ニ議員ノ選定及選舉ヲ爲スヘシ

第七十三條 職員健康保險法第四十三條ノ規定ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間組合ノ役員タルコトヲ得ス

第七十四條 第二十五條第三項、第四十一條、第四十八條第一項、第五十二條、第五十六條及第五十七條ニ於テ監督官廳ト

アルハ保險院長官トス

第四章 保險給付

第七十五條 職員健康保險法第四十七條第一項ノ療養費ヲ支給スヘキ療養ノ範圍ハ左ノ如シ

- 一 診察
- 二 藥劑又ハ治療材料ノ支給
- 三 處置手術其ノ他ノ治療
- 四 診療所收容
- 五 看護
- 六 移送

前項第四號乃至第六號ノ療養ハ保險者カ必要アリト認ムルモノニ限ル

第七十六條 療養費ノ額ハ療養ニ要スル費用ノ十分ノ六乃至十分ノ八ノ範圍内ニ於テ厚生大臣ノ定ムル割合ヲ標準トシテ算定シタル額トス

前項ノ療養ニ要スル費用ハ厚生大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ算定ス

特別ノ事由アル場合ニ於テハ職員健康保險組合ハ前項ノ規定ニ拘ラス規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第七十七條 被保險者カ保險者ノ指定シタル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ就キ療養ヲ受ケタル場合ニ於テハ保險者ハ其ノ被

保險者カ當該醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ對シ支拂フヘキ療養ニ要シタル費用ニ付療養費トシテ被保險者ニ對シ支給スヘキ額ノ限度ニ於テ被保險者ニ代リ當該醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ對シ之ヲ支拂フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ對シ費用ヲ支拂ヒタル場合ニ於テハ其ノ限度ニ於テ被保險者ニ對シ療養費ヲ支給シタルモノト看做ス

被保險者カ保險者ノ指定シタル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師以外ノ者ニ就キ療養ヲ受ケタル場合ニ於ケル療養費ノ支給方法ハ厚生大臣ノ之ヲ定ム

第七十八條 保險者カ診療所ヲ有スルトキ其ノ他保險者ニ於テ必要アリト認ムルトキハ職員健康保險法第四十七條第三項ノ規定ニ依リ療養費ノ支給ニ代ヘテ療養ノ給付ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ保險者カ職員健康保險組合ナルトキハ規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第七十九條 職員健康保險法第四十七條第三項ノ規定ニ依リ徵收スル一部負擔金ノ額ハ療養ノ給付ニ要スル費用ノ十分ノ二乃至十分ノ四ノ範圍内ニ方テ厚生大臣ノ定ムル割合ヲ標準トシテ算定シタル額トス

第七十九條ノ二 職員健康保險組合ハ職員健康保險法第四十八條第二項ノ規定ニ依リ療養費ノ支給ヲ爲サントスルトキハ規

約ヲ以テ其ノ旨ヲ定ムヘシ

第七十九條ノ三 職員健康保險法第四十八條第二項但書ノ規定ニ依ル期間ハ六月トス

第八十四條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十條 診療所ニ於テ收容セラレタル被保險者ニ對シ支給スヘキ傷病手當金ハ專ラ其ノ者ニ依リ生計ヲ維持スル者ナキ場合ニ於テハ標準報酬日額ノ百分ノ二十二ニ相當スル金額トス

第八十一條 職員健康保險法第四十九條第三項ノ規定ニ依リ傷病手當金ノ支給ノ待期ヲ短縮シ又ハ廢スル場合ニ於テハ規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第八十二條 出產手當金ハ被保險者カ分娩ノ日前二十八日、分娩ノ日以後四十二日以内ニ於テ勞務ニ服セザリシ期間之ヲ支給ス

分挽ノ日カ豫定日ヨリ後レタルトキハ保險者ハ前項ノ分挽ノ日前ノ期間ヲ七日以内延長スルコトヲ得

第八十三條 産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲シタル被保險者ニ對シ支給スヘキ分挽費ノ額ハ十圓トス

第八十條ノ規定ハ産院ニ收容シタル被保險者ニ對シ支給スル出產手當金ニ之ヲ準用ス

第八十四條 分挽ニ關スル保險給付ハ分挽一年以内ニ於テ百八十日以上被保險者タリシ者ニ非サレハ之ヲ爲セス

職員健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニシテ同法第十九條ノ認可アリタル際健康保險ノ被保險者タリシモノニ關シテハ前項ノ期間ノ計算ニ付健康保險ノ被保險者タリシ期間ヲ合算ス

第八十五條 職員健康保險法第五十六條ノ規定ニ依ル保險給付ハ被保險者ノ資格喪失ノ日前六月以上引續キ被保險者タリシ者ニ非サレハ之ヲ爲サス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十六條 職員健康保險法第五十八條ノ規定ニ依ル期間ハ之ヲ六月トス

第八十七條 職員健康保險法第五十六條乃至第五十八條ノ規定ニ該當スル被保險者タリシ者カ健康保險又ハ船員保險ノ被保險者ト爲リタル場合ニ於テ健康保險法、船員保險法又ハ船員法ニ於テ職員健康保險法ノ規定ニ依ル保險給付ト同種ノ給付ヲ爲ストキハ職員健康保險法ノ規定ニ依ル保險給付ハ之ヲ爲サス

第八十八條 保險者ハ職員健康保險法第六十條ノ規定ニ依リ哺育上ノ手當、哺育手當金ノ支給其ノ他厚生大臣ノ定ムル給付ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル給付ニ關シ必要ナル事項ハ厚生大臣之ヲ定ム

第八十九條 疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分挽シタル場合ニ於テ繼續シテ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受ケタルコトヲ得ヘキ者ニ對シテ

【二三四】

【二一九】

ハ之ヲ受ケタルコトヲ得ヘキ期間傷病手當金又ハ出產手當金ヲ支給セス但シ其ノ受ケルコトヲ得ヘキ報酬ノ額カ傷病手當金又ハ出產手當金ノ額ヨリ小ナルトキハ其ノ差額ヲ支給ス

第九十條 前條ニ掲クル者カ其ノ受ケルコトヲ得ヘカリシ報酬ノ全部又ハ一部ニ付其ノ金額ヲ受ケルコト能ハザリシトキハ傷病手當金又ハ出產手當金ノ全額、其ノ一部ヲ受ケルコト能ハザリシ場合ニ於テ受ケタル額カ傷病手當金又ハ出產手當金ノ額ヨリ小ナルトキハ其ノ額ト傷病手當金又ハ出產手當金トノ差額ヲ支給ス但シ前條但書ノ規定ニ依リ傷病手當金又ハ出產手當金ノ一部ヲ受ケタルトキハ其ノ額ヲ支給額ヨリ控除ス

第九十一條 第八十三條第二項ノ規定ハ職員健康保險法第六十五條第二項ニ掲クル者ニ對シ支給スヘキ出產手當金ニ之ヲ準用ス

第九十二條 職員健康保險法第一條第二項ノ規定ニ依ル保險給付ハ引續キ一年以上被保險者タリシ者ト同一ノ世帯ニ屬シ專ラ其ノ者ニ依リ生計ヲ維持スル者ノ疾病又ハ負傷ノ療養ニ要シタル費用ニ付補給金トシテ之ヲ支給ス

第九十三條 前條ノ補給金ハ同條ノ疾病又ハ負傷ノ療養ニ關シ入院ニ要スル費用又ハ一回十圓以上ノ處置料若ハ手術料ニ付保險者ニ於テ必要アリト認メタル場合ニ於テ之ヲ支給ス補給金ノ額ハ前項ノ療養ニ要スル費用ノ十分ノ五ヲ標準トシテ保險者ノ算定シタル額トス

第九十四條 療養ニ要スル費用ハ第七十六條第二項ノ規定ニ依リ

第一項ノ療養ニ要スル費用ハ第七十六條第二項ノ規定ニ依リ

厚生大臣ノ定ムル算定方法ニ依リ之ヲ算定ス

職員健康保險法第四十八條ノ規定ハ補給金ヲ支給スヘキ療養ノ期間ニ之ヲ準用ス

前條ノ疾病又ハ負傷ニ關シ他ノ法令ノ規定ニ依リ療養費ノ支給又ハ療養アリタルトキハ其ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ補給金ハ之ヲ支給セス

第九十一條ノ四 第七十七條ノ規定ハ第九十一條ノ二ノ補給金ノ支給ニ之ヲ準用ス

第九十二條 詐欺其ノ他不正ノ行為ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者ニ對シテハ保險者ハ六月以内ノ期間ヲ定メ其ノ者ニ支給スヘキ傷病手當金又ハ出產手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セザル旨ヲ決定ヲ爲スコトヲ得但シ詐欺其ノ他不正ノ行為アリタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ決定ハ保險者ニ於テ其ノ事實ヲ知りタルトキ遲滞ナク之ヲ爲シ本人ニ通知スヘシ

得タル額トス

前二項ノ被保險者ノ員數ハ其ノ年度内ノ各月末ニ於ケル被保險者ノ總數ノ平均數トス

第九十四條 職員健康保險組合ニ對シ交付スル國庫負擔金ニ付テハ概算拂フ爲スコトヲ得

前項ノ概算拂ニ關シ必要ナル事項ハ厚生大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ムヘシ

第九十五條 保險料額ハ毎月ニ付各被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乘シテ得タル額トス但シ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日カ十六日以後ナル場合又ハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日カ二日以後十六日以前ナル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料額ハ之ヲ半額トス

被保險者ノ資格ヲ取得シタル月ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ拘ラス其ノ間ニ於ケル保險料額ハ被保險者タリシ日數カ十六日以上ナルトキハ其ノ月分ノ保險料額ノ全額、十五日以内ナルトキハ其ノ半額トス

第九十六條 職員健康保險法第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者ニ關スル保險料ハ其ノ被保險者ト爲リタル日カ十七日以後ナルトキハ其ノ翌月ヨリ、十六日以前ナルトキハ其ノ月ヨリ之ヲ算定ス

前項ノ場合ニ於テ毎月ノ保險料ノ算定方法ハ前條ノ例ニ依ル但シ前項後段ノ場合ニ於テ被保險者トナリタル日カ二日以後十六日以前ナルトキハ其ノ月分ノ保險料額ハ保險料額ノ半額トス

第九十七條 保險料率ハ被保險者之ヲ定ム

保險料率ハ各被保險者ニ付同一ナルコトヲ要ス

第九十八條 標準報酬ノ等級カ第一級ニ該當スル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ事業主ノ負擔額ハ標準報酬ノ等級カ第二級ニ該當スル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ事業主ノ負擔額トス

キ類ト同額トス但シ其ノ額カ保險料ノ全額ヲ超過スル場合ニ於テハ事業主ノ負擔ハ保險料ノ全額トス

第九十九條 被保險者カ職員健康保險法第六十五條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ其ノ日カ其ノ屬スル月ノ全日數ニ互ル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料額ノ全額ヲ、其ノ屬スル月ノ全日數ニ互ラサルモ十五日以上ナル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料額ノ半額ヲ徵收セス

第一百條 事業主ハ被保險者ニ對シ金錢ヲ以テ報酬ヲ支拂フ場合ニ於テハ被保險者ノ負擔スヘキ前月分ノ保險料ヲ報酬ヨリ控除スルコトヲ得

事業主ハ被保險者カ其ノ事業ニ使用セラレサルニ至リタルトキニ限り前項ノ規定ニ拘ラス報酬支拂ノ際ニ於テ被保險者ノ負擔スヘキ前月分及其ノ月分ノ保險料ヲ控除スルコトヲ得

第一百一條 事業主ハ被保險者ノ控除ニ關スル計算書ヲ作製シ被保險者ノ請求ニ應ジテ開覽セシムヘシ

第一百二條 毎月ノ保險料ハ翌月末日迄ニ之ヲ納付スヘシ

被保險者ハ保險料ノ納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告知シタル保險料額カ當該納付義務者ノ納付スヘキ保險料額ヲ超過スルコトヲ知リタルトキニハ其ノ超過部分ニ對スル納入ノ告知ハ其ノ告知ヲ爲シタル後六月以内ノ期日ニ於テ納付セラルヘキ

保險料ニ對シ納期ヲ繰上之ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ

【附則】

昭和十五年六月一日迄ニ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ニ對シ

定タル標準報酬ハ第四條第一項ノ規定ニ拘ラス其ノ定タル日ヨリ昭和十六年七月三十一日迄其ノ效力ヲ有ス但シ其ノ者カ昭和十五年六月二日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル後

更ニ被保險者ノ資格ヲ取得シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

附則 本令ハ昭和十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 昭和十七年一月二十三日勅令第三十六號

本令ハ昭和十七年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ被保險者ノ資格ヲ有スル者ノ標準報酬ハ第四條第一項ノ改正規定ニ拘ラス其ノ者ニ付現ニ定マリ居レル標準報酬ノ等級ニ相當スル第三條ノ改正規定ニ依ル標準報酬トス

附則 本令ハ昭和十四年十二月二十六日

厚生省令第四十二號

昭和十六年五月厚生省令第二二號、昭和十六年七月四號第三號、昭和十七年一月四號第六號改正

職員健康保險法施行規則左ノ通定ム

職員健康保險法施行規則

第一章 總則

第一條 政府ノ管掌スル保險ハ職員健康保險法(以下法ト稱ス)

第十八條、法第二十條又ハ法第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ其ノ使用セラレル事業所ノ所在地ヲ管轄スル地方

長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下ノ同シ)ニ於テ、法第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ其ノ住所地ヲ管轄ス

本令ハ昭和十四年十二月二十六日ヨリ之ヲ施行ス但シ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ職員健康保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十五年四月一日ニ於テ現ニ被保險者ノ資格ヲ有スル者ニ對スル標準報酬ハ第四條第一項但書ノ規定ニ拘ラス昭和十五年四月一日ノ現在ニ依リ之ヲ定ム但シ其ノ者カ昭和十五年四月二日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニ對シ被保險者ノ資格ヲ取得シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

附則 本令ハ昭和十四年十二月二十六日

厚生省令第四十二號

昭和十六年五月厚生省令第二二號、昭和十六年七月四號第三號、昭和十七年一月四號第六號改正

職員健康保險法施行規則

第一章 總則

第一條 政府ノ管掌スル保險ハ職員健康保險法(以下法ト稱ス)

保險料率ハ被保險者之ヲ定ム

第九十七條 保險料率ハ被保險者之ヲ定ム

第九十八條 標準報酬ノ等級カ第一級ニ該當スル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ事業主ノ負擔額ハ標準報酬ノ等級カ第二級ニ該當スル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ事業主ノ負擔額トス

第九十九條 被保險者カ職員健康保險法第六十五條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ其ノ日カ其ノ屬スル月ノ全日數ニ互ル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料額ノ全額ヲ、其ノ屬スル月ノ全日數ニ互ラサルモ十五日以上ナル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料額ノ半額ヲ徵收セス

第一百條 事業主ハ被保險者ニ對シ金錢ヲ以テ報酬ヲ支拂フ場合ニ於テハ被保險者ノ負擔スヘキ前月分ノ保險料ヲ報酬ヨリ控除スルコトヲ得

事業主ハ被保險者カ其ノ事業ニ使用セラレサルニ至リタルトキニ限り前項ノ規定ニ拘ラス報酬支拂ノ際ニ於テ被保險者ノ負擔スヘキ前月分及其ノ月分ノ保險料ヲ控除スルコトヲ得

第一百一條 事業主ハ被保險者ノ控除ニ關スル計算書ヲ作製シ被保險者ノ請求ニ應ジテ開覽セシムヘシ

第一百二條 毎月ノ保險料ハ翌月末日迄ニ之ヲ納付スヘシ

被保險者ハ保險料ノ納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告知シタル保險料額カ當該納付義務者ノ納付スヘキ保險料額ヲ超過スルコトヲ知リタルトキニハ其ノ超過部分ニ對スル納入ノ告知ハ其ノ告知ヲ爲シタル後六月以内ノ期日ニ於テ納付セラルヘキ

保險料ニ對シ納期ヲ繰上之ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ

【附則】

昭和十五年六月一日迄ニ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ニ對シ

定タル標準報酬ハ第四條第一項ノ規定ニ拘ラス其ノ定タル日ヨリ昭和十六年七月三十一日迄其ノ效力ヲ有ス但シ其ノ者カ昭和十五年六月二日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル後

更ニ被保險者ノ資格ヲ取得シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

附則 本令ハ昭和十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 昭和十七年一月二十三日勅令第三十六號

本令ハ昭和十七年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ被保險者ノ資格ヲ有スル者ノ標準報酬ハ第四條第一項ノ改正規定ニ拘ラス其ノ者ニ付現ニ定マリ居レル標準報酬ノ等級ニ相當スル第三條ノ改正規定ニ依ル標準報酬トス

附則 本令ハ昭和十四年十二月二十六日

厚生省令第四十二號

昭和十六年五月厚生省令第二二號、昭和十六年七月四號第三號、昭和十七年一月四號第六號改正

職員健康保險法施行規則左ノ通定ム

職員健康保險法施行規則

第一章 總則

第一條 政府ノ管掌スル保險ハ職員健康保險法(以下法ト稱ス)

第十八條、法第二十條又ハ法第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ其ノ使用セラレル事業所ノ所在地ヲ管轄スル地方

長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下ノ同シ)ニ於テ、法第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ其ノ住所地ヲ管轄ス

本令ハ昭和十四年十二月二十六日ヨリ之ヲ施行ス但シ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ職員健康保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十五年四月一日ニ於テ現ニ被保險者ノ資格ヲ有スル者ニ對スル標準報酬ハ第四條第一項但書ノ規定ニ拘ラス昭和十五年四月一日ノ現在ニ依リ之ヲ定ム但シ其ノ者カ昭和十五年四月二日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニ對シ被保險者ノ資格ヲ取得シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

附則 本令ハ昭和十四年十二月二十六日

厚生省令第四十二號

昭和十六年五月厚生省令第二二號、昭和十六年七月四號第三號、昭和十七年一月四號第六號改正

職員健康保險法施行規則

第一章 總則

第一條 政府ノ管掌スル保險ハ職員健康保險法(以下法ト稱ス)

ル地方長官ニ於テ之ヲ掌ル

第二條 被保險者カ同時ニ二以上ノ事業所ニ使用セラルル場合ニ於テ保險者カ二以上アルトキ又ハ其ノ使用セラルル事業所カ異リタル道府縣ニ在ルトキハ被保險者ハ其ノ保險ヲ掌ルヘキ地方長官又ハ職員健康保險組合(以下組合ト稱ス)ヲ定メ其ノ旨ヲ其ノ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ
地方長官又ハ組合ハ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ關係アル地方長官又ハ組合ニ之ヲ通知スヘシ

第三條 事業主ハ職員健康保險法施行令第四條第二項ノ規定ニ依リ被保險者ノ標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキハ遲滞ナク様式第一號ニ依ル届書ヲ地方長官又ハ職員健康保險組合ニ提出スヘシ

第四條 地方長官又ハ職員健康保險組合ハ事業主ヲシテ地方長官又ハ職員健康保險組合ノ定ムル日ノ現在ニ於ケル被保險者ノ報酬月額算定ノ基礎ノ届出ヲ爲サシムルコトヲ得
事業主ハ前項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲ス場合ニ於テハ様式第一號ニ依リ前項ニ定ムル日ヨリ十日以内ニ地方長官又ハ職員健康保險組合ニ提出スヘシ

第五條 前二條、第十八條第一項又ハ第十九條ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ地方長官又ハ組合ハ被保險者ノ標準報酬ヲ決定シ遲滞ナク之ヲ事業主ニ通知スヘシ標準報酬ヲ變更シタルトキ亦同シ

第六條 組合ハ保險料其ノ他法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ徵收セントスルトキハ徵收スヘキ金額ヲ決定シタル上納付義務者ニ對シ其ノ徵收金ノ種類並ニ納付スヘキ金額期日及場所ヲ記載シタル書面ヲ以テ納入ノ告知ヲ爲スヘシ且シ即納セシムル場合ニ於テハ口頭ヲ以テ納入ノ告知ヲ爲スコトヲ得

第七條 法第十條ノ規定ニ依ル質問又ハ其ノ爲ス場合ニ於テハ當該官吏ハ様式第二號ニ依ル票ヲ携帯スヘシ
第八條 法第十一條ノ規定ニ依リ左ニ掲クル職權ヲ地方長官ニ委任ス但シ本令ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 法第十九條第一項法第二十一條第一項及法第二十六條第一項ノ規定ニ依ル職權(組合ノ設立、解散又ハ規約ノ變更ヲ伴フ場合ヲ除ク)
二 法第四十一條ノ規定ニ依ル職權中組合ニ對シ其ノ事業及財産ニ關シ報告ヲ爲サシメ其ノ狀況ヲ検査スル職權及法第四十二條第一項ノ規定ニ依ル職權(組合カ二以上ノ道府縣ニ跨ル場合ヲ除ク)

第九條 第六條第一項ノ規定ニ依リ發スル督促狀ハ様式第三號ニ依ル

【連二四條】

第十條

道府縣(東京府ヲ除ク以下之ニ同シ)ノ官吏カ滞納處分ノ爲財産ノ差押ヲ爲ス場合ニ於テ示スヘキ其ノ命令ヲ受ケタル官吏タルノ證明ハ様式第四號ニ依ル

第十一條 法第十五條ノ規定ニ依ル公告ハ道府縣廳(東京府ニ在リテハ審視廳以下之ニ同シ)職員健康保險ノ事務ヲ分掌スル府廳出張所(以下出張所ト稱ス)又ハ組合ノ事務所ニ之ヲ爲スヘシ

第十二條 令第一百一條ノ規定ニ依ル保險料ノ控除ニ關スル計算書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ事業所毎ニ之ヲ備フヘシ
一 被保險者ノ氏名
二 控除シタル保險料ノ金額
三 控除シタル年月日

第十三條 事業主ハ職員健康保險ニ關スル書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ二年間保存スヘシ

第十四條 第三條、第四條、第五條第二項、第十八條、第十九條、第二十五條第一項、第二十七條、第二十八條、第二十九條第一項及第二項、第三十二條第三項及第五項、第三十三條第二項及第三項、第五十九條ノ四第二項、第六十一條第二項第六十二條、第六十三條、第六十五條第二項及第六十六條ノ規定ニ依リ事業主ノ爲スヘキ事項ニ付テハ事業主ハ代理人ヲ選定シ之ヲ處理キシムルコトヲ得

第二章 國民健康保險法

第一款 職員健康保險法

【連二四條】

事業主ハ前項ノ規定ニ依リ代理人ヲ選任シタルトキハ地方長官又ハ組合ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ
第十五條 事業主カ厚生大臣又ハ保險院長官ニ提出スヘキ書類ハ其ノ事業所ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ
組合カ厚生大臣又ハ保險院長官ニ提出スヘキ書類ハ其ノ事務所(事務所ニ以上アル場合ハ主たる事務所)ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ

第十六條 事業主又ハ被保險者ハ地方長官又ハ組合ニ對シ届出申請又ハ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ様式ノ定アルモノヲ除キ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ届書、申請書又ハ請求書ニ添附スヘキ書類ハ届出、申請又ハ請求ノ際ニ之ヲ提出スヘシ但シ地方長官又ハ組合ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス
口頭ヲ以テ届出、申請又ハ請求シタル者アル場合ニ於テ地方長官又ハ組合ハ必要アリト認ムルトキハ其ノ届出、申請又ハ請求ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ作製シ讀取カセタル上之ニ記名押印セシムヘシ

第十七條 法第七十一條第二項ノ規定ニ依ル利用料ニ關スル事項ハ保險者ノ之ヲ定ム
保險者カ組合ナル場合ニ於テハ前項ノ利用料ニ關スル事項ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

二七

第十八條 職員健康保險法第十八條、同法第二十條又同法第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ取得シタル者アルトキハ事業主ハ様式第五號ニ依リ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

職員健康保險法第十八條、同法第二十條又同法第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ事業主ハ様式第六號ニ依リ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

第十九條 法第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者カ法第十八條法第二十條又ハ法第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタルトキハ事業主ハ様式第五號ニ準シ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

第二十條 被保險者ハ同時ニ二以上ノ事業所ニ使用セララルニ至リタルトキハ其ノ各事業所ニ付左ニ掲ケル事項ヲ十日以内ニ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

一 事業主ノ氏名及住所
二 事業所ノ名稱及所在地
三 被保險者ノ氏名及住所
四 被保險者ノ職業
五 被保險者ノ年齢
六 被保險者ノ性別
七 被保險者ノ婚姻
八 被保險者ノ家族
九 被保險者ノ健康
十 被保險者ノ労働

二 事業所ノ名稱及所在地
三 被保險者ト爲ルルキ者ノ員數
四 健康保險ノ被保險者トシテノ記號(被保險者ト爲ルルキ者カ現ニ健康保險組合ノ組合員ナルトキハ其ノ組合ノ名稱及所在地)

法第十九條第一項ノ認可ノ申請ト同時ニ其ノ事業所ニ付組合ノ設立又ハ事業所ノ編入ニ關スル規約變更ノ認可申請アル場合ニ於テハ前項ノ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第二十二條 前條ノ規定ハ法第二十一條第一項ノ規定ニ依リ認可申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 法第二十六條第一項ノ認可申請書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載シ同條第二項ノ規定ニ依リ同意アリタルコトヲ認ムルニ足ル書類ヲ添付スヘシ

一 事業所ノ名稱、所在地及被保險者證ノ記號
二 被保險者ノ員數
三 組合ノ設立アル場合ニ於テハ其ノ組合ノ名稱及所在地並ニ其ノ組合力解散スヘキモノナルトキハ其ノ旨
四 被保險者ノ氏名及住所
五 被保險者ノ職業
六 被保險者ノ年齢
七 被保險者ノ性別
八 被保險者ノ婚姻
九 被保險者ノ家族
十 被保險者ノ健康
十一 被保險者ノ労働

(第二十四條)

(第二十五條)

國民健康保險法第十八條、同法第二十條又同法第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ取得シタル者アルトキハ事業主ハ様式第五號ニ依リ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

職員健康保險法第十八條、同法第二十條又同法第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ事業主ハ様式第六號ニ依リ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

第十九條 法第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者カ法第十八條法第二十條又ハ法第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタルトキハ事業主ハ様式第五號ニ準シ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

第二十條 被保險者ハ同時ニ二以上ノ事業所ニ使用セララルニ至リタルトキハ其ノ各事業所ニ付左ニ掲ケル事項ヲ十日以内ニ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

一 事業主ノ氏名及住所
二 事業所ノ名稱及所在地
三 被保險者ノ氏名及住所
四 被保險者ノ職業
五 被保險者ノ年齢
六 被保險者ノ性別
七 被保險者ノ婚姻
八 被保險者ノ家族
九 被保險者ノ健康
十 被保險者ノ労働

第二章 國民健康保險法 第一節 職員健康保險法

二 事業所ノ名稱及所在地
三 被保險者ト爲ルルキ者ノ員數
四 健康保險ノ被保險者トシテノ記號(被保險者ト爲ルルキ者カ現ニ健康保險組合ノ組合員ナルトキハ其ノ組合ノ名稱及所在地)

法第十九條第一項ノ認可ノ申請ト同時ニ其ノ事業所ニ付組合ノ設立又ハ事業所ノ編入ニ關スル規約變更ノ認可申請アル場合ニ於テハ前項ノ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第二十二條 前條ノ規定ハ法第二十一條第一項ノ規定ニ依リ認可申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 法第二十六條第一項ノ認可申請書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載シ同條第二項ノ規定ニ依リ同意アリタルコトヲ認ムルニ足ル書類ヲ添付スヘシ

一 事業所ノ名稱、所在地及被保險者證ノ記號
二 被保險者ノ員數
三 組合ノ設立アル場合ニ於テハ其ノ組合ノ名稱及所在地並ニ其ノ組合力解散スヘキモノナルトキハ其ノ旨
四 被保險者ノ氏名及住所
五 被保險者ノ職業
六 被保險者ノ年齢
七 被保險者ノ性別
八 被保險者ノ婚姻
九 被保險者ノ家族
十 被保險者ノ健康
十一 被保險者ノ労働

(第二十四條)

(第二十五條)

國民健康保險法第十八條、同法第二十條又同法第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ取得シタル者アルトキハ事業主ハ様式第五號ニ依リ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

職員健康保險法第十八條、同法第二十條又同法第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ事業主ハ様式第六號ニ依リ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

第十九條 法第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者カ法第十八條法第二十條又ハ法第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタルトキハ事業主ハ様式第五號ニ準シ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

第二十條 被保險者ハ同時ニ二以上ノ事業所ニ使用セララルニ至リタルトキハ其ノ各事業所ニ付左ニ掲ケル事項ヲ十日以内ニ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

一 事業主ノ氏名及住所
二 事業所ノ名稱及所在地
三 被保險者ノ氏名及住所
四 被保險者ノ職業
五 被保險者ノ年齢
六 被保險者ノ性別
七 被保險者ノ婚姻
八 被保險者ノ家族
九 被保險者ノ健康
十 被保險者ノ労働

二九

一 被保險者ノ氏名
 二 被保險者ノ記號番號
 三 變更前ノ事業所ノ名稱及所在地
 四 變更後ノ事業所ノ名稱及所在地
 五 變更シタル年月日
 六 報酬ニ異動アリタルトキハ其ノ内容(様式第五號)報酬月額算定基礎(欄ノ記載ニ準ス)

第三十三條 第一項乃至第三項及第六項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テ被保險者ニ變更アリタルトキハ届出ヲ受ケタル被保險者ハ従前ノ被保險者ニ對シ被保險者ノ勤務スル事業所ニ變更アリタル旨及變更ノ年月日ヲ通知スヘシ此ノ場合ニ於テハ返納アリタル被保險者證ヲ添附スヘシ

第三十條 法第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ氏名又ハ住所ヲ變更シタルトキハ新舊ノ氏名又ハ住所及變更ノ年月日ヲ五日以内ニ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

被保險者(組合ニ屬スル者ヲ除ク)カ道府縣ニ涉リ住所ヲ變更シタルトキハ前項ノ届出ハ變更後ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ニ對シ之ヲ爲スヘシ

第三十一條 第十八條第一項、第十九條又ハ第二十九條第一項ノ規定ニ依リ届出アリタルトキハ地方長官又ハ組合ハ其ノ被

保險者ノ被保險者證ノ記號及番號ヲ還納ナク事業主ニ通知スヘシ其ノ記號又ハ番號ヲ變更シタルトキ亦同シ

第三十二條 地方長官又ハ組合ハ様式第七號ニ依ル被保險者證ヲ被保險者ニ交付スヘシ

地方長官又ハ組合ハ被保險者證ヲ交付セントスルトキハ之ヲ被保險者ヲ使用スル事業主ニ送付スヘシ但シ法第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者ナル場合ニ於テハ之ヲ被保險者ニ送付スヘシ

前項ノ規定ニ依ル被保險者證ノ送付アリタルトキハ事業主ハ還納ナク之ヲ被保險者ニ交付スヘシ

被保險者ノ氏名又ハ事業所ノ名稱者ハ所在地ニ變更アリタルトキハ被保險者證ノ改訂ヲ受ケタル爲被保險者ハ還納ナク之ヲ事業主ニ提出スヘシ被保險者證ノ記號又ハ番號ニ變更アリタルトキ亦同シ

前項ノ規定ニ依ル被保險者證ノ提出アリタルトキハ事業主ハ還納ナク其ノ改訂ヲ爲シ之ヲ被保險者ニ返付スヘシ

法第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者(組合ニ屬スル者ヲ除ク)ハ道府縣ニ涉リ住所ヲ變更シタルトキハ還納ナク被保險者證ヲ變更後ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ニ提出シテ其ノ改訂ヲ受ケヘシ

被保險者證ヲ滅失若ハ毀損シタルトキ又ハ被保險者證ニ餘白

(第六號)

ナキニ至リタルトキハ被保險者ハ還納ナク被保險者證ヲ添ヘ(滅失ノ場合ヲ除ク)其ノ旨ヲ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

第三十三條 被保險者(法第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者ヲ除ク)ハ其ノ資格ヲ喪失シタルトキ又ハ其ノ被保險者ニ變更アリタルトキハ其ノ被保險者證ヲ還納ナク事業主ニ提出スヘシ但シ第六十條第一項ノ規定ニ依リ被保險者證ヲ提出スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

被保險者(法第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者ヲ除ク)カ其ノ資格ヲ喪失シタルトキ又ハ其ノ被保險者ニ變更アリタルトキハ事業主ハ還納ナク被保險者證ヲ同枚シ之ヲ地方長官又ハ組合ニ返納スヘシ

被保險者ノ資格喪失ニ因リ事業主ノ返納スヘキ被保險者證ハ之ヲ資格喪失届ニ添附スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ資格喪失届ニ附記スヘシ第一項但書ノ規定ニ依リ被保險者證ヲ返納シ能ハサルトキ亦同シ

法第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者カ其ノ資格ヲ喪失シタルトキ又ハ其ノ被保險者ニ變更アリタルトキハ其ノ者ニ於テ被保險者證ヲ五日以内ニ地方長官又ハ組合ニ返納スヘシ

第六十條 第一項ニ掲タル者ガ其ノ給付ヲ受ケサルニ至リタルトキハ其ノ者ニ於テ被保險者證ヲ五日以内ニ地方長官又ハ組

合ニ還納スヘシ

第一項若ハ前二項ノ資格喪失ノ原因死亡ナルトキ又ハ第一項ノ規定ニ依リ被保險者證ヲ提出スヘキ者若ハ前二項ノ規定ニ依リ被保險者證ヲ返納スヘキ者カ死亡シタルトキハ埋葬料又ハ法第五十一條第二項若ハ法第五十七條第二項ノ埋葬費ノ支給ヲ受ケヘキ者ニ於テ其ノ請求ノ際被保險者證ヲ地方長官又ハ組合ニ返納スヘシ

第三章 職員健康保險組合

第三十四條 組合設立ノ認可申請書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添付スヘシ但シ法第三十七條ノ規定ニ依リ組合設立ノ認可申請ヲ爲ス場合ニ於テハ第五號及第六號ノ書類ハ之ヲ添付スルコトヲ要セス

一 規約
 二 事業計畫書
 三 保險料率及其ノ計算ノ基礎ヲ示シタル書面
 四 初年度ノ收入支出ノ豫算
 五 令第十三條ノ書面ノ寫(被保險者ニ送付ノ年月日ヲ記載スルコト)

六 組合ノ設立ニ付法第三十四條第一項ノ同意アリタルコトヲ認ムルニ足ル書類

第三十五條 法又ハ法ニ基ク命令ニ依リ組合ニ於テ監督官廳ノ

(第六號)

認可ヲ受クハキ事項カ組合會ノ議決ヲ經タルモノナルトキハ
申請書ニ其ノ會議録ノ寫ヲ添付スヘシ
認可申請ヲ爲スヘキ事項カ第四十二條ノ規定ニ依リ理事專
決シタルモノナルトキハ申請書ニ專決ノ理由ヲ記載シタル書
面ヲ添付スヘシ

第三十六條 組合合併ノ認可申請書ニハ合併スル各組合ノ名稱
及保險者ノ員數並ニ合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ成
立スル組合ノ名稱ヲ記載シ左ニ掲タル書類ヲ添付スヘシ
一 合併後ニ於ケル事業計畫書
二 認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調整シタル各組合ノ財
産目錄

三 合併ニ因リテ成立スル組合アル場合ニ於テハ其ノ組合ノ
規約、保険料率及其ノ計算ノ基礎ヲ示シタル書面並ニ初年
度ノ收入支出ノ豫算
合併後存続スル組合アル場合ニ於テハ合併ニ伴フ規約變更ノ
認可申請ハ合併ノ認可申請ト同時ニ之ヲ爲スヘシ

第三十七條 組合分割ノ認可申請書ニハ分割スル組合、分割後
存続スル組合及分割ニ因リテ成立スル組合ノ名稱及被保險者
ノ員數ヲ記載シ左ニ掲タル書類ヲ添付スヘシ
一 分割後ニ於ケル各組合ノ事業計畫書
二 認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調整シタル分割スル組
合ノ財産目錄

第三十八條 組合解散ノ認可申請書ニハ解散スル組合ノ名稱及
被保險者ノ員數ヲ記載シ認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調
整シタル財産目錄ヲ添付スヘシ
第三十九條 被保險者タル組合員常時ナキニ至リタル爲組合解
散シタルトキハ其ノ事由、組合ノ名稱及解散ノ年月日ヲ理事
ヲリシ者ニ於テ選擇ナク厚生大臣ニ届出ツヘシ
前項ノ届書ニハ解散ノ日ノ現在ニ依リ調整シタル財産目錄ヲ
添付スヘシ

第四十條 組合ノ設立アル事業所ノ編入又ハ削除ニ關スル規約
變更ノ認可申請書ニハ左ニ掲タル書類ヲ添付スヘシ
一 規約變更後ニ於ケル事業計畫書
二 令第七十一條ノ書面ノ寫(被保險者ニ送付ノ年月日ヲ記
載スルモノ)
三 事業所ノ編入又ハ削除ニ付令第六十九條第一項ノ同意ヲ
得タル證明書

(第三編)

第三章 國民健康保險法 第二款 國民健康保險法令

第三編

第四十一條 組合カ合併又ハ分割シタル場合ニ於テハ理事又ハ
理事ヲリシ者ハ其ノ組合員タリシ被保險者ノ保險ヲ管掌スル
組合ノ理事ニ對シ選擇ナク其ノ事務ノ引繼ヲ爲スヘシ
事務引繼完了シタルトキハ引繼ヲ爲シタル者及引繼ヲ受ケタ
ル者ハ速署ノ上完了ノ日ヨリ五日以内ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ
届出ツヘシ

第四十二條 前條ノ規定ハ組合カ解散シタル場合及組合カ其ノ
組合ノ設立アル事業所ヲ削除シタル場合ニ之ヲ準用ス
第四十三條 組合會ノ會議録ニハ議長及出席議員二人以上之ニ
署名スヘシ

第四十四條 收入支出ノ豫算ハ様式第八號ニ依リ之ヲ調整シ毎
年二月末日迄ニ認可申請ヲ爲スヘシ
第四十五條 保険料率ノ認可申請書ニハ計算ノ基礎ヲ示シタル
書面ヲ添付スヘシ

第四十六條 決算ハ様式第八號ニ依リ事業報告ハ様式第九號ニ
依リ之ヲ調整シ年度經過後四月以内ニ組合會ノ認定ニ付スヘ
シ
決算及事業報告ハ組合會ノ認定ヲ經タル後選擇ナク之ヲ保險
院長官ニ届出ツヘシ

前二項ノ規定ニ依リ事業報告ヲ組合會ノ認定ニ付シ又ハ保險
院長官ニ届出ツヘシ

第二章 國民健康保險法 第一款 國民健康保險法令

第二章 國民健康保險法 第一款 國民健康保險法令

第一款 國民健康保險法令

三 分割ニ因リテ成立スル組合ノ承継スル權利義務ノ限度ヲ
示シタル書面
四 分割ニ因リテ成立スル組合ノ規約、保険料率及其ノ計算
ノ基礎ヲ示シタル書面並ニ初年度ノ收入支出ノ豫算
前條第二項ノ規定ハ分割後存続スル組合ノ分割ニ伴フ規約變
更ノ認可申請ニ之ヲ準用ス

第三十八條 組合解散ノ認可申請書ニハ解散スル組合ノ名稱及
被保險者ノ員數ヲ記載シ認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調
整シタル財産目錄ヲ添付スヘシ
第三十九條 被保險者タル組合員常時ナキニ至リタル爲組合解
散シタルトキハ其ノ事由、組合ノ名稱及解散ノ年月日ヲ理事
ヲリシ者ニ於テ選擇ナク厚生大臣ニ届出ツヘシ
前項ノ届書ニハ解散ノ日ノ現在ニ依リ調整シタル財産目錄ヲ
添付スヘシ

第四十條 組合ノ設立アル事業所ノ編入又ハ削除ニ關スル規約
變更ノ認可申請書ニハ左ニ掲タル書類ヲ添付スヘシ
一 規約變更後ニ於ケル事業計畫書
二 令第七十一條ノ書面ノ寫(被保險者ニ送付ノ年月日ヲ記
載スルモノ)
三 事業所ノ編入又ハ削除ニ付令第六十九條第一項ノ同意ヲ
得タル證明書

院長官ニ届出ツル場合ニ於テハ之ニ年度末現在ニ依リ調整シ
タル財産目錄ヲ添付スヘシ
第四十七條 財産目錄ハ様式第十號ニ依リ之ヲ調整スヘシ
第四十八條 組合ノ事業報告ニ付組合會ノ認定ヲ經タルトキハ
年度末現在ニ依リ調整シタル財産目錄ト共ニ之ヲ公示スヘシ
第四十九條 組合ハ様式第十一號ニ依リ毎月ノ事業狀況ヲ翌月
十五日迄ニ地方長官ニ報告スヘシ

第五十條 組合原簿ハ様式第十二號ニ依リ之ヲ調整スヘシ
第五十一條 組合ハ被保險者名簿、歳入簿、歳出簿及現金出納
簿ヲ備フヘシ
前項ノ帳簿ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム

第五十二條 組合ニ於テ組合員ノ權利義務ニ關スル規定ヲ定メ
又ハ改定シタルトキハ選擇ナク之ヲ地方長官ニ報告シ且組合
員ニ周知セシムヘシ
第五十三條 理事長カ就職、退職又ハ死亡シタルトキハ組合ハ
選擇ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ
第四章 保險給付

第五十四條 被保險者ハ保險者ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師
(以下保險醫ト稱ス)ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ其ノ都
度被保險者ヨリ其ノ保險醫ニ提示スヘシ但シ已ムテ得サル事
由アルトキハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミ

タル後遺症ナク被保險者ヲ其ノ保險醫ニ提示スヘシ
前項ノ規定ハ被保險者カ保險者ノ指定シタル藥劑師(以下保
險藥劑師ト稱ス)ニ就キ處方箋ニ依ル藥劑ノ支給ヲ受ケント
スル場合ニ之ヲ準用ス

第五十五條 前條ノ規定ニ依リ被保險者證ノ提示ヲ受ケタルト
キハ保險醫又ハ保險藥劑師ハ所定ノ事項ヲ之ニ記入ノ上被保
險者ニ返付スヘシ

第五十六條 療養費ノ支給ヲ受ケル疾病又ハ負傷カ第三者ノ行
爲ニ因ルモノナルトキハ被保險者ハ其ノ事實、第三者ノ氏名
及住所(氏名又ハ住所不詳ナルトキハ其ノ旨)並ニ疾病又ハ
負傷ノ狀況ヲ遲滞ナク地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

第五十七條 被保險者カ保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ療養ヲ受
ケタル場合ニ於テハ地方長官又ハ組合ハ令第七十七條第一項
ノ規定ニ依リ其ノ被保險者ニ對シ支給スヘキ療養費ヲ當該保
險醫又ハ保險藥劑師ニ對シ支拂フモノトス

前項ノ規定ニ依ル療養費支拂ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ
記載スヘシ

- 一 被保險者ノ氏名
- 二 被保險者證ノ記載及番號
- 三 事業所ノ名稱及所在地
- 四 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日並ニ原因

〔第三四條〕

一 被保險者證ノ記載及番號

二 發病又ハ負傷ノ年月日及原因

前項ノ申請書又ハ届書ニハ左ノ事項ヲ記載シタル醫師又ハ齒
科醫師ノ意見書ヲ添付スヘシ

一 令第七十五條第一項第四號乃至第六號ノ療養ヲ必要ト認
ムル事由

二 療養ノ内容及費用

三 入院診療ノ場合ニ在リテハ入院ノ期間

第五十九條ノ二 法第四十八條第二項ノ規定ニ依リ結核性疾
病ヲ指定ス

第五十九條ノ三 被保險者ハ法第四十八條第二項ノ規定ニ依ル
療養費ノ支給ヲ受ケントスルトキハ其ノ給付ヲ受ケルコトヲ
得ヘキコトヲ被保險者ニ於テ認定シタル書面ノ交付ヲ受クヘシ

被保險者前項ノ規定ニ依ル書面ノ交付ヲ受ケントスルトキハ
左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スヘシ

一 被保險者證ノ記載及番號

二 療養ノ開始年月日

前項ノ申請書ニハ其ノ疾病カ結核性疾病ナルコトヲ證スルニ
足ル醫師ノ意見書ヲ添付スヘシ

被保險者ハ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ其ノ都度
第一項ノ規定ニ依ル書面ヲ當該保險醫ニ提示スヘシ但シ已ム

第三編 國民健康保險法 第一款 國民健康保險法

- 五 疾病又ハ負傷ノ經過
- 六 療養ノ開始日及期間
- 七 療養ノ内容
- 八 療養ニ要シタル費用ノ額

第五十八條 被保險者ハ保險醫又ハ保險藥劑師以外ノ者ニ就キ
療養ヲ受ケタル場合ニ於テ療養費ノ支給ヲ受ケントスルトキ
ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル療養費支給ノ申請書ヲ各月分
ニ付遅クとも翌月十日迄ニ地方長官又ハ組合ニ提出スヘシ

一 前條第二項各號ニ掲クル事項

二 療養ヲ爲シタル者ノ氏名及住所

前項ノ申請書ニハ其ノ療養ニ要シタル費用ノ受領書其ノ他費
用ノ額ニ關スル證憑書類並ニ被保險者證ヲ添付スヘシ

前項ノ規定ニ依リ被保險者證ノ提出アリタルトキハ地方長官
又ハ組合ハ所定ノ事項ヲ之ニ記入ノ上遲滞ナク被保險者ニ返
付スヘシ

第五十九條 被保險者ハ令第七十五條第一項第四號乃至第六號
ノ療養ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申
請書ヲ提出スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此ノ限ニ
在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク申請書
記載事項及已ムヲ得サル事由ヲ記載シタル届出ヲ提出スヘ
シ

〔第三四條〕

〔第三四條〕

〔第三四條〕

〔第三四條〕

〔第三四條〕

〔第三四條〕

〔第三四條〕

〔第三四條〕

〔第三四條〕

〔第三四條〕

〔第三四條〕

〔第三四條〕

〔第三四條〕

〔第三四條〕

〔第三四條〕

〔第三四條〕

〔第三四條〕

〔第三四條〕

〔第三四條〕

三 入院診療ノ場合ニ在リテハ入院ノ期間
第五十四條第一項ノ規定ハ世帯員カ保險醫ニ就キ診療ヲ受ク
ル場合ニ之ヲ準用ス但シ同條同項中被保險者證トアルハ第一
項ノ規定ニ依ル承認書トス
第五十九條ノ五 補給金支給ノ請求書ニ左ニ掲クル事項ヲ記載
スヘシ

- 一 被保險者證ノ記號及番號
 - 二 診療ヲ受クル世帯ノ氏名
 - 三 診療ノ内容
 - 四 診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名
及住所
 - 五 診療ニ要シタル費用ノ額
- 第五十九條ノ六 第五十六條、第五十七條第一項、第五十八條
第一項及第二項ノ規定ハ補給金ニ付之ヲ準用ス但シ第五十八
條第二項ノ規定ニ依ル被保險者證ノ添附ハ之ヲ要セス
第六十條 法第五十六條ノ規定ニ依リ疾病又ハ負傷ニ關シ繼續
シテ療養費ヲ受ケントスル者ハ被保險者證ト共ニ左ニ掲クル
事項ヲ記載シタル屆書ヲ還附ナク地方長官又ハ組合ニ提出ス
ヘシ
- 一 住所
 - 二 資格喪失ノ年月日

三 被保險者證ノ記號及番號
四 資格喪失ノ際療養ヲ爲シタル者ノ氏名及住所
前項ノ規定ニ依リ被保險者證ノ提出アリタルトキハ地方長官
又ハ組合ハ之ニ繼續シテ給付ヲ受クルコトヲ得ル旨ヲ記載シ
之ヲ被保險者タリシ者ニ返付スヘシ

- 第六十一條 傷病手當金支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記
載スヘシ
- 一 被保險者證ノ記號及番號
- 二 發病又ハ負傷ノ年月日及原因
- 三 勞務ニ服スルコト能ハサリシ期間
- 四 日給ヲ受クル被保險者ナルトキハ其ノ旨
- 五 被保險者カ診療所ニ收容セラレタルモノナルトキハ其ノ
診療所ノ名稱、所在地、收容セラレタル年月日及期間並ニ
專ラ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者アルトキハ其ノ者ノ
氏名、生年月及被保險者トノ續柄
- 六 傷病手當金カ令第八十九條但書ノ規定ニ依ルモノナルト
キハ其ノ報酬ノ額及期間
- 七 傷病手當金カ令第九十條ノ規定ニ依ルモノナルトキハ受
クルコトヲ得ヘカリシ報酬ノ額及期間、受クルコト能ハサ
リシ報酬ノ額及期間並ニ令第八十九條但書ノ規定ニ依リ受
ケタル傷病手當金ノ額及報酬ヲ受クルコト能ハサリシ事由

（第一九條）

（第一九條）

前項ノ請求書ニハ前項第三號ノ期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫
師ノ意見書及事業主ノ證明書ヲ添附スヘシ
第六十二條 埋葬料支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ
市町村長ノ埋火葬認許證ノ寫、死亡診斷書ノ寫又ハ被保險者
ノ死亡ニ關スル事業主ノ證明書ヲ添附スヘシ

- 一 死亡シタル被保險者ノ氏名並ニ被保險者證ノ記號及番號
 - 二 死亡ノ年月日及原因
 - 三 死亡カ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ其ノ事實並ニ
第三者ノ氏名及住所（氏名又ハ住所不詳ナルトキハ其ノ旨）
 - 四 被保險者ト請求者トノ續柄
- 第六十三條 法第五十一條第二項又ハ法第五十七條第二項ノ埋
葬費支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ市町村長ノ埋
火葬認許證ノ寫、死亡診斷書ノ寫又ハ被保險者ノ死亡ニ關ス
ル事業主ノ證明書及埋葬ニ要シタル費用ノ額ニ關スル證書
類ヲ添附スヘシ
- 一 前條第一號乃至第三號ニ掲クル事項
 - 二 埋葬ヲ行ヒタル年月日
 - 三 埋葬ニ要シタル費用ノ額
- 第六十四條 分娩費支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ
市町村長、醫師又ハ産婆ニ於テ出産又ハ死産ノ事實ヲ證明シ
タル書類ヲ添附スヘシ

一 被保險者證ノ記號及番號
二 分娩ノ年月日
三 死産ナルトキハ其ノ旨
四 分娩費カ令第八十三條第一項ノ規定ニ依ルモノナルトキ
ハ收容セラレタル産院ノ名稱及所在地又ハ助産ノ手當ヲ爲
シタル醫師若ハ産婆ノ氏名及住所

- 第六十五條 出産手當金支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記
載スヘシ
- 一 被保險者證ノ記號及番號
- 二 分娩前ノ場合ニ於テハ分娩ノ豫定年月日、分娩後ノ場合
ニ於テハ分娩ノ年月日
- 三 勞務ニ服セザリシ期間
- 四 被保險者カ産院又ハ診療所ニ收容セラレタルモノナルト
キハ其ノ産院又ハ診療所ノ名稱、所在地、收容セラレタル
年月日及期間並ニ專ラ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者ア
ルトトキハ其ノ者ノ氏名、生年月及被保險者トノ續柄
- 五 出産手當金カ令第八十九條但書ノ規定ニ依ルモノナルト
キハ其ノ報酬ノ額及期間
- 六 出産手當金カ令第九十條ノ規定ニ依ルモノナルトキハ受
クルコトヲ得ヘカリシ報酬ノ額及期間、受クルコト能ハサ
リシ報酬ノ額及期間並ニ令第八十九條但書ノ規定ニ依リ受

ケタル出產手當金ノ額及報酬ヲ受クルコト能ハサリシ事由
前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添付スヘシ
一 前項第三號ノ期間ニ關スル事業主ノ證明書

二 分娩ノ豫定年月日ニ關スル醫師又ハ產婆ノ意見書

第六十六條 第五十九條第二項、第五十九條ノ第三項(同條
第五項ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)、第五十九條ノ第四
二項、第六十一條第二項、第六十二條乃至第六十四條及第六
十五條第二項ノ規定ニ依リ醫師、齒科醫師若ハ產婆ノ意見書
若ハ證明書又ハ事業主若ハ市町村長ノ證明書ヲ添付スヘキ場
合ニ於テ保險給付ノ請求書又ハ申請書ニ相當ノ記載ヲ受ケタ
ルトキハ意見書又ハ證明書ヲ添付ラ省略スルコトヲ得
第六十七條 保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ第五十九條ノ第四
二項、第六十一條第二項、第六十二條、第六十三條及第六十
五條第二項ノ規定ニ依リ證明書ヲ求メラレタルトキハ事業主
又ハ第十四條ノ規定ニ依リ代理人ハ正當ノ事由アルニ非サレ
ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス前條ノ規定ニ依リ證明ノ記載ヲ求メラ
レタルトキ亦同シ

第六十八條 保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ第五十九條第二項
第五十九條ノ第三項(同條第五項ノ規定ニ依リ準用スル場
合ヲ含ム)、第五十九條ノ第四第二項、第六十一條第二項若ハ第
六十五條第二項ノ規定ニ依リ意見書又ハ第六十四條ノ規定ニ

依リ證明書ヲ求メラレタルトキハ保險醫ハ正當ノ事由アルニ
非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス第六十六條ノ規定ニ依リ意見又
ハ證明ノ記載ヲ求メラレタルトキ亦同シ

第六十九條 地方長官又ハ組合ハ保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ
被保險者又ハ其ノ世帯員ニ對シ爲シタル診療又ハ藥劑ノ支給
ニ關シ帳簿書類ヲ閱覽シ、説明ヲ求メ又ハ報告ヲ徴スルコト
ヲ得

第七十條 組合ハ其ノ管掌スル保險ノ給付ニ關スル手續ニ付第
五十四條乃至第六十六條ノ規定ニ拘ラス別段ノ定ヲ爲スコト
ヲ得

第七十一條 本章ニ於テ被保險者トアルハ被保險者ノ資格喪失
後保險給付ヲ受クル者ヲ含ムモノトス
第五章 罰 則
第七十二條乃至第七十九條(削除)

第六十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科
料ニ處ス
一 第三條、第四條第二項、第十八條、第十九條、第二十五
條第一項及第二十六條乃至第二十九條ノ規定ニ依リ届出ヲ
怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者
二 第五條第二項ノ規定ニ依リ標準報酬ノ告知ヲ怠リタル者

〔連二四號〕

〔連二四號〕

三 正當ノ事由ナクシテ第六十七條ノ規定ニ依リ請求ニ應セ
ス又ハ虚偽ノ證明ヲ爲シタル者
四 第十二條ノ規定ニ依リ保險料ノ控除ニ關スル計算書ノ備
付若ハ記載ヲ怠リ、虚偽ノ記載ヲ爲シ又ハ故ナク被保險者
ニ對シ閱覽ヲ拒ミタル者
五 第十三條ノ規定ニ依リ書類ノ保存ヲ怠リタル者
第六十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又
ハ科料ニ處ス
一 第二十條、第二十五條第二項、第三十條第一項、第五十
六條及第六十條第一項ノ規定ニ依リ届出ヲ怠リ又ハ其ノ届
書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者
二 事業主以外ノ者ニシテ第二十九條第二項ノ規定ニ依リ被
保險者證ノ返納又ハ提出ヲ怠リタル者
三 第三十三條第四項乃至第六項ノ規定ニ依リ被保險者證ノ
返納又ハ同條第一項若ハ第六十條第一項ノ規定ニ依リ被保
險者證ノ提出ヲ怠リタル者
第八十二條 廳府縣ノ職員、組合ノ職員若ハ役員又ハ其ノ職ニ
在リタル者故ナク第六十九條ノ規定ニ依リ閱覽、説明又ハ報
告ニ關シ知得シタル醫師、齒科醫師若ハ藥劑師ノ業務上ノ秘
密又ハ個人ノ秘密ヲ漏洩シタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ百
圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則
第一條、第八條、第十三條、第十五條、第十六條、第二十一條
乃至第二十三條、第二十七條、第三十四條乃至第五十三條、第
七十條及第八十條ノ規定ハ昭和十四年十二月二十六日ヨリ、第
二條乃至第五條、第七條、第十四條、第十八條乃至第二十條、
第二十四條乃至第二十六條、第二十八條乃至第三十三條及第八
十一條ノ規定ハ昭和十五年四月一日ヨリ、第六條、第九條乃至
第十二條、第十七條、第五十四條乃至第六十九條、第七十一條
乃至第七十九條及第八十二條ノ規定ハ職員健康保險法中保險給
付、保健施設及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行
ス
第十八條第一項ノ規定ニ依リ届出ノ期間ハ昭和十五年四月一日
以前ニ於テ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ニ關シテハ昭和十五
年四月一日ヨリ五日以内トス
附 則
本令ハ昭和十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令ハ施行前ニ交付シタル被保險者證ハ本令施行後ト雖モ之ヲ
使用スルコトヲ妨ケス
附 則 (昭和十七年一月三十一日厚生省令第六號)
本令ハ昭和十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

備考

- 一 本局管ノ雇員ハ條約十八種ノ積約二十六種ノ大サトス
- 二 新ニ法ノ適用アリタル事業所ニ在リテハ「被保險者證ノ記載」欄ニ「新規」ト記載スベシ
- 三 被保險者カ男子ナルハ「男女別」欄ノ「男」トアル「女」ノ文字ヲ女子ナルトキハ「」ノ文字ヲ抹消スベシ
- 四 「報明月額算定基礎」欄ニハ令第五條第一項各款ノ規定ニ依リ算定シタル額月額ヲ記載スルモノトス
- 五 俸給、給料又ハ賃金ニ準スルモノカ食事ノ給與、住宅ノ利益其ノ他金銭以外ノ給與又ハ利益ナルトキハ其ノ種類ヲ「備考」欄ニ記載スベシ（此ノ報明月額ハ地方長官又ハ組合ノ定メタル標準價格ニ依リ算定シタルモノヲ記載スルモノトス）
- 六 「被保險者證ノ香煙」欄及「採擇報明」欄ハ臨時又ハ組合ニ於テ之ヲ記載スヘキモノトス故ニ届出者ニ於テ空欄ノ儘ト爲シ置クヘシ
- 七 被保險者カ第六十五條第一項各款ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ該當事項ヲ「備考」欄ニ記載スベシ
- 八 資格取得前被保險者アリシ者ニ付テハ最後ノ被保險者カ其ノ府縣名（出雲所ノ分掌ニ屬シタルモノナルトキハ其ノ出張所名）又ハ組合有記ニ當稱所ノ名稱及所在地ヲ「備考」欄ニ記載スヘシ但シ法第二十七條ノ規定ニ依リ被保險者アリシ者ナルトキハ同欄ニ其ノ旨記載スベシ
- 九 資格取得前被保險者又ハ船員被保險ノ被保險者アリシ者ニ付テハ前條ノ例ニ依リテ「備考」欄ニ記載スベシ
- 十 第十九條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ「備考」欄ニ被保險者資格變更ノ理由其ノ原因カ法第二十七條ノ規定ニ依リ被保險者カ法第十八條、第十八條又ハ法第二十二條ノ規定ニ依リ被保險者ト爲リタルモノナルトキハ「法第二十七條」ヨリ「法第十八條」ト「法第二十七條」ヨリ「法第二十二條」ト「備考」欄ニ記載スベシ
- 十一 本條式ニ定ムル事項ノ外組合ニ於テ必要アリト認ムル事項ハ別ニ稱テ之ヲ記載セシムルコトヲ得

【續三四號】

【備考】

様式第六號(第十八條)

被保險者		資格喪失原因		失日		資格喪失日		失日		資格喪失日	
被保險者證ノ記載	(名稱)	資格喪失原因	失日	資格喪失原因	失日	資格喪失原因	失日	資格喪失原因	失日	資格喪失原因	失日
被保險者證ノ記載	氏名	資格喪失原因	失日	資格喪失原因	失日	資格喪失原因	失日	資格喪失原因	失日	資格喪失原因	失日
	名										
	額										
	年										
	月										
	日										
	年										
	月										
	日										
	年										
	月										
	日										

住所又ハ所在地
事業主 氏名又ハ名稱

四四

第二編 國民健康保險組合法規 第一款 職員健康保險組合法令

七 法第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者ニ對シテ交付スベキ被保險者證ハ事業所ノ名稱及所在地ヲ抹消シ且表紙ノ内面ノ餘白ニ法第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者ナル旨並ニ其ノ住所及資格喪失決定年月日(引續キ被保險者ト爲リタル日ヨリ六月ヲ經過シタル日)ヲ朱書きテ之ヲ交付スベシ
八 組合ニ於テハ本様式ニ依ラザルコトヲ得但シ表紙ノ内面ノ所定事項及(自署)欄ヲ省略スルコトヲ得ズ

様式第八號(第四十四條及第四十六條)

昭和何年度何職員健康保險組合收入支出豫算書

收入	一 金	又ハ	一 金	又ハ	一 金	又ハ	合計
收入豫算高							
經常部豫算高							
臨時部豫算高							
支出	一 金	又ハ	一 金	又ハ	一 金	又ハ	合計
支出豫算高							
經常部豫算高							
臨時部豫算高							
差引	一 金		一 金		一 金		合計

昭和何年度何職員健康保險組合收入支出豫算

科 目	項 目	豫算額	豫算說明	
			本年度前年度増	減附記
一 職員健康保險料		一何々		
二 組合員退會料		一何々		
三 徵收金		一何々		
四 何々		二何々		
二 繰越金	一 前年度繰越金	一何々		
合計		一何々		

〔通六號〕

三 繰入金	一 繰入金	一何々					
四 組合費	一 組合費	一何々					
五 寄附金	一 寄附金	一何々					
六 財産收	一 利息	二何々					
七 何々	一 何々	一何々					
八 繰入金	一 何々	一何々					

收入合計	支出	一 何々	二 何々	三 何々
一何々	一何々	一何々	二何々	三何々

〔通六號〕

科 目	項 目	豫算額	本年度前年度増	減附記
一 事務所	一 俸給	一何々		
二 諸給		二何々		

第一編 國民健康保險組合法規 第一款 職員健康保險組合法令

第二編 國民健康保險法 第一款 職員健康保險法

一 職員の健康を確保し、その生活の安定を期すこと
 二 職員の健康を確保し、その生活の安定を期すこと
 三 職員の健康を確保し、その生活の安定を期すこと
 四 職員の健康を確保し、その生活の安定を期すこと
 五 職員の健康を確保し、その生活の安定を期すこと
 六 職員の健康を確保し、その生活の安定を期すこと
 七 職員の健康を確保し、その生活の安定を期すこと
 八 職員の健康を確保し、その生活の安定を期すこと

一 事業概況
 本項ニハ事業ノ状況ノ大體ヲ簡單ニ記載スベシ
 二 事務所
 本項ニハ事務所ノ所在地ヲ記載スベシ(主タル事務所ト從タル事務所ト有スル組合ニ在リテハ之ヲ區別シテ記載スルコト)
 三 組合員
 (一) 事業主数
 前年度末現在 本年度中均 本年度中減 本年度末現在
 (二) 被保険者数
 イ 異動及現在
 前年度末現在 本年度中均 本年度中減 本年度末現在

種別	被保険者数			
	前年度末現在	本年度中均	本年度中減	本年度末現在
強制的被保険者				
任意包括被保険者				
合計				

【道一九號】

種別	強制的被保険者		任意包括被保険者		合計	
	計	別	計	別	計	別
第一						
第二						
第三						
第四						
第五						
第六						
第七						
第八						
第九						
第十						
計						

一 年度末現在ニ依ルヘシ
 二 日給ヲ受タル被保険者ノ数ヲ當該欄ノ左側ニ括弧ヲ附シ再掲スヘシ
 三 法第二十七條ノ規定ニ依ル被保険者アルトキハ「種別」欄ニ任意包括被保険者ノ欄ヲ設ケ本様式ニ從ヒ其ノ数ヲ記載スヘシ
 四 組合員
 本項ニハ組合員ノ開會年月日及議決事項ヲ記載スヘシ

五 理事
 事業主ノ選任シタル理事者
 被保険者中ヨリ選任シタル理事者
 (一) 年度末現在ニ依ルヘシ
 (二) 「職名」欄ニハ其ノ者ノ事業所ニ於ケル職名ヲ記載スヘシ
 (三) 理事長、理事長代理者又ハ常務理事ニ付テハ「備考」欄ニ「理事長」、「理事長代理」又ハ「常務理事」ト記載スヘシ
 六 保険成績
 保険給付ノ件数、日数及費用額

種別	氏名	職名	住所	備考

【道二四號】

第二編 國民健康保險法 第一款 職員健康保險法

第二編 國民健康保險法 第一款 職員健康保險法令

種別	件数		日数		費用	
	男	女	男	女	男	女
療養費					円	円
療養ノ給付					円	円
傷病手当金					円	円
埋葬料(費)						
分娩費						
出産手当金						
補給金						
合計						

備考
一 同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付數回ニ分テ
テ給付ヲ爲シタル場合ト雖モ此ノ數回分ヲ合シテ一件トシテ之ヲ
記載スヘシ以下之ニ依リ一ノ分純ニ付數回ニ分テテ給付ヲ爲シ
タル場合亦同シ
二 組合カ診療所、産院其ノ他ノ設備ヲ有スル場合ニ於テ其ノ設備
ニ依リ療養ノ給付、産院收容又ハ助産ノ手當ヲ爲シタルトキハ
之ニ要シタル費用額ハ見積額ヲ記載スヘシ
三 産院收容又ハ助産ノ手當ヲ爲シタルトキハ之ニ要シタル費用ハ

分純費中ニ算入スルモノトス
四 日給ヲ受クル者ノ傷病手当金ノ件数、日数及費用額ヲ當該額
ノ左側ニ括弧ヲ附シ再掲スヘシ
(一) (削除)
(二) (削除)
(三) 療養費及傷病手当金ノ支給ヲ爲シタル疾病又ハ負傷ノ種別
治療シタルモノ、死亡シタルモノ、其ノ他ノ計

別	療養費		傷病手当金		埋葬料		分娩費		出産手当金		補給金	
	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数
男												
女												
合計												

(四) 備考
本表ノ療養費又ハ療養ノ給付ヲ爲シタルモノヲ合ムモノトス
保險料

前年度末現在額	本年度借入額	本年度償還額	本年度末現在額
円	円	円	円

七、療養機關

本項ニハ診療所、醫師、齒科醫師、藥劑師、看護婦其ノ他療
養ノ機關ニ關スル事項ヲ記載スヘシ

八、保險施設

本項ニハ法第七十條ノ規定ニ依リ施設シタル事項及其ノ成績
ノ概要ヲ記載スヘシ

九、積立金

種別	前年度末現在額	本年度借立額	本年度分付額	本年度末現在額
準備金	円	円	円	円
何積立金				
何積立金				

備考
事業報告書ニ記載スヘキ事實ノ屬スル年度ノ決算ノ結果準備金ニ
積立ツヘキ額定額ヲ備考トシテ記載スヘシ

第二編 國民健康保險法 第一款 職員健康保險法令

前年度末現在額	本年度借入額	本年度償還額	本年度末現在額
円	円	円	円

十、組合債

十一、其ノ他重要ナル事項
本項ニハ組合ニ於テ重要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ
右及報告書
昭和何年何月何日

様式第十號(第四十七條)

何職員健康保險組合財産目録

昭和何年何月何日現在

種別	数量		金額又ハ 格	備考
	何	何		
銀行預金				
郵便貯金				
現金				
何				
計				

理事長 何 某

種別	有價證券		地方債		合計
	何々	計	何々	計	
何々					
何々					
何々					
何々					
合計					

備考
一 預金又は貯蓄金に付テハ其ノ預入口應算シ「備考欄」ニ記載ス
二 有價證券ノ「金額又ハ價格」欄ニハ額面額ヲ記載シ尙其ノ種
類及時價ヲ「備考」欄ニ記載スヘシ
三 土地、建物又ハ器具及機械ノ「金額又ハ價格」欄ニハ時價ヲ記
載シ尙土地及建物ハ其ノ用途ヲ「備考」欄ニ記載スヘシ
四 積立金アル場合ニ於テハ「準備金」ノ欄ニ準テ別ニ一欄ヲ設ク

様式第十一號(第四十九條)

昭和何年何月分事業狀況報告

何府(縣)何市(郡)何町(村)大字何何番地

何職員健康保險組合

第一級	第二級	第三級	第四級	第五級	第六級	第七級	第八級	第九級	第十級	計
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---

備考
一 標準報酬等級別被保險者數
二 保險給付狀況

種別	件数	日数	備考
療養費			
療養ノ給付			
療養手當金			
埋葬料(費)			
分給費			
出產手當金			
補給金			

【道二四號】

備考

一 療養費、傷病手當金、埋葬料、埋葬費、分給費、出產手當金
及給付金ニ在リテハ事故發生ノ日ノ屬スル月ノ如何ニ拘ラス之
カ支持ヲ爲シタル月ノ分ノ報告ニ記載スヘシ
二 同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付數回ニ分テ
テ給付ヲ爲シタル場合ト雖モ此ノ數回分ヲ合シテ一件トシ之ヲ
記載スヘシ一ノ分給ニ付數回ニ分テテ給付ヲ爲シタル場合亦同
シ
三 「療養費」欄及「療養ノ給付」欄ニハ入院診療ニ係ル件数及日数
ヲ當該欄ノ左側ニ括弧ヲ附シ再掲スヘシ
四 産院收容又ハ助産ノ手當ヲ爲シタルトキハ之ニ要シタル費用
ハ分給費中ニ算入スルモノトス

種別	本年収入		本年支出		備考
	何々	計	何々	計	
何々					
何々					
何々					
合計					

支出

種別	本年収入	本年支出	備考
何々			
何々			
何々			
合計			

【道二四號】

種別	本月借入金	本月返還額	本月末現在額
一時借入金			
準備金繰替使			
前年度收支残			
金一時充當			
合計			

備考
一 四月分及五月分ノ收支狀況ニ付テハ其ノ年度ニ屬スル分ト前
年度ニ屬スル分トハ之ヲ別表ト爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ所屬
年度ヲ附記スヘシ

職員健康保險法施行令第七十六條 第一項ノ規定ニ依リ療養ニ要スル 費用ヨリ控除スル額

(昭和十七年三月二十六日
厚生省告示第百二十八號)

職員健康保險法施行令第七十六條第一項ノ規定ニ依リ療養ニ要スル費用ヨリ控除スル額ヲ左ノ通定メ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

一 保險者ノ指定シタル醫師ニ就キ療養ヲ受ケタル場合(健康保險診療報酬點數計算規程ノ區分ニ依ル)

内服藥	一劑一日分	五錢
外用藥	一回二分付	五錢
注射	一回二分付	五錢
三點未滿ノ處置又ハ手術以上ノ處置又ハ手術	一回二分付	十錢
三點以上ノ處置又ハ手術	一回二分付	五錢
八手術	一回二分付	十錢
三點以上ノ處置又ハ手術	一回二分付	十錢
診療所收容中	一日二分付	三十錢

前項ノ處置ニハ理學的療法、精神科特殊療法及寄生蟲驅除療法ヲ含ムモノトス

二 保險者ノ指定シタル齒科醫師ニ就キ療養ヲ受ケタル場合

(健康保險齒科診療報酬點數計算規程ノ區分ニ依ル)

内服藥	一劑一日分ニ付	五錢
外用藥	一回二分付	五錢
注射	一回二分付	五錢
三點未滿ノ處置又ハ手術以上ノ處置又ハ手術	一回二分付	十錢
三點以上ノ處置又ハ手術	一回二分付	五錢
八手術	一回二分付	十錢
三點以上ノ處置又ハ手術	一回二分付	十錢
診療所收容中	一日二分付	三十錢

三 保險者ノ指定シタル藥劑師ニ就キ藥劑ノ支給ヲ受ケタル場合

内服藥	一劑一日分ニ付	五錢
外用藥	一回二分付	五錢
注射	一回二分付	五錢
三點未滿ノ處置又ハ手術以上ノ處置又ハ手術	一回二分付	十錢
三點以上ノ處置又ハ手術	一回二分付	五錢
八手術	一回二分付	十錢
三點以上ノ處置又ハ手術	一回二分付	十錢
診療所收容中	一日二分付	三十錢

四 保險者ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師以外ノ者ニ就キ療養(看護及移送ヲ除ク)ヲ受ケ又ハ保險者ノ指定シタル藥劑師以外ノ藥劑師ニ就キ藥劑ノ支給ヲ受ケタル場合ハ療養ニ要スル費用ノ十分ノ二ヲ標準トシテ算定シタル額

職員健康保險法施行令第七十六條第二項ノ規定ニ依リ療養ニ要スル費用ノ算定方法

(昭和十五年五月三十一日
厚生省告示第百五十四號)

【沿革】 昭和十五年十二月厚省第三八七號、同十七年三月厚省第一二九號改正

職員健康保險法施行令第七十六條第三項ノ規定ニ依リ療養ニ要スル費用ノ算定方法左ノ通定ム

- 一 保險者ノ指定シタル醫師ニ就キ療養ヲ受ケタル場合ニ於ケル療養ニ要スル費用ハ政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者ノ診療ニ關スル政府ト日本醫師會トノ契約ニ依リ定メラレタル健康保險診療報酬點數計算規程及入院診療費算定表ニ基キ之ヲ算定ス此ノ場合ニ於テ入院料以外ノ療養ニ要スル費用ニ付テハ一點ノ單價ヲ二十錢トシテ之ヲ計算スルモノトス
- 二 保險者ノ指定シタル齒科醫師ニ就キ療養ヲ受ケタル場合ニ於ケル療養ニ要スル費用ハ政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者ノ齒科診療ニ關スル政府ト日本齒科醫師會トノ契約ニ依リ定メラレタル健康保險齒科診療報酬點數計算規程ニ基キ一點ノ單價ヲ十錢トシテ之ヲ算定ス

- 三 保險者ノ指定シタル藥劑師ニ就キ藥劑ノ支給ヲ受ケタル場合ニ於ケル療養ニ要スル費用ハ政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者ニ對スル藥劑ノ支給ニ關スル政府ト日本藥劑師會トノ契約ニ依リ定メラレタル調劑報酬ノ計算方法ニ基キ之ヲ算定ス
- 四 前各號以外ノ者ニ就キ療養ヲ受ケタル場合ニ於ケル療養ニ要スル費用ハ前各號ノ場合ニ於ケル療養ニ要スル費用(前各號ニ依リ難キ場合ニ在リテハ健康保險ニ於テ療養ノ給付ヲ爲ス場合ニ於ケル費用)ヲ標準トシテ之ヲ算定ス但シ現ニ要シタル療養ノ費用ノ額ヲ超ユルコトヲ得ス
- 五 職員健康保險ノ診療ニ關シ保險者ト協定ヲ爲シ又ハ契約ヲ締結セル官公立病院ニ就キ療養ヲ受ケタル場合ニ於ケル療養ニ要スル費用ハ前各號ノ規定ニ拘ラス保險者ト官公立病院トノ協定又ハ契約ニ基キ之ヲ算定ス

●政府ノ管掌スル職員健康保險

ノ保險料率

昭和十五年五月三十一日 法律第二十號 第五十二條

政府ノ管掌スル職員健康保險ノ保險料率左ノ通定ム

一 被保險者標準報酬月額十圓ニ付二十六錢ノ額

一 被保險者標準報酬月額十圓ニ付二十六錢ノ額
二 被保險者標準報酬月額十圓ニ付二十六錢ノ額
三 被保險者標準報酬月額十圓ニ付二十六錢ノ額
四 被保險者標準報酬月額十圓ニ付二十六錢ノ額
五 被保險者標準報酬月額十圓ニ付二十六錢ノ額

二 要スル費用ノ算定式

六 附則ニ依リ算定スル標準報酬

●職員標準報酬額表

職員標準報酬額表

第二章 健康保險法令

●健康保險法 (大正十一年四月二十二日)

【沿革】 大正十五年三月法律第三十四號、昭和四年三月法律第二〇號、昭和九年三月法律第一三號、昭和十四年四月法律第七號、昭和十六年三月法律第三十五號、昭和十四年四月法律第五九號、昭和十七年二月法律第三八號改正

朕帝國議會ノ協賛ヲ經テ健康保險法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

健康保險法

第一章 總則

第一條 健康保險ニ於テハ保險者カ被保險者ノ疾病、負傷、死亡又ハ分娩ニ關シ保險給付ヲ爲スモノトス
第二條 本法ニ於テ報酬ト稱スルハ事業ヲ使用セラルル者カ勞務ノ對價トシテ受クル賃金、給料又ハ俸給及之ニ準スヘキモ其ノ額ヲ減額スルモノトス
第三條 本法ニ於テ報酬ト稱スルハ事業ヲ使用セラルル者カ勞務ノ對價トシテ受クル賃金、給料又ハ俸給及之ニ準スヘキモ其ノ額ヲ減額スルモノトス

第二章 國民健康保險法

賃金、給料又ハ俸給ニ準スヘキモノノ範圍及評價ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 報酬ノ額ニ基キ保險料又ハ保險給付ノ額ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬ニ依リ之ヲ算定ス

第四條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ徵收シ又ハ其ノ還付ヲ受クル權利及保險給付ヲ受クル權利ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定スル期間ノ計算ニ付テハ民法ノ期間ノ計算ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 健康保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セス

第七條 保險者又ハ保險給付ヲ受タヘキ者ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ戶籍事務ヲ管掌スル者又ハ其ノ代理ニ對シ無償ニテ證明ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ規定ハ第一條第二項ノ保險給付ヲ爲ス場合ニ於テハ被扶養者又ハ被扶養者タリシ者ノ戶籍ニ關シ之ヲ準用ス

第八條 保險者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ヲ使用スル事

業主ヲシテ其ノ使用スル者ノ異動、報酬等ニ關シ報告ヲ爲サ
シメ又ハ文書ヲ提示セシメ其ノ他健康保險ノ施行ニ必要ナル
事務ヲ行ハシムルコトヲ得

第九條 行政官廳ハ必要アリト認ムルトキハ被保險者ノ異動及
報酬並ニ保險給付ノ決定ニ關シ當該官吏ヲシテ被保險者又ハ
被保險者タリシ者ノ勤務場所ニ就キ關係者ニ對シ質問ヲ爲シ
又ハ帳簿書類其ノ他ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條之二 行政官廳保險給付ニ關シ必要アリト認ムルトキハ
命令ノ定ムル所ニ依リ當該官吏ヲシテ診療録其ノ他ノ帳簿書
類ヲ検査セシムルコトヲ得

第十條 主務大臣ハ本法ニ規定スル其ノ職權ノ一部ヲ命令ヲ以
テ行政官廳ニ委任スルコトヲ得

第十一條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ滯納スル者
アルトキハ保險者ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ

前項ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ命令ノ定ムル
所ニ依リ督促手数料及延滞金ヲ徵收ス

第十一條之二 前條ノ規定ニ依ル督促ヲ受ケタル者其ノ指定ノ
期限迄ニ保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ納付セサル
トキハ保險者ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分シ又ハ滯納
者若ハ其ノ者ノ財産ノ在ル市町村ニ對シ之カ處分ヲ請求スル
コトヲ得但シ健康保險組合カ保險者ナル場合ニ於テ國稅滯納

處分ノ例ニ依リ處分スルコトヲ得ルハ市町村ニ對シ處分ヲ請
求スルモ市町村カ其ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其
ノ處分ニ着手セヌ又ハ九十日以内ニ之ヲ結了セサル場合ニ限
ル

前項但書ノ規定ニ依リ健康保險組合カ國稅滯納處分ノ例ニ依
リ處分ヲ爲ス場合ニ於テハ主務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要
ス

保險者カ第一項ノ規定ニ依リ市町村ニ對シ處分ヲ請求シタル
トキハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テハ保險
者ハ徵收金額ノ百分ノ四ヲ當該市町村ニ交付スヘシ

第一項及前項ノ規定ニ於テ市町村トアルハ町村制ヲ施行セサル
地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノトス

第十一條之三 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特
權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次キ他
ノ公課ニ先ツモノトス

第十一條之四 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ニ關スル
書類ノ送達ニ付テハ國稅徵收法第四條ノ七及第四條ノ八ノ規
定ヲ準用ス

第十二條 國、北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準スヘキモノ
ノ事業ニ使用セラルル者ニ關シテハ本法ノ適用ニ付命令ヲ以
テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第二章 被保險者

第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル事業所ニ使用セラルル者ハ
健康保險ノ被保險者トス

- 一 工場法第一條ノ規定ニ依リ同法ノ適用ヲ受ケタル工場、
- 二 職業法ノ適用ヲ受ケタル事業場又ハ工場、
- 三 法人又ハ命令ヲ以テ定ムル團體ノ事務所ニシテ常時五人
以上ノ従業員ヲ使用スルモノ
- 四 左ニ掲クル事業ノ事業所ニシテ常時五人以上ノ従業員ヲ
使用スルモノ

(イ) 物ノ製造、加工、選別、包裝、修理又ハ解體ノ事業

(ロ) 礦物ノ採掘又ハ採取ノ事業

(ハ) 電氣又ハ動力ノ發生、傳導又ハ供給ノ事業

(ニ) 貨物又ハ旅客ノ運送ノ事業

(ホ) 貨物積卸ノ事業

(ヘ) 物ノ販賣ノ事業

(ニ) 金融又ハ保險ノ事業

(チ) 物ノ保管又ハ貸付ノ事業

(リ) 媒介周旋ノ事業

(ロ) 集金、案内又ハ廣告ノ事業

(ル) 其ノ他命令ヲ以テ指定スル事業

第十三條之二 前條ノ規定ニ拘ラス左ノ各號ノ一ニ該當スル者

ハ健康保險ノ被保險者トス

一 船員保險ノ被保險者(命令ヲ以テ指定スル者ヲ除ク)

二 一年ノ報酬カ命令ヲ以テ定ムル額ヲ超ユル職員

三 臨時ニ使用セラルル者ニシテ命令ヲ以テ指定スルモノ

四 前各號ニ掲クル者ノ外命令ヲ以テ指定スル者

前條ノ規定ニ依リ健康保險ノ被保險者タルヘキ者ニシテ命令
ヲ以テ定ムルモノ國民健康保險ノ被保險者タル期間ハ之ヲ健
康保險ノ被保險者トセス

第十四條 第十三條ニ規定スル事業所以外ノ事業所ノ事業主ハ
主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ事業所ニ使用セラルル者ヲ包括シ
テ健康保險ノ被保險者ト爲スコトヲ得

前項ノ認可ヲ申請スルニハ被保險者ト爲ルヘキ者ノ二分ノ一
以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第十五條 前條ノ認可アリタルトキハ其ノ事業所ニ使用セラル
ル者ハ健康保險ノ被保險者トス

第十三條ノ二ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十五條ノ二 健康保險ノ被保險者ヲ使用スル事業所ノ事業主
ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ事業所ニ使用セラルル第十三條
ノ二第一項第二號ニ該當スル者ヲ包括シテ健康保險ノ被保險
者ト爲スコトヲ得

第十三條ノ二 (第一項第一號ヲ除ク)、第十四條第二項及前
條第一項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 第十三條ノ事業所カ同條ノ規定ニ該當セサルニ至リ
タルトキハ其ノ事業所ニ付第十四條ノ認可アリタルモノト看

第十七條 第十三條、第十五條第二項若ハ第十五條ノ二第二項ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ事務ニ使用セララルニ至リタル日又ハ第十三條ノ二、第十五條第二項若ハ第十五條ノ二第二項ノ規定ニ該當セサルニ至リタル日ヨリ其ノ資格ヲ取得ス

第十八條 第十三條、第十五條及第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ハ死亡シタル日、其ノ業務ニ使用セラレサルニ至リタル日、又ハ第十三條ノ二、第十五條第二項若ハ第十五條ノ二第二項ノ規定ニ該當スルニ至リタル日ノ翌日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス但シ其ノ事實アリタル日ニ更ニ前條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス

第十九條 第十五條又ハ第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ノ使用スル事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ被保險者ノ全部ヲシテ其ノ資格ヲ喪失セシムルコトヲ得

前項ノ認可ヲ申請スルニハ被保險者ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第一項ノ認可アリタルトキハ被保險者ハ認可アリタル日ノ翌日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス

第二十條 第十八條ノ規定ニ依リ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニシテ喪失ノ日前二月以上被保險者タリシモノハ勅令ノ定ムル所ニ依リ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得

第二十一條 前條ノ規定ニ依ル被保險者ハ同條ノ規定ニ依リ被

保險者ト爲リタル日ヨリ六月ヲ経過シタルトキ其ノ他勅令ヲ以テ定ムル事由ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ資格ヲ喪失ス

第十八條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依ル被保險者カ死亡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三章 保險者

第二十二條 健康保險ノ保險者ハ政府及健康保險組合トス

第二十三條 保險者ハ被保險者及被扶養者ノ疾病若ハ負傷ノ療養又ハ被保險者及被扶養者ノ健康ノ保持増進ノ爲必要ナル施設ヲ爲シ又ハ之ニ必要ナル費用ノ支出ヲ爲スコトヲ得

第二十三條ノ二 保險者ハ事業ニ支障ナキ場合ニ限り被保險者及被扶養者ニ非サル者ヲシテ前條ノ施設ヲ利用セシムルコトヲ得

保險者ハ其ノ施設ヲ利用スル者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ利用料ヲ請求スルコトヲ得

第二十四條 政府ハ健康保險組合ノ組合員ニ非サル被保險者ノ保險ヲ管掌ス

第二十五條 健康保險組合ハ其ノ組合員タル被保險者ノ保險ヲ管掌ス

第二十六條 健康保險組合ハ法人トス

第二十七條 健康保險組合ハ事業主及其ノ事業所ニ使用セラルル被保險者ヲ以テ之ヲ組織ス

四二二

第二十八條 一又ハ二以上ノ事業所ニ付被保險者常時三百人以上ヲ使用スル事業主ハ健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得

被保險者ヲ使用スル二以上ノ事業主ハ共同シテ健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ被保險者ノ員數ハ合算シテ常時三百人以上タルコトヲ要ス

第二十九條 健康保險組合ヲ設立セムトスルトキハ組合員タル資格ヲ有スル被保險者ノ二分ノ一以上ノ同意ヲ得規約ヲ作り主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

二以上ノ事業所ニ付健康保險組合ヲ設立セムトスル場合ニ於テハ前項ノ同意ハ各事業所ニ付之ヲ得ルコトヲ要ス

第三十條 前二條ノ規定ニ於テ被保險者トアルハ第十四條第一項又ハ第十五條ノ二第一項ノ規定ニ依リ認可ノ申請ト同時ニ健康保險組合ノ設立認可ノ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルヘキ者トス

第三十一條 主務大臣ハ一又ハ二以上ノ事業所ニ付第十三條ノ規定ニ依ル被保險者常時五百人以上ヲ使用スル事業主ニ對シ健康保險組合ノ設立ヲ命スルコトヲ得

第三十二條 前條ノ規定ニ依リ健康保險組合ノ設立ヲ命セラレタル事業主ハ規約ヲ作り設立ニ付主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十三條 (罰則)

第三十四條 健康保險組合ハ設立ノ認可ヲ受ケタル時ニ成立ス

第三十五條 健康保險組合成立シタルトキハ事業主及其ノ事業

所ニ使用セラルル被保險者ハ總テ之ヲ組合員トス

第三十六條 健康保險組合ノ規約ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サルハ其ノ效力ヲ生セス

第三十七條 主務大臣ハ健康保險組合ニ對シ事實ニ關スル報告ヲ爲サシメ、事業及財産ノ狀況ヲ検査シ、規約ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三十七條ノ二 主務大臣ハ健康保險組合ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ第二十三條ヲ施設ヲ爲スコトヲ命シ又ハ之ニ必要ナル費用ノ支出ヲ命スルコトヲ得

第三十八條 健康保險組合ノ役員ニ缺員若ハ故障アルトキ又ハ組合ノ役員保險給付其ノ他其ノ執行スヘキ職務ヲ執行セサルトキハ主務大臣ハ官吏又ハ其ノ他者ヲ指定シテ其ノ職務ヲ執行セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ職務ノ執行ニ要スル費用ハ健康保險組合ノ負擔トス

第三十九條 主務大臣ハ健康保險組合ノ決議若ハ役員ノ行爲カ法令、主務大臣ノ處分若ハ規約ニ違反シ、組合員ノ利益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキ又ハ組合ノ事業若ハ財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキハ決議ヲ取消シ役員ヲ解職シ又ハ組合ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第四十條 解散ニ由リテ消滅シタル健康保險組合ノ權利義務ハ

政府之承認ス

第四十一條 本法ニ規定スルモノノ外健康保險組合ノ管理、財産ノ保管及利用方法、分合、解散其ノ他健康保險組合ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十二條 同時ニ二以上ノ事業所ニ使用セラルル被保險者ノ保險者ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第四十三條 健康保險組合ハ共同シテ其ノ目的ヲ達スル爲健康保險組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

健康保險組合聯合會ハ法人トス
健康保險組合聯合會ヲ設立セントスルトキハ規約ヲ作り主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

主務大臣ハ健康保險組合ニ對シ健康保險組合聯合會ニ加入スルコトヲ命スルコトヲ得

第二十三條、第二十三條ノ二、第三十四條、第三十六條乃至第三十九條及第四十一條ノ規定ハ健康保險組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第四章 保險給付

第四十三條 被保險者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ左ニ掲クル療養ノ給付ヲ爲ス

- 一 診療
- 二 藥劑又ハ治療材料ノ支給
- 三 處置、手術其ノ他ノ治療

ル所ニ依ル

第四十四條 療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナル場合又ハ被保險者ノ申請アリタル場合ニ於テハ保險者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

第四十四條ノ二 療養ノ給付ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ關シ其ノ給付ヲ始メタル日ヨリ起算シ六月ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲サス

主務大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ保險者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ期間ヲ超エ繼續シテ療養ノ給付ヲ爲スモノトス

第四十五條 被保險者療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルトキハ其ノ期間傷病手當金トシテ一日ニ付職員ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノニ在リテハ報酬日額ノ百分ノ五十二相當スル金額ヲ、其ノ他ノ者ニ在リテハ報酬日額ノ百分ノ六十二相當スル金額ヲ支給ス但シ業務上ノ事由ニ因リ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合以外ノ場合ニ於テハ勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル日ヨリ起算シ第四日ヨリ之ヲ支給ス

第四十六條 病院又ハ診療所ニ收容シタル被保險者ニ對シテ支給スヘキ傷病手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

第四十七條 傷病手當金ノ支給期間ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ關シテハ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能

四 病院又ハ診療所ヘノ收容

五 看護

六 移送
前項第四號乃至第六號ノ給付ハ保險者カ必要アリト認ムル場合ニ於テ爲スモノニ限ル但シ勅令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條ノ二 前條第一項第一號乃至第四號ノ給付ヲ受ケントスル者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ保險醫及保險藥劑師並ニ保險者ノ指定スル者ノ中自己ノ選定シタル者ニ就キ之ヲ受クルモノトス此ノ場合ニ於テハ勅令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外

主務大臣ノ定ムル所ニ依リ一部負擔金ヲ支拂フヘシ

第四十三條ノ三 保險醫又ハ保險藥劑師ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ就キ行政官廳之ヲ指定ス

醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ハ正當ノ理由ナクシテ保險醫又ハ保險藥劑師タルコトヲ拒ムコトヲ得ス

醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ヲ使用スル者ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ醫師、齒科醫師又ハ藥劑師カ保險醫又ハ保險藥劑師タルコトヲ妨クルコトヲ得ス

第四十三條ノ四 保險醫及保險藥劑師カ療養ノ給付ヲ擔當スルニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十三條ノ五 保險醫若ハ保險藥劑師又ハ之ヲ使用スル者カ療養ノ給付ニ關シ保險者ニ請求スヘキ費用ノ額ハ勅令ノ定ム

ハサルニ至リタル日ヨリ起算シ六月ヲ以テ限度トス

第四十四條ノ二 第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
傷病手當金ハ其ノ支給期間ヲ經過セザルトキト雖モ療養ノ給付ヲ爲シ得ル期間ヲ經過スルニ至リタルトキハ之ヲ支給セス

第四十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ保險者ハ第四十四條ノ二ニ規定スル期間ヲ超エテ療養ヲ必要トスル者ニ對シ繼續シテ療養ノ給付ヲ爲スコトヲ得

一 他ノ法令ノ規定ニ依リ事業主ヨリ扶助ヲ受クヘキ者ニ付其ノ事業主ヨリ申請アリタルトキ

二 前號以外ノ場合ニ於テ療養ノ給付ニ要スル費用ノ償還ニ付擔保ヲ提供シ其ノ他確實ナル方法ヲ定メ本人又ハ第三者ヨリ申請アリタルトキ

前項第一號ノ場合ニ於テハ療養ノ給付ニ要シタル費用ニ相當スル金額ハ事業主ヨリ之ヲ徴收ス

第四十九條 被保險者死亡シタルトキハ被保險者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニシテ埋葬ヲ行フモノニ對シ埋葬料トシテ被保險者ノ報酬月額ニ相當スル金額ヲ支給ス但シ其ノ金額カ三十圓ニ滿タサルトキハ之ヲ三十圓トス

被保險者死亡シタル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依リ埋葬料ノ支給ヲ受クヘキ者ナキトキハ埋葬ヲ行ヒタル者ニ對シ前項ノ金額ノ範圍内ニ於テ其ノ埋葬ニ要シタル費用ニ相當スル金額ヲ

支給ス

第五十條 被保險者分統シタルトキハ分統費トシテ勅令ヲ以テ定ムル額ヲ、出產手當金トシテ分統ノ前後勅令ヲ以テ定ムル期間一日ニ付報酬日額ノ百分ノ六十二相當スル金額ヲ支給ス

第五十二條 分統ニ歸スル保險給付ニ付テハ勅令ヲ以テ分統前一定ノ期間被保險者タリシ者ニ非サレハ之ヲ爲ササルコトヲ定ムルコトヲ得

第五十三條 (前略)

第五十四條 出產手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ期間傷病手當金ハ之ヲ支給セス

第五十五條 被保險者ノ資格ヲ喪失シタル際疾病、負傷又ハ分統ニ關シ保險給付ヲ受クル者ハ被保險者トシテ保險給付ヲ受クルコトヲ得ヘカリシ期間繼續シテ同一保險者ヨリ其ノ給付ヲ受クルコトヲ得

第五十六條 前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受タル者死亡シタルトキ、前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受タル者其ノ給付ヲ受クルコトヲ得ヘカリシ期間繼續シテ同一保險者ヨリ其ノ給付ヲ受クルコトヲ得

徴收ス

第五十九條ノ二 第一條第二項ノ保險給付ニ關シ其ノ種類、範圍其ノ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十條 被保險者又ハ被保險者タリシ者自己ノ故意ノ犯罪行為ニ因リ又ハ故意ニ事故ヲ生セシメタルトキハ保險給付ヲ爲ササルコトヲ得

第六十一條 被保險者間等、泥酔若ハ若シキ不行跡ニ因リ又ハ故意ニ危害防禦ニ關スル業務上ノ監督者ノ指揮ニ從ハサルニ因リ事故ヲ生セシメタルトキハ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲ササルコトヲ得

第六十二條 被保險者又ハ被保險者タリシ者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ疾病、負傷又ハ分統ニ關シ其ノ期間ニ係ル保險給付ハ之ヲ爲サス

一 陸海軍ニ徵集又ハ召集セラレタルトキ
二 本法施行區域外ニ在ルトキ
三 矯正院其ノ他之ニ準スヘキモノニ入院セシメラレタルトキ

四 監獄、留置場又ハ勞務場ニ拘禁又ハ留置セラレタルトキ
他又法令ノ規定ニ依リ國庫ハ公共團體ノ負擔ニ於テ賠償費ノ支給又ハ療養アリタルトキハ其ノ療養ニ於テ療養費給付ヲ爲ス

内ニ死亡シタルトキハ被保險者タリシ者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニシテ埋葬ヲ行フモノハ最後ノ保險者ヨリ埋葬料ノ支給ヲ受クルコトヲ得

第五十七條 被保險者タリシ者被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日以後勅令ヲ以テ定ムル期間内ニ分統シタルトキハ分統ニ關シ被保險者トシテ受クルコトヲ得ヘカリシ保險給付ヲ最後ノ保險者ヨリ受クルコトヲ得

第五十八條 疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分統シタル場合ニ於テ繼續シテ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クルコトヲ得ヘキ者ニ對シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間傷病手當金又ハ出產手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セス

第五十九條 前條ニ掲ケタル者疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分統シタル場合ニ於テ其ノ受クルコトヲ得ヘカリシ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クルコトヲ得ヘカリシトキハ保險者ハ之ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ傷病手當金又ハ出產手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給ス

第六十條 前項ノ規定ニ依リ保險者ノ支給シタル金額ハ事業主ヨリ之ヲ定テ適用ス

第六十一條 被保險者タリシ者第一項各號ノ一ニ該當スル場合ト雖モ第一條第二項ノ保險給付ヲ爲スコトヲ妨ケス

第六十二條 保險者ハ正當ノ理由ナクシテ療養ニ關スル指揮ニ從ハサル者ニ對シ之ニ爲スヘキ保險給付ノ一部ヲ爲ササルコトヲ得

第六十三條 保險者ハ詐欺其ノ他不正ノ行為ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケムトシタル者ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ期間ヲ定メ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲ササルコトヲ得

第六十四條 保險者ハ必要アリト認ムルトキハ保險給付ヲ受クル者ノ診斷ヲ行フコトヲ得

第六十五條 保險者ハ正當ノ理由ナクシテ前項ノ診斷ヲ拒ミタル者ニ對シ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲ササルコトヲ得

第六十六條 保險給付ノ支拂期日ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十七條 保險者ハ事故カ第三者ノ行為ニ因リテ生シタル場合ニ於テ保險給付ヲ爲シタルトキハ其ノ給付ノ價額ノ限度ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對シ有スル損害賠償請求ノ權利ヲ取得ス

第六十八條 保險給付ヲ受クル權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ差押フルコトヲ得ス

第六十九條 保險給付トシテ支給ヲ受タル金額ヲ標準トシテ

租稅其ノ他ノ公課ヲ課セシメ第六十六條第五十一條第一項及第六十九條ノ二 第六十條、第六十二條第一項及第二項、第六十五條並ニ第六十七條ノ規定ハ被扶養者ニ之ヲ準用ス
第六十九條ノ三 保險者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ本章ニ規定スル保險給付ニ併セテ保險給付トシテ其ノ他ノ給付ヲ爲スコトヲ得

第五章 費用ノ負擔

第七十條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ健康保險事業ニ要スル費用ノ一部ヲ負擔ス

第七十一條 保險者ハ健康保險事業ニ要スル費用ニ充ツル爲メ保險料ヲ徵收ス

第七十二條 被保險者及被保險者ヲ使用スル事業主ハ各保險料額ノ二分ノ一ヲ負擔ス但シ第十五條ノ二又ハ第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ハ其ノ全額ヲ負擔ス

第七十三條 業務ノ性質上事故多キ事業ニ使用セラルル被保險者又ハ少額ノ報酬ヲ受クル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ勅令ヲ以テ事業主ノ負擔スヘキ割合ヲ増加スルコトヲ得

第七十四條 被保險者ノ負擔スヘキ保險料額ハ一月ニ付報酬月額ノ百分ノ三ヲ超ユルコトヲ得但シ被保險者タル資格ヲ喪失シタル月ニ於テ被保險者タル資格ヲ取得シタル者及第十五

條ノ二又ハ第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第七十五條 健康保險組合ハ第七十二條若ハ前條ノ規定又ハ第七十三條ニ基キテ發スル勅令ノ規定ニ拘ラス其ノ規約ヲ以テ事業主ノ負擔スヘキ保險料額ノ負擔ノ割合ヲ増加スルコトヲ得
第七十六條 被保險者第六十二條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ期間保險料ヲ徵收セス
第七十七條 事業主ハ其ノ使用スル被保險者ノ負擔スヘキ保險料ヲ納付スル義務ヲ負フ但シ第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ノ負擔スル保險料ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第七十八條 事業主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ納付スヘキ保險料ヲ被保險者ニ支拂フヘキ報酬ヨリ控除スルコトヲ得
第七十九條 保險料ノ納付期日ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第八十條 審査ノ請求、訴訟及訴訟
審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アル者ハ地方社會保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アル者ハ中央社會保險訴訟ヲ提起スルコトヲ得
前項ノ審査ノ請求ハ時効ノ中断ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第八十一條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依リ徵收金ヲ賦課又ハ徵收ノ處分ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴訟シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十二條 前條ノ規定ニ依リ訴訟ヲ提起アリタルトキハ主務大臣ハ中央社會保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲スヘシ

第八十三條 社會保險審査會ノ組織及審査ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十四條 第十一條ノ二ノ規定ニ依リ處分ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴訟シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十五條 社會保險審査會ハ審査ノ必要アリト認ムルトキハ證人又ハ鑑定人ノ訊問其ノ他ノ證據調ヲ爲スコトヲ得

證據調ハ所要ノ事務ヲ取扱フヘキ地ノ區裁判所ニ之ヲ囑託スルコトヲ得

證據調ニ關シテハ民事訴訟法ノ證據調ニ關ル規定及民事訴訟費用法第九條及第十一條乃至第十三條ノ規定ヲ準用ス但シ健康保險審査會ノ爲メ證據調ニ關シテハ通料ニ處シ又ハ勾引ヲ命スルコトヲ得

第八十六條 審査ノ請求、訴訟ヲ提起又ハ訴訟若ハ行政訴訟ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書ノ交付ヲ受テ九日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テ審査ノ請求ニ付テハ訴訟法第八條第三項ノ規定又ハ訴訟ヲ提起シ付テハ民事訴訟法第五百五十七條第二項及第五百十九條ノ規定ヲ準用ス

第七十條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ健康保險事業ニ要スル費用ノ一部ヲ負擔ス

第七十一條 保險者ハ健康保險事業ニ要スル費用ニ充ツル爲メ保險料ヲ徵收ス

第七十二條 被保險者及被保險者ヲ使用スル事業主ハ各保險料額ノ二分ノ一ヲ負擔ス但シ第十五條ノ二又ハ第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ハ其ノ全額ヲ負擔ス

第七十三條 業務ノ性質上事故多キ事業ニ使用セラルル被保險者又ハ少額ノ報酬ヲ受クル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ勅令ヲ以テ事業主ノ負擔スヘキ割合ヲ増加スルコトヲ得

第七十四條 被保險者ノ負擔スヘキ保險料額ハ一月ニ付報酬月額ノ百分ノ三ヲ超ユルコトヲ得但シ被保險者タル資格ヲ喪失シタル月ニ於テ被保險者タル資格ヲ取得シタル者及第十五

條ノ二又ハ第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第七十五條 健康保險組合ハ第七十二條若ハ前條ノ規定又ハ第七十三條ニ基キテ發スル勅令ノ規定ニ拘ラス其ノ規約ヲ以テ事業主ノ負擔スヘキ保險料額ノ負擔ノ割合ヲ増加スルコトヲ得

第七十六條 被保險者第六十二條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ期間保險料ヲ徵收セス
第七十七條 事業主ハ其ノ使用スル被保險者ノ負擔スヘキ保險料ヲ納付スル義務ヲ負フ但シ第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ノ負擔スル保險料ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第七十八條 事業主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ納付スヘキ保險料ヲ被保險者ニ支拂フヘキ報酬ヨリ控除スルコトヲ得

第七十九條 保險料ノ納付期日ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第八十條 審査ノ請求、訴訟及訴訟
審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アル者ハ地方社會保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アル者ハ中央社會保險訴訟ヲ提起スルコトヲ得
前項ノ審査ノ請求ハ時効ノ中断ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第八十一條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依リ徵收金ヲ賦課又ハ徵收ノ處分ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴訟シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十二條 前條ノ規定ニ依リ訴訟ヲ提起アリタルトキハ主務大臣ハ中央社會保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲スヘシ

第八十三條 社會保險審査會ノ組織及審査ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十四條 第十一條ノ二ノ規定ニ依リ處分ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴訟シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十五條 社會保險審査會ハ審査ノ必要アリト認ムルトキハ證人又ハ鑑定人ノ訊問其ノ他ノ證據調ヲ爲スコトヲ得

證據調ハ所要ノ事務ヲ取扱フヘキ地ノ區裁判所ニ之ヲ囑託スルコトヲ得

證據調ニ關シテハ民事訴訟法ノ證據調ニ關ル規定及民事訴訟費用法第九條及第十一條乃至第十三條ノ規定ヲ準用ス但シ健康保險審査會ノ爲メ證據調ニ關シテハ通料ニ處シ又ハ勾引ヲ命スルコトヲ得

第七十條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ健康保險事業ニ要スル費用ノ一部ヲ負擔ス
第七十一條 保險者ハ健康保險事業ニ要スル費用ニ充ツル爲メ保險料ヲ徵收ス
第七十二條 被保險者及被保險者ヲ使用スル事業主ハ各保險料額ノ二分ノ一ヲ負擔ス但シ第十五條ノ二又ハ第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ハ其ノ全額ヲ負擔ス
第七十三條 業務ノ性質上事故多キ事業ニ使用セラルル被保險者又ハ少額ノ報酬ヲ受クル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ勅令ヲ以テ事業主ノ負擔スヘキ割合ヲ増加スルコトヲ得
第七十四條 被保險者ノ負擔スヘキ保險料額ハ一月ニ付報酬月額ノ百分ノ三ヲ超ユルコトヲ得但シ被保險者タル資格ヲ喪失シタル月ニ於テ被保險者タル資格ヲ取得シタル者及第十五條ノ二又ハ第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第七十五條 健康保險組合ハ第七十二條若ハ前條ノ規定又ハ第七十三條ニ基キテ發スル勅令ノ規定ニ拘ラス其ノ規約ヲ以テ事業主ノ負擔スヘキ保險料額ノ負擔ノ割合ヲ増加スルコトヲ得
第七十六條 被保險者第六十二條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ期間保險料ヲ徵收セス
第七十七條 事業主ハ其ノ使用スル被保險者ノ負擔スヘキ保險料ヲ納付スル義務ヲ負フ但シ第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ノ負擔スル保險料ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第七十八條 事業主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ納付スヘキ保險料ヲ被保險者ニ支拂フヘキ報酬ヨリ控除スルコトヲ得
第七十九條 保險料ノ納付期日ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第八十條 審査ノ請求、訴訟及訴訟
審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アル者ハ地方社會保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アル者ハ中央社會保險訴訟ヲ提起スルコトヲ得
前項ノ審査ノ請求ハ時効ノ中断ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第八十一條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依リ徵收金ヲ賦課又ハ徵收ノ處分ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴訟シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
第八十二條 前條ノ規定ニ依リ訴訟ヲ提起アリタルトキハ主務大臣ハ中央社會保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲スヘシ
第八十三條 社會保險審査會ノ組織及審査ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第八十四條 第十一條ノ二ノ規定ニ依リ處分ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴訟シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
第八十五條 社會保險審査會ハ審査ノ必要アリト認ムルトキハ證人又ハ鑑定人ノ訊問其ノ他ノ證據調ヲ爲スコトヲ得
證據調ハ所要ノ事務ヲ取扱フヘキ地ノ區裁判所ニ之ヲ囑託スルコトヲ得
證據調ニ關シテハ民事訴訟法ノ證據調ニ關ル規定及民事訴訟費用法第九條及第十一條乃至第十三條ノ規定ヲ準用ス但シ健康保險審査會ノ爲メ證據調ニ關シテハ通料ニ處シ又ハ勾引ヲ命スルコトヲ得

第九十一條 (初略) 第九十二條 事業主營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セザル未成年者若ハ禁治産者ナル場合又ハ法人ナル場合ニ於テハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令中事業主ニ適用スヘキ罰則ハ其ノ法定代理人又ハ法令ノ規定ニ依リ法人ヲ代表スル者ニ之ヲ適用ス

第九十三條 事業主ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ従業者ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

附則 (大正十五年五月法律第三十四號) 本法ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和四年三月法律第二十號) 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (昭和四年五月勅令第四百二十二號) 昭和四年六月六日ヨリ施行ス但シ第八十六條ノ改正規定中民事訴訟法ノ規定ノ準用ニ關スル處分ハ大正十五年法律第六十一號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス (昭和四年五月勅令第四百五號) 昭和四年十月一日ヨリ施行ス

附則 (昭和九年三月法律第十三號) 本法ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本法實施ノ爲ニ必要ナル事項ニ關シテハ昭和十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス 附則 (昭和十四年四月法律第七十四號) 本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム 分鏡ニ關スル保險給付ニシテ第五十三條ノ改正規定施行ノ日前迄爲シテモ之ヲ適用規定施行ノ日以前後並ニ適用規定

用ヲ分鏡ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル 附則 (昭和十七年二月法律第三十八號) 本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム 職員健康保險法ハ之ヲ廢止ス 前項ノ規定施行前ノ職員健康保險ノ保險給付及保險料其ノ他ノ徵收金ニ關シテハ仍舊法ニ依ル 第三項ノ規定施行ノ際現ニ存スル職員健康保險組合ハ同規定施行ノ日ヨリ健康保險組合ト爲リ職員健康保險組合ノ權利義務ヲ承繼スルモノトス 第二項ノ規定施行ノ際現ニ職員健康保險ノ被保險者タル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ健康保險ノ被保險者ト爲リタルモノトス 第二項ノ規定施行ノ際現ニ職員健康保險ノ被保險者タル者ニシテ健康保險ノ被保險者ト爲リタルモノノ受クル健康保險ノ保險給付ニ關シテハ其ノ者又職員健康保險ノ被保險者タルシ期間ハ健康保險ノ被保險者タルシ期間ト看做シ其ノ者カ職員健康保險ノ被保險者トシテ保險給付ヲ受ケタル期間ハ健康保險ノ被保險者トシテ之ニ相當スル保險給付ヲ受ケタル期間ト看做ス 第二項ノ規定施行前職員健康保險ノ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ハ健康保險ノ保險給付及徵收金ニ關シテハ健康保險ノ被保險者トシテ受ケタル保險給付ハ健康保險ノ被保險者トシテ受ケタル之ニ相當スル保險給付ト看做ス 第二項ノ規定施行前職員健康保險法ニ違反シタル者ノ處罰ニ付テハ仍舊法ニ依ル 附則 (昭和十六年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス)

●昭和十四年法律第七十四號健康保險法中改正法律ノ一部施行期日ノ件

日ノ件

(昭和十五年五月三十日 勅令第三百六十一號)

朕昭和十四年法律第七十四號健康保險法中改正法律ノ一部施行期日ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

昭和十四年法律第七十四號ハ第一條第二項、第七條第二項、第四十七條第二項第三項、第六十二條第四項及第六十九條ノ二ノ規定並ニ第七十六條ノ改正規定ヲ除クノ外昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和十四年法律第七十四號健康保險法中改正法律ノ一部施行期日ノ件

日ノ件

(昭和十五年六月二十五日 勅令第四百三十一號)

朕昭和十四年法律第七十四號健康保險法中改正法律ノ一部施行期日ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

昭和十四年法律第七十四號中第一條第二項、第七條第二項、第四十七條第二項第三項、第六十二條第四項及第六十九條ノ二ノ規定並ニ第七十六條ノ改正規定ハ昭和十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和十六年法律第五十九號健康保險法中改正法律施行期日ノ件

日ノ件

(昭和十六年十月十日 勅令第九百五號)

朕昭和十六年法律第五十九號健康保險法中改正法律施行期日ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

昭和十六年法律第五十九號ハ昭和十六年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和十七年法律第三十八號健康保險法中改正法律ノ一部施行期日ノ件

日ノ件

(昭和十七年三月二十八日 勅令第二百九十號)

朕昭和十七年法律第三十八號健康保險法中改正法律ノ一部施行期日ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

昭和十七年法律第三十八號中第四十九條第一項、第五十六條第一項、第六十一條、第六十二條第二項、第六十三條、第七十四條第一項 (但書中第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ニ關スル部分ヲ除ク) 及第七十六條ノ改正規定並ニ第八十四條ノ二ノ規定ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

健康保險法抄

健康保險法抄ハ軌道上ノ便宜ヲ考慮シ昭和十七年二月法律第三十八號ヲ以テ健康保險法中改正トナリタルモノノ中施行期日未公布ノモノニシテ現行ノモノヲ抄録セルモノナリ

第一條 健康保險ニ於テハ保險者カ被保險者ノ疾病、負傷、死亡又ハ分娩ニ關シ療養ノ給付又ハ傷病手當金、埋葬料、分擔費若ハ出産手當金ノ支給ヲ爲スモノトス

保險者ハ勅令ヲ定ムル所ニ依リ被保險者ト同一ノ世帯ニ屬シ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者(以下世帯員ト稱ス)ノ疾病又ハ負傷ノ療養ニ要シタル費用ニ付補給金ヲ支給スルコトヲ得

第二條 本法ニ於テ報酬ト稱スルハ事業ニ使用セラルル者カ勞務ノ對價トシテ事業主ヨリ受クル賃金、給料又ハ俸給及之ニ準スヘキモノヲ謂フ

賃金、給料又ハ俸給ニ準スヘキモノノ範圍及評價ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 保險者又ハ保險給付ヲ受クヘキ者ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ戶籍事務ヲ管掌スル者又ハ其ノ代理ニ對シ無償ニテ證明ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ規定ハ第一條第二項ノ補給金ヲ支給スル場合ニ於テハ世帯員又ハ世帯員タリシ者ノ戶籍ニ關シテ之ヲ準用ス

第十二條 政府ノ事業ニ使用セラルル者ニ關シテハ本法ノ適用ニ付勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル工場、事業場又ハ事業ニ使用セラルル者ハ健康保險ノ被保險者トス但シ臨時ニ使用セラ

ルル者ニシテ勅令ヲ以テ指定セルモノ、一年ノ報酬千二百圓ヲ超ユル職員及職員健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ此ノ限ニ在ラス

一 工場法第一條ノ規定ニ依リ同法ノ適用ヲ受クル工場

二 礦業法ノ適用ヲ受クル事業場又ハ工場

三 左ニ掲クル事業ニシテ常時五人以上ノ労働者ヲ使用スルモノ

(イ) 物ノ製造、加工、選別、包裝、修理又ハ解體ノ事業

(ロ) 礦物ノ採掘又ハ採取ノ事業

(ハ) 電氣ノ傳導又ハ動力ノ發生若ハ傳導ノ事業

(ニ) 地方鐵道法又ハ軌道法ノ適用ヲ受クル事業

(ホ) (ニ)ニ掲クルモノヲ除クノ外貨物又ハ旅客ノ運送ノ事業ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノ

(ヘ) 貨物積卸ノ事業

(ト) 前各號ニ掲クルモノノ外勅令ヲ以テ指定スル事業

第十四條 前條ノ工場、事業場又ハ事業ヲ除クノ外左ノ各號ノ一ニ該當スル事業ノ事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ事業及之ニ附屬スル事業ニ使用セラルル者ヲ包括シテ健康保險ノ被保險者ト爲スコトヲ得前條ノ工場、事業場又ハ事業ニ附屬スル事業ニ付亦同シ

一 前條第三號ノ事業ニシテ當時五人未滿ノ労働者ヲ使用スルモノ

二 土木工事又ハ工作物ノ建設、保存、修繕若ハ破壊ノ工事ニシテ主務大臣ノ指定スルモノ

三 前各號ニ掲クルモノノ外勅令ヲ以テ指定スル事業

四 前項ノ認可ヲ申請スルニハ被保險者ト爲ルヘキ者ノ二分ノ一以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

一 事業ニ於テ作業ノ場所ニ於テハ第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ主務大臣ハ其ノ一又ハ二以上ノ場所ニ於ケル作業ヲ一事業ト看做スコトヲ得

第十五條 前條ノ認可アリタルトキハ其ノ事業ニ使用セラルル者ハ健康保險ノ被保險者トス

第十三條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 第十三條ノ工場又ハ事業カ同條ノ規定ニ該當セサルニ至リタルトキハ其ノ工場又ハ事業ニ付第十四條ノ認可アリタルモノト看做ス

第十七條 第十三條及第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ事務ニ使用セラルルニ至リタル日又ハ第十三條但書若ハ第十五條第二項ノ規定ニ該當セサルニ至リタル日ヨリ其ノ資格ヲ取得ス

職員健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ同法第二十條第一項ノ認可アリタル場合ニ於テハ其ノ認可アリタル日ノ翌日ヨリ健康保險ノ被保險者ノ資格ヲ取得ス

第十八條 第十三條及第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ハ死亡シタル日、其ノ業務ニ使用セラレサルニ至リタル日又ハ第十三條

條ノ規定ニ依ル被保險者死亡シタル場合ニハ第十八條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルモノト看做ス

第十九條 第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ノ使用スル事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ被保險者ノ全部ヲシテ其ノ資格ヲ喪失セシムルコトヲ得

前項ノ認可ヲ申請スルニハ被保險者ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第一項ノ認可アリタルトキハ被保險者ハ認可アリタル日ノ翌日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス

第二十條 第十八條ノ規定ニ依リ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニシテ喪失ノ原因ヲ六十日以上被保險者タリシモノハ勅令ノ定ムル期間内ニ申請ヲ爲ストキハ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得

但シ職員健康保險又ハ船員保險ノ被保險者タル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 前條ノ規定ニ依ル被保險者ハ前條ノ規定ニ依リ被保險者ト爲リタル日ヨリ百八十日ヲ経過シタルトキ、保險料ヲ納付セスシテ命令ヲ以テ定ムル猶豫期間ヲ経過シタルトキ、第十三條若ハ第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタルトキ又ハ職員健康保險若ハ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ其ノ資格ヲ喪失ス

前條ノ規定ニ依ル被保險者死亡シタル場合ニハ第十八條ノ規

定ヲ準用ス
 第二十三條 保險者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ノ健康ヲ保持スル爲ニ必要ナル施設ヲ爲スコトヲ得
 第二十七條 健康保險組合ハ事業主及其ノ事業ニ使用セラルル被保險者ヲ以テ之ヲ組織ス
 第二十八條 一又ハ二以上ノ事業ニ付被保險者常時三百人以上ヲ使用スル事業主ハ健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得
 被保險者ヲ使用スル二以上ノ事業主ハ共同シテ健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ被保險者ノ員數ハ合算シテ常時三百人以上タルコトヲ要ス
 第二十九條 健康保險組合ヲ設立セムトスルトキハ組合員タル資格ヲ有スル被保險者ノ二分ノ一以上ノ同意ヲ得規約ヲ作り主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
 二以上ノ事業ニ付健康保險組合ヲ設立セムトスル場合ニ於テハ前項ノ同意ハ各事業ニ付之ヲ得ルコトヲ要ス
 第三十條 前二條ノ規定ニ於テ被保險者トアルハ第十四條第一項ノ規定ニ依リ認可ノ申請ト同時ニ健康保險組合ノ設立認可ノ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルヘキ者トス
 第三十一條 主務大臣ハ一事業ニ付第十三條ノ規定ニ依リ被保險者常時五百人以上ヲ使用スル事業主ニ對シ健康保險組合ノ設立ヲ命スルコトヲ得
 第三十三條 第十四條第三項ノ規定ハ第二十八條、第二十九條及第三十條ノ規定ノ適用ニ付之ヲ準用ス
 第三十五條 健康保險組合成立シタルトキハ事業主及其ノ事業

ニ使用セラルル被保險者ハ總テ之ヲ組合員トス
 第四十二條 同時ニ二以上ノ業務ニ使用セラルル被保險者ノ保險者ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依ル
 第四十三條 被保險者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ療養ノ給付ヲ爲ス
 前項ノ療養ノ給付ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
 第一項ノ場合ニ於テ療養上必要アリト認ムルトキハ保險者ハ被保險者ヲ病院ニ收容スルコトヲ得
 第四十五條 被保險者療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルトキハ其ノ期間傷病手當金トシテ一日ニ付報酬日額ノ百分ノ六十ニ相當スル金額ヲ支給ス但シ業務上ノ事由ニ因リ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合以外ノ場合ニ於テハ勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル日ヨリ起算シ第四日ヨリ之ヲ支給ス
 第四十六條 病院ニ收容シタル被保險者ニ對シテ支給スヘキ傷病手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得
 第四十七條 療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付其ノ保險給付ヲ始メタル日ヨリ起算シ百八十日ヲ超過シタルトキハ之ヲ爲サス
 主務大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ保險者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ期間ヲ超エ通シテ一年ニ至ル迄繼續シテ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲スコトヲ得但シ其ノ保險給付ヲ始メタル日ヨリ起算シ其ノ期間引續キ被保險者タリシ者ニ限ル
 傷病手當金ハ其ノ支給期間ヲ超過セサルトキト雖モ療養ノ給

付ヲ爲シ得ル期間ヲ超過スルニ至リタルトキハ之ヲ支給セス
 第四十八條 在ノ各條ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ保險者ハ前條ニ規定スル期間ヲ超エテ療養ヲ必要トスル者ニ對シ繼續シテ療養ノ給付ヲ爲スコトヲ得
 一 他ノ法令ノ規定ニ依リ事業主ヨリ扶助ヲ受クヘキ者ニ付
 二 前條以外ノ場合ニ於テ療養ノ給付ニ要スル費用ノ償還ニ付擔保ヲ提供シ其ノ他確實ナル方法ヲ定メ本人又ハ第三者ヨリ申請アリタルトキ
 前項第一號ノ場合ニ於テハ療養ノ給付ニ要シタル費用ニ相當スル金額ハ事業主ヨリ之ヲ徴收ス
 第五十條 被保險者分統シタルトキハ分統費トシテ二十圓ヲ、出產手當金トシテ分統ノ前後勅令ヲ以テ定ムル期間一日ニ付報酬日額ノ百分ノ六十ニ相當スル金額ヲ支給ス
 第五十一條 保險者ハ被保險者ヲ産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲スコトヲ得
 産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲シタル被保險者ニ對シテ支給スヘキ分統費及出產手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得
 第五十七條ノ二 前三條ノ規定ニ拘ラス被保險者タリシ者職員健康保險又ハ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ保險給付ヲ爲サス
 第六十九條ノ二 第六十條、第六十二條第一項及第二項、第六十五條並ニ第六十七條ノ規定ハ世帯員ニ之ヲ準用ス
 第五十五條ノ規定ハ第一條第二項ノ補給金ニ之ヲ準用ス

第七十條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ各健康保險組合ノ保險給付ニ要スル費用ノ十分ノ一ヲ負擔ス
 前項ノ規定ニ依リ國庫負擔金ノ總額ハ被保險者一人ニ付一年平均二圓ノ割合ヲ超スル場合ニ於テハ各健康保險組合ニ對スル國庫負擔金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ限度ニ至ル迄之ヲ減額スルモノトス
 前項ニ規定スル被保險者ノ員數ノ計算ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
 第七十二條 被保險者及被保險者ヲ使用スル事業主ハ各保險料額ノ二分ノ一ヲ負擔ス但シ第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ全額ヲ負擔ス
 第七十條 被保險者ノ負擔スヘキ保險料額ハ一日ニ付報酬日額ノ百分ノ三ヲ超ユルコトヲ得ス但シ第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
 前項ニ規定スル制限ヲ超エテ保險料ヲ徴收スルコトヲ要スル場合ニ於テハ其ノ超過部分ハ事業主ノ負擔トス
 第八十七條 正當ノ理由ナクシテ第九條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ其ノ検査ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス
 第九十條 健康保險組合カ第三十七條ノ規定ニ依リ命令ニ違反シ又ハ處分ヲ拒ミ若ハ妨ケタルトキハ其ノ役員ヲ百圓以下ノ過料ニ處ス
 本法ニ基キテ發スル健康保險組合ニ關スル勅令ニ於テハ組合カ之ニ違反シタル場合ニ於テ其ノ役員ヲ百圓以下ノ過料ニ處スル規定ヲ設クルコトヲ得

●健康保險法施行令

(大正十五年六月三十日)
勅令第二百四十三號

【沿革】昭和二年三月三十一日附合第三〇號、昭和七年七月三十一日附合二二〇號、昭和九年五月三十一日附合二〇〇號、昭和十年十二月三十一日附合四〇〇號、昭和十三年一月三十一日附合二〇〇號、昭和十五年五月三十一日附合三七三號、昭和十六年六月三十一日附合七一五號、昭和十七年一月三十一日附合九〇六號、昭和十七年三月三十一日附合三三三號、昭和十七年三月三十一日附合二九一號改正

朕健康保險法施行令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

健康保險法施行令

第一章 總則

第一條 健康保險法第二條第一項ノ賃金、給料又ハ俸給ニ準スヘキモノノ範圍ハ常時又ハ定期ニ受クル給與其ノ他ノ利益トス但シ左ニ掲クルモノヲ除ク

一 三月ヲ超ユル期間毎ニ支給スル賞與又ハ手當

二 通勤手當

三 住居ニ關スル利益又ハ住宅料ニシテ賃金、給料又ハ俸給ノ額ノ決定ニ影響ヲキモノ

第八號	八十圓	二十圓七十圓以上八十五圓未満
第九號	九十圓	三十圓八十五圓以上九十五圓未満
第十號	百圓	四十圓九十圓以上百圓未満
第十一號	百十圓	五十圓百圓以上百十五圓未満
第十二號	百二十圓	六十圓百十五圓以上百二十五圓未満
第十三號	百三十圓	七十圓百二十五圓以上百三十五圓未満
第十四號	百四十圓	八十圓百三十五圓以上百四十五圓未満
第十五號	百五十圓	九十圓百四十五圓以上

第四條 標準報酬ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日ノ現在ニ依リ之ヲ定ム

被保險者ノ報酬カ其ノ増減アリタルニ因リ從前ノ報酬月額ニ基キ定メラレタル標準報酬ニ該當セサルニ至リタル場合ニ於テハ其ノ報酬ニ増減アリタル月ノ翌月(報酬ニ増減アリタル日カ月ノ初日ナルトキハ其ノ月)ヨリ其ノ標準報酬ヲ變更ス

健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ標準報酬ニ付テハ引續キ從前ノモノニ依ル

第五條 第三條ニ規定スル被保險者ノ報酬月額ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ算定ス

一 一年ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ヲ取

第二條 國民健康保險法 第二款 健康保險法令

四 其ノ他厚生大區ノ指定スルモノ

第二條 賃金、給料又ハ俸給ニ準スヘキモノノ全部又ハ一部カ金錢以外ノ給與其ノ他ノ利益ナル場合ニ於テハ其ノ價額ハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同シ)ノ定ムル標準價格ニ依リ之ヲ算定ス

前項ノ標準價格ハ其ノ地方ノ時價ニ依リ之ヲ定ム

健康保險組合ハ第一項ノ規定ニ拘ラス規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第三條 健康保險法第三條第一項ノ標準報酬ハ被保險者ノ報酬月額ニ基キ左ノ區別ニ依リ之ヲ定ム

標準報酬ノ等級	標準報酬月額	報酬月額
第一號	十圓	十五圓未満
第二號	二十圓	十五圓以上二十五圓未満
第三號	三十圓	二十五圓以上三十五圓未満
第四號	四十圓	三十五圓以上四十五圓未満
第五號	五十圓	四十五圓以上五十五圓未満
第六號	六十圓	五十五圓以上六十五圓未満
第七號	七十圓	六十五圓以上七十五圓未満

【連三頁】

得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ現在ニ於ケル年額ノ十二分ノ一

一 月ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ現在ニ於ケル月額

二 日、時間、稼高又ハ請負ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ前一月間ニ現ニ使用セラルル事業ニ於テ同様ノ作業ニ從事シ同様ノ報酬ヲ受クル者カ受ケタル報酬ノ額

三 前項ノ規定ニ依リ算定シ難キモノニ付テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ前一月間ニ其ノ地方ニ於テ同様ノ作業ニ從事シ同様ノ報酬ヲ受クル者カ受ケタル報酬ノ額

四 前各號ノ二以上ニ該當スル報酬ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ各ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額

五 同時ニ二以上ノ業務ニ於テ報酬ヲ受クル場合ニ於テハ各業務ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額

六 被保險者ノ報酬月額カ前項ノ規定ニ依リ算定シ難キトキ又ハ前項ノ規定ニ依リ算定シタル額カ著シク不當ナルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス保險者ニ於テ適當ノ方法ニ依リ之ヲ算定ス

保險者カ健康保險組合ナル場合ニ於テハ前項ノ算定方法ハ規

約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第五條ノ二 健康保險法第十一條第一項ノ規定ニ依リ保險料其ノ他同法ノ規定ニ依ル徵收金納付ノ督促ヲ爲サントスルトキハ保險者ハ納付義務者ニ對シ督促狀ヲ發スヘシ

督促狀ヲ發シタルトキハ督促手数料トシテ二十錢ヲ徵收ス

第五條ノ三 前條ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ徵收金額百圓ニ付一日三錢ノ割合ヲ以テ納期限ノ翌ヨリ徵收金完納又ハ財産差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル延滞金ヲ徵收ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合又ハ滞納ニ付酌量スヘキ情狀アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 納入ノ告知書一通ノ徵收金額五圓未滿ナルトキ

二 納期ヲ繰上テ徵收ヲ爲ストキ

三 納付義務者ノ住所及居所カ市國內ニ在ラサル爲又ハ其ノ住所及居所共ニ不明ナル爲公示送達ノ方法ニ依リ納入ノ告知又ハ督促ヲ爲シタルトキ

督促狀ニ指定シタル期限迄ニ徵收金及督促手数料ヲ完納シタルトキハ延滞金ヲ徵收セス

第六條 健康保險法又ハ本令ノ規定ニ依リ事業主カ厚生大臣ノ認可ヲ受テハキ場合ニ於テ政府カ事業主ナルトキハ厚生大臣ノ承認ヲ受クヘシ

二 自動車其ノ他ノ車ニ依ル運送ノ事業
三 索道ニ依ル運送ノ事業
三 航空機ニ依ル運送ノ事業
四 平水區域ヲ航行スル船舶又ハ船舶法第二十條ニ規定スル船舶ニ依ル運送ノ事業
第九條ノ三 健康保險法第十三條第三號(ト)ノ規定ニ依リ焼却、清掃又ハ屠殺ノ事業ヲ指定ス
第九條ノ四 健康保險法第十四條第一項第四號ノ規定ニ依リ農産物、林産物若ハ水産物ノ栽培、採取、採捕、處理若ハ養殖、園藝、養蠶又ハ養畜ノ事業ヲ指定ス
第十條 健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タラズトスル申請ハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日(繼續シテ保險給付ヲ受クル者ニ在リテハ其ノ給付ヲ受クサルニ至リタル日)ヨリ算シテ十日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ保險者ニ於テ正當ノ事由アリト認ムルトキハ期限經過後ノ申請ト雖モ之ヲ受理スルコトヲ得

第三章 健康保險組合

第十一條 事業主健康保險組合ヲ設立スル爲健康保險法第二十九條ノ同意ヲ求ムル場合ニ於テハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ同條ヲ被保險者ハ健康保險法第三十條ノ場合ニ在リテハ被

第七條 政府ノ事業ニ使用セラルル被保險者カ共済組合ノ組合員ナル場合ニ於テ其ノ組合ノ給付ノ種類及程度ヲ厚生大臣ニ於テ適當ナリト認メ其ノ組合ヲ指定シタルトキハ其ノ被保險者ニ對シテハ健康保險法ノ規定ニ依ル保險給付ヲ爲サス

第八條 前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケサル者ニ付テハ保險料ハ之ヲ徵收セス

第二章 被保險者

第九條 臨時ニ使用セラルル者ノ中左ニ掲クル者ハ健康保險法第十三條但書又ハ第十五條第二項ノ規定ニ依リ被保險者タラサルモノトス但シ第一號ニ該當スル者所定ノ期間ヲ超エテ引續キ使用セラルルニ至リタルトキ又ハ第二號若ハ第三號ニ該當スル者一月ヲ越エテ引續キ使用セラルルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 二月以内ノ期間ヲ定メテ使用セラルル者

二 使用期間ノ定ナク勞務供給契約ニ基キ又ハ試ニ使用セラルル者

三 日雇入レラルル者

四 前各號ニ掲クルモノノ外厚生大臣ノ定ムル者

第九條ノ二 健康保險法第十三條第三號(ホ)ノ規定ニ依リ左ノ事業ヲ指定ス

保險者ヲ爲ルヘキ者(全部ニ給付スヘシ)
一 組合員タルヘキ者ノ範圍
二 組合ノ組織ノ概要
三 保險料ノ概要
四 保險給付ノ概要
五 其ノ他事業計畫ノ概要
第十條 規約ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ
一 組合ノ名稱
二 事務所ノ所在地
三 組合ノ設立アル事業ノ名稱及所在地
四 公示ノ方法
五 其ノ他組合ニ關シ重大ナル事項
第十條 組合ハ其ノ名稱中ニ健康保險組合ナル文字ヲ用フヘシ但シ健康保險組合ニ非サルモノハ其ノ名稱中ニ健康保險組合ナル文字ヲ用ウルコトヲ得ス
第十四條 組合設立ノ際於テ定ムヘキ保險料率及初年度ノ收入支出ノ豫算ハ事業主之ヲ定メ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘシ
第十五條 組合設立ノ認可ヲ爲シタルトキハ厚生大臣ハ左ノ事項ヲ告示スルヘシ
一 一人一課ニ課スル額
二 組合ノ名稱
三 事務所ノ所在地

二 事務所所在地
 三 組合ノ設立アル事業ノ名稱及所在地
 四 認可ノ年月日
 前項各號ノ事項ニ關スル規約ノ變更ヲ認可シタルトキハ厚生大臣ハ其ノ事項ヲ告示スヘシ

第十六條 組合設立ノ認可アリタルトキハ事業主ハ滞滞ナク規約ヲ公示スヘシ

第十七條 組合設立ノ認可アリタルトキハ事業主ハ滞滞ナク組合ヲ招集シ組合設立ノ經過、保険料率及初年度ノ收入支出ノ豫算其ノ他重要ナル事項ヲ報告スヘシ

第十八條 組合設立後理事就職ニ至ル迄ハ事業主理事ノ職務ヲ行フ

第十九條 組合ニ組合會ヲ置ク

第二十條 議員ノ定數ハ十二人以上ノ偶數トシ其ノ半數ハ事業主ニ於テ事業主(若ハ其ノ代理人)及其ノ事業ニ使用セラルル者ノ中ニ就キ之ヲ選定シ他ノ半數ハ被保險者タル組合員ニ於テ之ヲ互選ス

第二十一條 議員就職シタルトキハ選定ナク其ノ旨ヲ公示スヘシ議員選職又ハ死亡シタルトキ亦同シ

第二十二條 議員ノ選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フヲ例トス
 投票ハ無記名トシ一人一票ニ限ル

第二十三條 選舉人タル組合員議員ノ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ第二十一條ノ公示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ理事ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ申立アリタルトキハ理事ハ二十日以内ニ之ヲ組合會ノ決定ニ附シ其ノ決定アリタルトキハ滞滞ナク之ヲ公示スヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ決定アリタル日ヨリ三十日以内ニ監督官廳ニ訴願スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ健康保險組合ヲ訴願法ノ規定ニ依ル行政廳ト看做ス

議員ハ第二項ノ決定又ハ前項ノ訴願裁決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第二十四條 本令ニ規定スルモノノ外議員ノ定數、資格、任期、選定及選舉ニ關スル事項ハ規約ノ定ムル所ニ依ル

第二十五條 組合會ノ議決スヘキ事項左ノ如シ

- 一 收入支出ノ豫算
- 二 事業報告及決算
- 三 收入支出豫算ヲ以テ定ムルモノノ外新ナル義務ノ負擔又ハ權利ノ拋棄
- 四 準備金ノ管理方法
- 五 準備金其ノ他重要ナル財産ノ處分

(第二四條)

第六 組合債

七 規約ノ變更

八 保険料率

九 訴願訴訟ノ提起及和解

十 其ノ他重要ナル事項

第二十六條 組合會ハ組合ノ事務ニ關スル書類ヲ檢閲シ、理事ノ報告ヲ請求シ又ハ事務ノ管理、議決ノ執行及出納ヲ検査スルコトヲ得

組合會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ前項ノ組合會ノ權限ニ屬スル事項ヲ行ハシムルコトヲ得

第二十七條 組合會ハ理事之ヲ招集ス

議員定數ノ三分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ組合會招集ノ請求ヲ爲シタルトキハ理事ハ七日以内ニ之ヲ招集スヘシ

組合會ノ招集ハ會議ノ目的タル事項ヲ示シ急務ヲ要スル場合ヲ除クノ外開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ爲スヘシ

前二項ノ期間ニ付テハ規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

組合會開會中急務ヲ要スル事項アルトキハ理事ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

組合會ハ理事之ヲ開閉ス

第二十八條 組合會ノ議長ハ理事長ヲ以テ之ニ充ツ

理事長故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ行フ

決算ノ認定ニ關スル會議ノ議長ハ前二項ノ規定ニ拘ラス理事以外ノ出席議員中ヨリ互選セラレタル者ヲ以テ之ニ充ツ

議長ハ會議ヲ總理シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第二十九條 組合會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得但シ第三十二條ノ除外ノ爲半數ニ滿チタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十條 組合會ノ議事ハ出席議員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可ク否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十一條 規約變更ノ議事ハ議員定數ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ之ヲ決ス

第三十二條 議長及議員ハ其ノ一身上ニ關スル事項ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得但シ組合會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第三十三條 議員ハ自ら會議ニ出席シ表決ヲ爲スヘシ但シ病氣其ノ他已ムル得サル事由ニ因リ會議ニ出席スルコト能ハサル議員ハ規約ノ定ムル所ニ依リ豫メ書面ヲ以テ出席議員ニ委任シテ表決ヲ爲スコトヲ妨ケス此ノ場合ニ於テハ之ヲ會議ニ出席シタルモノト看做ス

第三十四條 組合員ハ規約ノ定ムル特別ノ場合ヲ除クノ外組合會ノ會議ヲ傍聴スルコトヲ得

第三十五條 議員ハ其ノ職務ノ爲必要ナル旅費ノ支給ヲ組合ヨリ受クルコトヲ得

被保險者タル議員其ノ職務ヲ行フニ因リ平常ノ業務ニ對スル報酬ヲ受クルコトヲ得サル場合ニ於テハ其ノ補償ヲ組合ヨリ受クルコトヲ得
第一項ノ旅費及前項ノ補償ノ額及支給方法ハ規約ノ定ムル所ニ依ル

第三節 組合ノ役員
第三十六條 組合ニ理事ヲ置ク

理事ノ定數ハ四人以上ノ偶數トシ其ノ半數ハ事業主ノ選定シタル議員ニ於テ、他ノ半數ハ被保險者タル組合員ノ互選シタル議員ニ於テ之ヲ互選ス
理事ノ中一人ヲ理事長トシ事業主ノ選定シタル議員タル理事中ニ就キ理事之ヲ選舉ス

第三十七條 理事長ハ組合ヲ代表ス
理事長故障アルトキハ規約ノ定ムル所ニ依リ他ノ理事其ノ職務ヲ代理ス

第三十八條 組合ノ事務ハ規約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外理事ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ理事長ノ決スル所ニ依ル

第三十九條 組合會成立セス又ハ其ノ議決スヘキ事項ヲ議決セ

サルトキハ理事ハ監督官廳ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事項ヲ處理スルコトヲ得

第四十條 組合會ニ於テ議決スヘキ事項ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ組合會成立セサルトキ又ハ之ヲ招集スルノ暇ナキトキハ理事之ヲ專決スルコトヲ得
第四十一條 前二條ノ規定ニ依リ處理ヲ爲シタルトキハ理事ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ組合ニ報告スヘシ
第四十一條ノ二 規約變更ノ認可アリタルトキハ理事ハ遲滞ナク之ヲ公示スヘシ

第四十二條 理事ハ規約、財産目錄、事業報告書、組合原簿及組合會ノ會議録ヲ事務所ニ備フヘシ
組合員前項ノ書類ノ閲覧ヲ求メタルトキハ理事ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第四十三條 第二十一條、第二十四條及第三十五條ノ規定ハ理事及理事長ニ之ヲ準用ス

第四十四條 組合ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第四十五條 組合ハ毎會計年度收入支出ノ豫算ヲ調製シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ豫算ヲ更正又ハ追加シタルトキ亦同シ
豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ス

豫算ニ定メタル各項ノ金額ハ組合會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用ス

(第二四條)

ルコトヲ得

第四十六條 組合ハ組合會ノ議決ヲ經テ繼續費ヲ設クルコトヲ得

第四十七條 組合ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ
豫備費ハ規約ヲ以テ定メタル費途以外ノ費途ニ之ヲ充ツルコトヲ得ス

第四十八條 組合ニ於テ其ノ收入金ヲ收納スルハ翌年度五月三十一日、其ノ支出金ヲ支拂フハ翌年度四月十五日限リトシ其ノ出納ヲ閉鎖ス

第四十九條 組合ハ保險料率ヲ變更セムトスルトキハ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第五十條 組合ハ少クモ保險給付ニ要シタル費用ノ前三年度(既往ノ年度三年未滿ナルトキハ既往年度)ノ平均年額ニ相當スル額ニ達スル迄毎年度ノ剩餘金中ヨリ該平均年額ノ百分ノ五以上ニ相當スル額(剩餘金カ該平均年額百分ノ五ニ達セザルトキハ其ノ全額)ヲ準備金トシテ積立フヘシ

前項ノ限度内ノ準備金ハ保險給付ニ要スル費用ニ不足ヲ生シタルトキニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第五十一條 (削除)

第五十二條 準備金其ノ他財産ノ管理方法ノ要綱ハ規約ヲ以テ

第二編 國民健康保險關係法 第二章 健康保險法令

之ヲ定ムヘシ

第五十三條 組合ハ支拂上現金ニ不足ヲ生シタルトキハ準備金ニ屬スル現金ヲ繰替使用シ又ハ一時借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ繰替使用シタル金額及前項ノ一時借入金ハ當該會計年度内ニ之ヲ返還スヘシ

第五十四條 組合ハ組合債ヲ起シ、起債ノ方法、利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキハ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第五十五條 組合ハ重要ナル財産ノ處分ヲ爲サムトスルトキハ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第五節 組合ノ分合解散
第五十六條 組合合併又ハ分割ヲ爲サムトスルトキハ關係アル組合ノ組合會ニ於テ議員定數ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ之ヲ議決シ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ規約ノ變更ヲ要スルトキハ前項ノ議決ト共ニ之ヲ議決スヘシ

第五十七條 組合ノ分割ハ組合ノ設立アル事業ノ一部ニ付之ヲ爲スコトヲ得ス

一事業ニ於テ作業ノ場所二以上アル場合ニ於テハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ厚生大臣ハ其ノ一又ハ二以上ノ場合ニ於ケル作業ヲ一事業ト看做スコトヲ得

第五十八條 分割ヲ爲ス場合ニ於テハ分割後存続スル組合又ハ分割ニ因リテ成立スル組合ノ被保險者タル組合員ノ員數ハ常時三百人以上タルコトヲ要ス

第五十九條 合併ニ因リテ成立スル組合ノ規約、保險料率及初年度ノ收入支出ノ豫算ハ各組合ニ於テ選任シタル者共同シテ之ヲ定メ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六十條 分割ニ因リテ成立スル組合ノ規約、保險料率及初年度ノ收入支出ノ豫算ハ其ノ組合ノ組合員タルヘキ事業主之ヲ定メ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六十一條 合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ成立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承継ス又ハ分割後存続スル組合ハ分割ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承継ス

第六十二條 組合ノ合併又ハ分割ノ認可ヲ爲シタルトキハ厚生大臣ハ合併又ハ分割ニ因リテ成立又ハ消滅シタル組合及合併又ハ分割後存続スル組合ニ付左ノ事項ヲ告示スヘシ

- 一 組合ノ名稱
- 二 事務所ノ所在地
- 三 組合ノ設立アル事業ノ名稱及所在地

四 認可ノ年月日

第六十三條 第十六條乃至第十八條ノ規定ハ合併又ハ分割ニ因リテ成立シタル組合ニ付之ヲ準用ス

合併又ハ分割ノ際其ノ合併又ハ分割シタル組合ノ理事タリシ者カ合併又ハ分割ニ因リテ成立シタル組合ノ組合員タル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ事業主ノ行フヘキ職務ハ其ノ理事タリシ者之ヲ行フ

第六十四條 組合解散ヲ爲サムトスルトキハ組合會ニ於テ議員定數ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ之ヲ議決シ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六十五條 組合ハ被保險者タル組合員ナキニ至ルモ其ノ欠缺カ一時的ナル組合ニ於テハ解散スルコトナシ

第六十六條 組合解散シタルトキハ厚生大臣ハ第六十二條ノ例ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第六十七條 組合ノ設立アル事業ヲ増減セムトスルトキハ編入又ハ削除セラルヘキ事業ノ事業主ノ全部及其ノ事業ニ使用セラルル被保險者ノ二分ノ一以上ノ同意アルコトヲ要ス

編入又ハ削除セラルヘキ事業ニ付之ヲ得ルコトヲ要ス

被保險者ノ同意ハ各事業ニ付之ヲ得ルコトヲ要ス

前二項ノ規定ニ於テ被保險者トアルハ健康保險法第十四條第一項ノ規定ニ依リ認可ノ申請ト同時ニ事業編入ニ關スル規約

【連二四條】

變更ノ認可ノ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルヘキ者トス

第六十八條 第五十七條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十九條 事業ノ削除ヲ爲ス場合ニ於テハ削除後ニ於テモ組合ノ被保險者タル組合員ノ員數ハ常時三百人以上タルヘキコトヲ要ス

第七十條 組合カ第六十七條ノ同意ヲ求ムトスルトキハ事業ノ編入ノ場合ニ在リテハ第十一條各號ニ掲クル事項ヲ記載シタル書面ヲ、事業ノ削除ノ場合ニ在リテハ削除ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ編入又ハ削除ニ因リ組合員タル資格ヲ取得又ハ喪失スヘキ者ノ全部ニ送付スヘシ

第七十一條 厚生大臣ハ組合會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

組合會解散ノ場合ニ於テハ一月以内ニ議員ノ選定及選舉ヲ爲スヘシ

第七十二條 健康保險法第三十九條ノ規定ニ依リ解散セラレタル者ハ二年間組合ノ役員タルコトヲ得ス

第七十三條 第二十三條第三項、第三十九條、第四十五條第一項、第四十九條、第五十四條及第五十五條ニ於テ監督官廳トアル保健院長官トス

第七十四條 健康保險法第四十三條第一項ノ療養ノ給付ノ範圍左ノ如シ

- 一 診療
- 二 藥劑又ハ治療材料ノ支給
- 三 處置、手術其ノ他ノ治療
- 四 看護
- 五 被保險者ノ移送

前項第四號及第五號ノ給付ハ被保險者必要アリト認ムル場合ニ於テ爲スモノニ限ル

第七十五條 前條第一項第一號乃至第三號ノ給付ニ付テハ被保險者ハ保險者ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師中自己ノ選定シタル者ニ就キ之ヲ受クルコトヲ得但シ健康保險法第四十三條第三項ノ規定ニ依リ病院ニ收容セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十六條 前條ニ規定スル醫師又ハ齒科醫師處方箋ヲ交付シタルトキハ被保險者ハ保險者ノ指定シタル藥劑師中自己ノ選定シタル者ニ就キ藥劑ヲ受クルコトヲ得

第七十七條 左ノ場合ニ於テハ健康保險法第四十四條ノ規定ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

- 一 保險者ニ於テ療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナリト認メタル

二 被保險者カ罹病者ノ承認ヲ受ケ其ノ指定セサル醫師又ハ
齒科醫師ノ診察ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者ノ申請
アリタルトキ

三 被保險者カ緊急ノ場合ニ於テ被保險者ノ指定セサル醫師、
齒科醫師其ノ他ノ者ノ手當ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保
險者ノ申請アリタルトキ

健康保險組合ハ前項各號ノ外規約ヲ以テ療養ノ給付ニ代ヘテ
療養費ヲ支給スルコトヲ得ル場合ヲ定ムルコトヲ得

第七十八條 前條ノ規定ニ依リ支給スル療養費ノ額ハ療養ノ給
付ヲ爲ス場合ニ要スル額ヲ標準トシテ被保險者ノラノム

第七十九條 病院ニ收容シタル被保險者ニ對シ支給スヘキ傷病
手當金ハ専ラ其ノ者ニ依リ生計ヲ維持スル者ナキ場合ニ於テ
ハ標準報酬日額ノ百分ノ二十二相當スル金額トス

第七十九條ノ二 健康保險組合ハ健康保險法第四十七條第二項
ノ規定ニ依ル療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ヲ爲サントス
ルトキハ規約ヲ以テ其ノ旨ヲ定ムヘシ

第七十九條ノ三 健康保險法第四十七條第二項但書ノ規定ニ依
ル期間ハ六月トス

第八十條 出產手當金ハ被保險者カ分娩ノ日前二十八日、分娩
ノ日以後四十二日以内ニ於テ勞務ニ服セザリシ期間之ヲ支給
ス

分娩ノ日カ其ノ豫定日ヨリ後レタルトキハ被保險者ハ前項ノ分
給ノ日前ノ期間ヲ七日以内延長スルコトヲ得

第八十一條 産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲シタル被保險者
ニ支給スヘキ分娩費ノ額ハ十圓トス

産院ニ收容シタル被保險者ニ對シ支給スル出產手當金ニ付テ
ハ第七十九條ノ規定ヲ準用ス

第八十二條 分娩ニ關スル保險給付ハ分娩前一年内ニ於テ百八
十日以上被保險者タリシ者ニ非サレバ之ヲ爲サス但シ九十日
以上被保險者タリシ者ニ對シテハ分娩費ヲ支給シ又ハ助産ノ
手當ヲ爲ス

第八十三條 (削除)

第八十四條 被保險者タリシ者分娩ニ關スル保險給付ヲ受ケル
ニハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日以後六月以内ニ分娩シタル
コトヲ要ス

第八十四條ノ二 健康保險法第五十五條乃至第五十七條ノ規定
ニ該當スル被保險者タリシ者職員健康保險又ハ船員保險ノ被
保險者ト爲リタル場合ニ於テ職員健康保險法、船員保險法又
ハ船員法ニ於テ健康保險法ノ規定ニ依ル保險給付ト同種ノ
給付ヲ爲ストキハ健康保險法ノ規定ニ依ル保險給付ハ之ヲ爲
サス

第八十五條 疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分娩シタル場合ニ於テ
分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

補給金ヲ支給スヘキ療養ノ期間ニ付テハ健康保險法第四十七
條第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス

世帯員カ被保險者ノ指定シタル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ就
キ療養ヲ受ケタル場合ニ於テハ被保險者ハ其ノ世帯員カ當該醫
師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ對シ支給フヘキ療養ニ要シタル費
用ニ付補給金トシテ被保險者ニ對シ支給スヘキ額ノ限度ニ於
テ被保險者ニ代リ當該醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ對シ之ヲ
支拂フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ對シ費用ヲ支
拂ヒタル場合ニ於テハ其ノ限度ニ於テ被保險者ニ對シ補給金
ヲ支給シタルモノト看做ス

世帯員カ被保險者ノ指定シタル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師以外
ノ者ニ就キ療養ヲ受ケタル場合ニ於ケル補給金ノ支給方法ハ
厚生大臣ノヲ定ム

前條ノ疾病又ハ負傷ニ關シ他ノ法令ノ規定ニ依リ療養費ノ支
給又ハ療養アリタルトキハ其ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ補給
金ハ之ヲ支給セズ

第八十七條ノ四 健康保險組合ハ補給金ノ支給ヲ爲サントスル
トキハ規約ヲ以テ其ノ旨ヲ定ムヘシ

第八十八條 詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ
受ケムトシタル者ニ對シテハ被保險者ハ六月以内ノ期間ヲ定メ
其ノ者ニ支給スヘキ傷病手當金又ハ出產手當金ノ全部又ハ一
部ヲ支給セザル旨ノ決定ヲ爲スコトヲ得但シ詐欺其ノ他不正
ノ行爲アリキル日ヨリ一年ヲ経過シタルトキハ此ノ限ニ在ラ

分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

補給金ヲ支給スヘキ療養ノ期間ニ付テハ健康保險法第四十七
條第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス

續シテ療養ノ全部又ハ一部ヲ受ケタルコトヲ得ヘキ者ニ對シテ
ハ之ヲ受ケタルコトヲ得ヘキ期間傷病手當金又ハ出產手當金ヲ
支給セズ但シ其ノ受ケタルコトヲ得ヘキ報酬ノ額カ傷病手當金
又ハ出產手當金ノ額ヨリ小ナルトキハ其ノ差額ヲ支給ス

第八十六條 前條ニ掲ケタル者其ノ受ケタルコトヲ得ヘカリシ報酬
ノ全部又ハ一部ニ付テ其ノ全額ヲ受ケタルコト能ハザリシトキハ
傷病手當金又ハ出產手當金ノ全額、其ノ一部ヲ受ケタルコト能
ハザリシ場合ニ於テ受ケタル額カ傷病手當金又ハ出產手當金
ノ額ヨリ小ナルトキハ其ノ額ト傷病手當金又ハ出產手當金ト
ノ差額ヲ支給ス但シ前條但書ノ規定ニ依リ傷病手當金又ハ出
產手當金ノ一部ヲ受ケタルトキハ其ノ額ヲ支給額ヨリ控除ス

第八十七條 第七十九條又ハ第八十一條ノ規定ハ健康保險法第
六十二條第二項ニ掲ケタル者ニ對シ支給スヘキ傷病手當金又ハ
出產手當金ニ之ヲ準用ス

第八十七條ノ二 健康保險法第一條第二項ノ補給金ノ支給ハ引
續キ一年以上被保險者タリシ者ト同一ノ世帯ニ屬シ專ラ其ノ
者ニ依リ生計ヲ維持スル者ノ疾病又ハ負傷ニ關スルモノニ限
ル

第八十七條ノ三 健康保險法第一條第二項ノ補給金ハ前條ノ疾
病又ハ負傷ノ療養ニ關シ入院ニ要スル費用又ハ一圓十圓以上
ノ療養料若ハ手術料ニ付被保險者ニ於テ必要アリト認メタル場
合ニ於テ之ヲ支給ス

前項ノ決定ハ保險者ニ於テ其ノ事實ヲ知リタルトキ遲滞ナク之ヲ爲シ本人ニ通知スヘシ

被保險者業務上ノ事由ニ因リ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合ニ於テハ第一項ノ規定ニ拘ラス傷病手當金ヲ支給ス

前項ノ給付ヲ爲シタル期間ハ第一項ノ六月ノ期間ノ計算ニ付テハ之ヲ算入セス

第八十九條 傷病手當金及出產手當金ハ少クとも毎月二回一定ノ期日ニ之ヲ支給スヘシ但シ毎月一回報酬ノ支拂ヲ受クル被保險者ニ付テハ毎月一回其ノ報酬支拂ノ日ニ於テ之ヲ支給スルコトヲ得

療養費、埋葬料、分擔費及補給金ハ其ノ都度之ヲ支給スヘシ健康保險法第四十九條第二項又ハ第五十六條第二項ノ埋葬費ニ付亦同シ

第八十九條ノ二 健康保險法第十七條第二項ノ規定ニ依ル被保險者ニ關シテハ第七十九條ノ三、第八十二條及第八十七條ノ二ノ規定ニ依ル期間ノ計算ニ付職員健康保險ノ被保險者タリシ期間ヲ合算ス

第五十條 費用ノ負擔

第九十條 健康保險組合ニ對シ交付スル國庫負擔金ニ付テハ前項ノ概算額ニ關シ必要ナル事項ハ厚生大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ムヘシ

第九十一條 健康保險法第七十條第一項ノ規定ニ依ル國庫負擔金算定ノ基礎タル保險給付ニ要スル費用ノ額ハ療養ノ給付、產院收容及助産ノ手當ニ直接要シタル金額及傷病手當金、出產手當金、分擔費、埋葬料、療養費及健康保險法第四十九條

第二項又ハ第五十六條第二項ノ埋葬費ノ支給額ノ合算額トシ毎年度之ヲ計算ス但シ同法第四十八條ノ規定ニ依ル療養ノ給付ニ直接要シタル金額及同法第五十九條第一項ノ規定ニ依ル傷病手當金又ハ出產手當金ノ支給額ハ之ヲ算入セス

前項ノ療養ノ給付、產院收容又ハ助産ノ手當ニ要シタル器具、機械、藥劑物其ノ他ノ施設ニシテ其ノ效用二年以上ニ亘ルモノニ付テハ之ニ要シタル費用ヲ其ノ施設ノ豫定使用年數ニ應シ各年均等ニ分割シテ之ヲ計算ス

第九十二條 健康保險法第七十條第二項ニ規定スル被保險者ノ員數ハ其ノ年度内ノ各月末ニ於ケル被保險者ノ總數ノ平均數トス

第九十三條 健康保險組合ニ對スル國庫負擔金ノ總額カ被保險者一人ニ付一年平均二圓ノ割合ヲ超ユル場合ニ於テ各健康保險組合ニ對スル國庫負擔金ノ額ハ健康保險法第七十條第二項ノ國庫負擔金ノ總額ノ限度ニ於テ各健康保險組合ノ保險給付ニ要スル費用ノ額ニ應シ厚生大臣之ヲ定ム

第九十四條 保險料額ハ各月ニ付各被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乘シテ得タル額トス但シ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日カ十六日以後ナル場合又ハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日カ二日以後十六日以前ナル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料額ハ之ヲ半額トス

被保險者ノ資格ヲ取得シタル月ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ拘ラス其ノ間ニ於ケル保險料額ハ被保險者タリシ日數カ十六日以上ナルトキハ其ノ月分ノ保險料額ノ全額、十五日以内ナルトキハ其ノ半額トス

第九十條ノ二 健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ關スル保險料ハ其ノ被保險者ト爲リタル日カ十七日以後ナル

二〇二

トキハ其ノ翌月ヨリ、十六日以前ナルトキハ其ノ月ヨリ之ヲ算定ス

前項ノ場合ニ於テ毎月ノ保險料ノ算定方法ハ前條ノ例ニ依ル但シ前項後段ノ場合ニ於テ被保險者ト爲リタル日カ二日以後十六日以前ナルトキハ其ノ月分ノ保險料額ハ保險料月額ノ半額トス

第九十五條 保險料率ハ保險者之ヲ定ム

保險料率ハ各被保險者ニ付同一ナルコトヲ要ス但シ性質上事故多キ業務ニ使用セラルル被保險者ニ付テハ其ノ業務ノ種類ニ從ヒ異ナル保險料率ヲ定ムルコトヲ得

第九十六條 性質上事故多キ業務ニ使用セラルル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ厚生大臣ハ事業主ノ負擔スヘキ割合ヲ保險料額ノ三分ノ二迄増加スルコトヲ得

第九十七條 標準報酬ノ等級カ第一級ニ該當スル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ事業主ノ負擔額ハ標準報酬ノ等級カ第二級ニ該當スル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ事業主ノ負擔スヘキ額ト同額トス但シ其ノ額カ保險料ノ全額ヲ超過スル場合ニ於テハ事業主ノ負擔額ハ保險料ノ全額トス

第九十七條ノ二 被保險者カ健康保險法第六十二條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ其ノ日カ其ノ屬スル月ノ全日數ニ亘ル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料額ノ全額ヲ、其ノ屬スル

第二章 國民健康保險法 第二條 健康保險法

月ノ全日數ニ亘ラサルモ十五日以上ナル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料額ノ半額ヲ徵收セス

第九十八條 事業主ハ被保險者ニ對シ金錢ヲ以テ報酬ヲ支拂フ場合ニ於テハ被保險者ノ負擔スヘキ前月分ノ保險料ヲ報酬ヨリ控除スルコトヲ得

事業主ハ被保險者カ其ノ事業ニ使用セラレサルニ至リタルトキニ限り前項ノ規定ニ拘ラス報酬支拂ノ際ニ於テ被保險者ノ負擔スヘキ前月分及其ノ月分ノ保險料ヲ控除スルコトヲ得

第九十九條 事業主ハ保險料ノ控除ニ關スル計算書ヲ作製シ被保險者ノ請求ニ應ジテ閲覧セシムヘシ

第一百條 毎月ノ保險料ハ翌月末日迄ニ之ヲ納付スヘシ

被保險者保險料納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告知シタル保險料額カ當該納付義務者ノ納付スヘキ保險料額ヲ超過スルコトヲ知リタルトキハ其ノ超過部分ニ對スル納入ノ告知ハ其ノ告知ヲ爲シタル後六月以内ノ期日ニ於テ納付セラルヘキ保險料ニ對シ之ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ納入ノ告知ヲ爲シタルモノト看做シタルトキハ被保險者ハ其ノ旨ヲ當該納付義務者ニ通知スヘシ

第一百一條 健康保險組合ハ第九十八條又ハ前條ノ規定ニ拘ラス規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第一條ノ二 保險料納付義務者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ納期前ト雖モ保險料ハ納付シテ之ヲ徵收スルコトヲ得

- 一 國稅、府縣稅其ノ他ノ公課ノ滞納ニ因リ滞納處分ヲ受クルトキ
二 被保險者ノ使用セラルル工場又ハ事業場ヲ廢止シタルトキ
三 強制執行ヲ受クルトキ
四 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
五 競賣ノ開始アリタルトキ
六 法人カ解散ヲ爲シタルトキ

本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和二年三月十二日勅令第三十條)
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
附則 (昭和二年七月一日勅令第二百二十號)
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和四年五月二十九日勅令第四百十三號)
本令ハ昭和四年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和四年七月三十一日勅令第二百五十號)
本令ハ昭和四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和九年十二月二十八日勅令第四百號)
本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和十五年五月三十一日勅令第三百七十三號)
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第七十九條ノ二、第七十九條ノ三及第八十七條ノ二乃至第八十七條ノ四ノ規定並ニ第八十九條ノ二ノ規定中第七十九條ノ三及第八十七條ノ二ノ規定ニ關スル部分ハ昭和十四年法律第七十四號中第一條第二項、第七條第二項、第四十七條第二項第三項、第六十二條第四項及第六十九條ノ二ノ規定並ニ第七十六條ノ改正規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ第四號第一項ノ規定ニ依リ昭和十四年六月一日現在ニ依リ定メタル標準報酬又ハ同日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ取得シタル際ニ定メタル標準報酬ハ昭和十五年七月三十一日迄其ノ效力ヲ有ス

附則 (昭和十六年十月勅令第九百六號)
本令ハ昭和十六年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス
附則 (昭和十七年一月二十三日勅令第三十五號)
本令ハ昭和十七年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

健康保險法施行規則

(大正十五年七月一日)
(內務省令第三十六號)

【附則】
昭和二年十月內務省令第四〇號、同三年四月同第一二號、同四年六月同第一八號、同七年七月同第二九號、同九年十二月同第三九號、同十年五月同第二九號、同十三年一月同第三〇號、同十五年五月同第一九號、同十六年七月同第二二號、同十七年一月同第五號、同年三月同第二〇號改正

健康保險法施行規則左ノ通定ム
健康保險法施行規則

第一章 總則

第一條 政府ノ管掌スル保險ハ健康保險法第十三條又ハ同法第十五條ノ規定ニ依リ被保險者ニ付テハ其ノ被保險者ノ使用セラルル工場、事業場又ハ工場若ハ事業場ナキ事業ニ在リテハ事務所(以下事業所ト總稱ス)ノ所在地ヲ管轄スル地方長官(東京府ニ在リテハ警視廳以下之ニ同シ)ニ於テ、同法第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ニ付テハ其ノ被保險者ノ住所地方管轄スル地方長官ニ於テ之ヲ掌ル

第二條 被保險者同時ニ二以上ノ業務ニ使用セラルル場合ニ於テ被保險者二以上アルトキ又ハ其ノ使用セラルル事業所カ異リタル道府縣ニ在ルトキハ被保險者ハ其ノ保險ヲ掌ルヘキ地方

昭和十六年勅令第六百十四號ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ被保險者ノ資格ヲ有スル者及本令施行後昭和十七年三月三十一日迄ノ間ニ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ノ標準報酬ニシテ同期間内ニ於テ效力ヲ有スルモノハ從前ノ規定ニ依ルモノトス

本令施行ノ際現ニ被保險者ノ資格ヲ有シ昭和十七年四月一日迄引續キ被保險者ノ資格ヲ有スル者ノ標準報酬ニシテ同年同月同日以後效力ヲ有スルモノハ第三條乃至第五條ノ改正規定ニ依ル此ノ場合ニ於テ其ノ者ハ第四條第一項ノ改正規定ノ適用ニ付本令施行ノ日ニ於テ被保險者ノ資格ヲ取得シタルモノト看做ス

前項ノ規定ニ依リ標準報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ第五條第三號ノ改正規定中一月間トアルハ三月間トシ報酬ノ額トアルハ報酬ノ額ノ三分ノ一トス

本令施行後昭和十七年三月三十一日迄ノ間ニ被保險者ノ資格ヲ取得シ同年四月一日迄引續キ被保險者ノ資格ヲ有スル者ノ標準報酬ニシテ同年四月一日以後效力ヲ有スルモノハ第三條乃至第五條ノ改正規定ニ依ル
準備金ノ管理方法ニシテ本令施行前監督官廳ノ認可ヲ受ケタルモノハ第五十二條ノ改正規定ニ依リ規約ヲ以テ定メタルモノト看做ス

附則 (昭和十七年三月二十八日勅令第二百九十一號)
本令ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

長官又ハ健康保險組合ヲ定メ其ノ旨ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ

地方長官又ハ健康保險組合前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ關係アル地方長官又ハ健康保險組合ニ之ヲ通知スヘシ

第一項ノ被保險者カ労働者年金保險ノ被保險者ナル場合ニ於テハ同項ノ届書ニ労働者年金保險ノ被保險者番號ノ記載及番號ヲ附記スヘシ

被保險者カ労働者年金保險ノ被保險者ナル場合ニ於テ地方長官ニ對シ労働者年金保險法施行規則第二條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルトキハ併セテ第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルモノト看做ス

第三條 事業主ハ健康保險法施行令第四條第二項ノ規定ニ依リ被保險者ノ標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキハ遲滞ナク様式第一號ニ依ル届書ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ提出スヘシ但シ政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者(以下政府管掌被保險者ト稱ス)ニシテ労働者年金保險ノ被保險者タル者ニ關シテハ様式第一號ノ二ニ依ル届書(正副二通)ヲ提出スヘシ

第四條 地方長官又ハ健康保險組合ハ事業主ヲシテ地方長官又ハ健康保險組合ノ定ムル日ノ現在ニ於ケル被保險者ノ報酬月額算定ノ基礎ノ届出ヲ爲サシムルコトヲ得

事業主ハ前項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲ス場合ニ於テハ様式第一號ニ依ル届書ヲ提出スヘシ但シ政府管掌被保險者ニシテ労働者年金保險ノ被保險者タル者ニ關シテハ様式第一號ノ二ニ依ル届書(正副二通)ヲ提出スヘシ

第五條 前二條、第十條第一項又ハ第十一條ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ地方長官又ハ健康保險組合ハ被保險者ノ標準報酬ヲ決定シ遲滞ナク之ヲ事業主ニ通知スヘシ標準報酬ヲ變更シタルトキ亦同シ

事業主前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ被保險者ニ告知スヘシ
第五條ノ二 健康保險組合ハ保險料其ノ他健康保險法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ徵收セントスルトキハ徵收スヘキ金額ヲ決定シタル上納付義務者ニ對シ其ノ徵收金ノ種類並ニ納付スヘキ金額、期日及場所ヲ記載シタル書面ヲ以テ納付ノ告知ヲ爲スヘシ但シ即納セシムル場合ニ於テハ口頭ヲ以テ納入ノ告知ヲ爲シ

〔通二四號〕

スコトヲ得

第六條 健康保險法第九條ノ規定ニ依ル質問又ハ検査ヲ爲ス場合ニ於テハ當該官吏ハ様式第二號ニ依ル證書ヲ携帯スヘシ

第六條ノ二 健康保險法施行令第五條ノ二ノ規定ニ依リ發スル督促狀ハ様式第二號ノ二ニ依ル

第六條ノ三 廳府廳ノ官吏滯留處分ノ爲財産ノ差押ヲ爲ス場合ニ於テ示スヘキ其ノ命令ヲ受ケタル官吏タルノ證書ハ様式第二號ノ三ニ依ル

第六條ノ四 健康保險法第十一條ノ四ノ規定ニ依ル公告ハ道府廳廳(東京府ニ在リテハ審視廳以下之ニ同シ)、廳府廳健康保險出張所又ハ健康保險組合ノ事務所ニ之ヲ爲スヘシ

第七條 健康保險法施行令第九十九條ノ規定ニ依ル保險料ノ控除ニ關スル計算書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ事業所毎ニ之ヲ備フヘシ

- 一 被保險者ノ氏名
- 二 控除シタル保險料ノ金額
- 三 控除シタル年月日

第八條 事業主ハ健康保險ニ關スル書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ二年間保存スヘシ

第八條ノ二 第三條、第四條、第五條第二項、第十條、第十一條第二項、第十七條、第十九條、第二十條、第二十三條第三項及第五項、第二十三條ノ二第一項及第二項、第四十五條第三項、第五十三條第二項、第五十四條第二項、第五十六條第二項、第五十六條ノ四第二項、第五十七條第二項、第六十二條第二項及第六十四條ノ規定ニ依リ事業主ノ爲スヘキ事項ニ付テハ事業主ハ其ノ代理人ヲ選任シ之ヲ處理セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ事業主代理人ヲ選任シタルトキハ地方長官又ハ健康保險組合ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ
又ハ健康保險組合ニ對シ労働者年金保險法施行規則第七十六條第二項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルトキハ併セテ前項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルモノト看做ス

第八條ノ三 事業主又ハ被保險者カ地方長官又ハ健康保險組合ニ對シ届出、申請又ハ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ様式ノ定アルモノヲ除キ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ届書、申請書又ハ請求書ニ添付スヘキ書類ハ届出、申請又ハ請求ノ際之ヲ提出スヘシ但シ被保險者ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス
口頭ヲ以テ届出、申請又ハ請求シタル者アル場合ニ於テ地方

長官又ハ健康保險組合必要アリト認ムルトキハ其ノ届出、申請又ハ請求ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ複製シ覆開カセタル上之ニ記名調印セシムヘシ

第九條 保險者ニ於テ被保險者ノ健康ヲ保持スル爲ニ爲スコトヲ得ル施設左ノ如シ

一 保健ニ關スル宣傳

二 傷病ノ豫防ニ關スル施設

三 健康診断ニ關スル施設

四 保養ニ關スル施設

五 前各號ニ掲ケタルモノノ外保險者ニ於テ必要アリト認ムル施設

第九條ノ二 健康保險法第二十三條ノ二第二項ノ規定ニ依ル利用料ニ關スル事項ハ保險者之ヲ定ム

保險者ハ健康保險組合ナル場合ニ於テハ前項ノ利用料ニ關スル事項ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二章 被保險者

第十條 健康保險法第十三條又ハ同法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ取得シタル者アルトキハ事業主ハ様式第四號ニ依リ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ

但シ政府管掌被保險者ノ資格ヲ取得スルト同時ニ労働者年金保險ノ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ニ關シテハ様式第四號ノ二ニ依ル届書(正副二通)ヲ提出スヘシ

健康保險法第十三條又ハ同法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ事業主ハ様式第五號ニ依リ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ

但シ政府管掌被保險者ノ資格ヲ喪失スルト同時ニ労働者年金保險ノ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニ關シテハ様式第五號ノ二ニ依ル届書(正副二通)ヲ提出スヘシ

第十一條 健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ同法第十三條又ハ同法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタルトキハ其ノ被保險者ト爲リタル際其ノ旨ヲ事業主ニ申出ツヘシ

前項ノ規定ニ依ル申出又ハ労働者年金保險法施行規則第四條ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ事業主ハ前條第一項ノ届書ニ其ノ申出アリタル事項ヲ附記スヘシ

第十二條 被保險者同時ニ二以上ノ業務ニ使用セラルトキハ其ノ各業務ニ付左ニ掲ケタル事項ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ

第十四條 健康保險法第十九條第一項ノ認可申請書ニハ左ニ掲ケタル事項ヲ記載シ同條第二項ノ規定ニ依ル同意アリタルコトヲ認ムルニ足ル書類ヲ添付スヘシ

一 事業主ノ氏名及住所

二 事業所ノ名稱及所在地

前項ノ被保險者カ労働者年金保險ノ被保險者ナル場合ニ於テハ同項ノ届書ニ左ニ掲ケタル事項ヲ附記スヘシ

一 労働者年金保險ノ被保險者ニ關シテノ記載及番號

二 各業務ニ付當該被保險者ノ使用セラルル事業所カ労働者年金保險法第十六條ノ工場、事業場又ハ事業ニ該當スルコトノ有無

第十三條 健康保險法第十四條第一項ノ認可申請書ニハ左ニ掲ケタル事項ヲ記載シ同條第二項ノ規定ニ依ル同意アリタルコトヲ認ムルニ足ル書類ヲ添付スヘシ

一 事業ノ名稱及種類

二 事業所ノ名稱及所在地

三 被保險者ト爲ルヘキ者ノ員數

健康保險法第十四條第一項ノ認可申請ト同時ニ其ノ事業ニ付健康保險組合ノ設立又ハ事業ノ編入ニ關スル規約變更ノ認可申請アル場合ニ於テハ前項ノ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第十四條 健康保險法第十九條第一項ノ認可申請書ニハ左ニ掲ケタル事項ヲ記載シ同條第二項ノ規定ニ依ル同意アリタルコトヲ認ムルニ足ル書類ヲ添付スヘシ

一 事業ノ名稱及種類

二 事業所ノ名稱、所在地及被保險者證ノ記載

三 被保險者ノ員數

四 組合ノ設立アル場合ニ於テハ其ノ組合ノ名稱及所在地並ニ其ノ組合カ解散スルモノナルトキハ其ノ旨

第十五條 健康保險法第二十條ノ規定ニ依リ繼續シテ被保險者ト爲ルコトノ申請書ニハ左ニ掲ケタル事項ヲ記載スヘシ

一 住所

二 資格喪失ノ年月日

三 資格喪失ノ際使用セラレタル事業所ノ名稱及被保險者證ノ記載

四 資格喪失後繼續シテ保險給付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ給付ヲ受ケサルニ至リタル年月日

五 健康保險法施行令第十條ノ期限經過後申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由

六 資格喪失ノ際屬シタル廳府縣（廳府縣健康保險出張所ノ分掌ニ屬シタルトキハ其ノ出張所）又ハ健康保險組合ノ名稱

第十六條 健康保險法第二十一條ニ規定スル猶豫期間ハ健康保險法施行令第百條ニ規定スル納付期日經過後十日トス

第十七條 被保險者健康保險法第六十二條第一項各號ノ一ニ該當シ又ハ該當セサルニ至リタルトキハ事業主ハ左ノ掲クル事項ヲ五日以内ニ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ
一 被保險者ノ氏名

二 被保險者ノ記載及番號

三 該當ノ事實及該當シ又ハ該當セサルニ至リタル年月日
健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者又ハ被保險者ノ資格喪失後保險給付ヲ受クル者健康保險法第六十二條第一項各號ノ一ニ該當シ又ハ該當セサルニ至リタルトキハ其ノ者ニ於テ前項ノ例ニ依リ之ヲ届出ツヘシ

第十八條 事業主ニ變更アリタルトキハ事業主及事業主タリシ

者違背ヲ以テ左ニ掲クル事項ヲ五日以内ニ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ

一 事業ノ種類及新舊名稱
二 工場、事業場又ハ工場若ハ事業場ナキ事業ニ在リテハ事務所ノ所在地及被保險者ノ記載
三 變更ノ年月日及事由

四 事業主及事業主タリシ者ノ氏名及住所

五 労働者年金保險ノ被保險者ヲ使用スル事業所ニ在リテハ其ノ旨

事業ノ一部ニ付事業主ノ變更アリタル場合ニ於テハ前項各號ノ外左ニ掲クル事項ヲ届出ツヘシ

一 被保險者ノ氏名

二 被保險者ノ記載及番號

三 労働者年金保險ノ被保險者ニ在リテハ労働者年金保險ノ被保險者ニ對シ之ヲ爲スヘシ

第十九條 健康保險法第十三條ノ事業所カ同條ノ規定ニ該當セサルニ至リタルトキハ事業主ハ左ニ掲クル事項ヲ五日以内ニ

〔連三四號〕

〔連三四號〕

地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ
一 工場又ハ事業ノ名稱

二 被保險者ノ記載

三 該當セサルニ至リタル年月日及事由

四 労働者年金保險法第十六條ノ工場、事業場又ハ事業ニ在リテハ其ノ旨

第二十條 左ニ掲クル事項ニ變更アリタルトキハ事業主ハ變更ノ事項及年月日ヲ五日以内ニ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ

一 事業ノ名稱又ハ種類

二 事業主ノ氏名又ハ住所

三 工場、事業場又ハ工場若ハ事業場ナキ事業ニ在リテハ事務所ノ名稱、所在地又ハ種類

四 被保險者ノ氏名

當該事業所カ労働者年金保險法第十六條ノ工場、事業場又ハ事業ニ該當スルモノナルトキハ事業主ハ其ノ旨ヲ前項ノ附書ニ附記スヘシ

被保險者カ労働者年金保險ノ被保險者ナルトキハ事業主ハ第

一項第四號ノ附書ニハ其ノ者ノ労働者年金保險ノ被保險者ニ對シ之ヲ爲スヘシ

第二十條ノ二（削除）

第二十一條 健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者其ノ氏名又ハ住所ヲ變更シタルトキハ變更ノ事項及年月日ヲ五日以内ニ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ

被保險者道府縣ニ涉リ住所ヲ變更シタルトキハ前項ノ届出ハ各地方長官ニ對シ之ヲ爲スヘシ

第二十二條 第十條第一項又ハ第十一條ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ地方長官又ハ健康保險組合ハ其ノ被保險者ノ被保險者ノ記載及番號ヲ漏滞ナク事業主ニ通知スヘシ其ノ記載及番號ヲ變更シタルトキ亦同シ

第二十三條 地方長官又ハ健康保險組合ハ様式第六號ニ依ル被保險者ヲ被保險者ニ交付スヘシ
地方長官又ハ健康保險組合被保險者ヲ交付セントスルトキハ之ヲ被保險者ヲ使用スル事業主ニ送付スヘシ但シ被保險者健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ナル場合ニ於テハ之ヲ被保險者ニ送付スヘシ

前項ノ規定ニ依ル被保險者ノ返付アリタルトキハ事業主ハ
 返納ナク之ヲ被保險者ニ交付スヘシ
 被保險者ノ第一面ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ其ノ改
 訂ヲ受クル爲被保險者ハ返納ナク之ヲ事業主ニ提出スヘシ
 前項ノ規定ニ依ル被保險者ノ提出アリタルトキハ事業主ハ
 返納ナク其ノ改訂ヲ爲シ被保險者ニ返付スヘシ
 健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者(健康保險組合ニ
 屬スル者ヲ除ク)道府縣ニ涉リ住所ヲ變更シタルトキハ返納
 ナク被保險者ヲ地方長官ニ提出シテ其ノ改訂ヲ受クヘシ
 被保險者證ヲ滅失若ハ毀損シタルトキ又ハ被保險者證ニ餘白
 ナキニ至リタルトキハ被保險者ハ返納ナク被保險者證ヲ添へ
 (滅失ノ場合ヲ除ク)其ノ旨地方長官又ハ健康保險組合ニ届出
 ツヘシ
 第二十三條ノ二 被保險者其ノ資格ヲ喪失シタルトキ又ハ其ノ
 保險者ニ變更アリタルトキハ事業主ハ返納ナク被保險者證ヲ
 回收シ之ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ返納スヘシ但シ被保
 險者健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タル場合ニ於
 テハ其ノ者ニ於テ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ健康保險組合

ニ返納スヘシ
 被保險者ノ資格喪失ニ因リ事業主ノ返納スヘキ被保險者證ハ
 之ヲ資格喪失届ニ添付スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アル場合
 ハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ資格喪失届ニ
 附記スヘシ
 被保險者(健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ヲ除ク)
 其ノ資格ヲ喪失シタルトキ又ハ其ノ保險者ニ變更アリタルト
 キハ其ノ被保險者證ヲ五日以内ニ事業主ニ提出スヘシ但シ資
 格喪失後引續キ保險給付ヲ受クル者ニ在リテハ此ノ限ニ在ラ
 ス
 被保險者ノ資格喪失後引續キ保險給付ヲ受クル者ハ第一項ノ
 規定ニ拘ラス其ノ給付ヲ受ケサルニ至リタル日ヨリ五日以内
 ニ之ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ返納スヘシ
 第一項ノ資格喪失ノ原因死亡ナルトキ又ハ第三項ノ規定ニ依
 リ被保險者證ヲ提出スヘキ者若ハ前項ノ規定ニ依リ被保險者
 證ヲ返納スヘキ者死亡シタルトキハ埋葬料又ハ健康保險法第
 四十九條第二項若ハ同法第五十六條第二項ノ埋葬費ノ支給ヲ
 受クヘキ者ニ於テ其ノ請求ノ際被保險者證ヲ地方長官又ハ健

【道二四號】

健康保險組合ニ返納スヘシ

第三章 健康保險組合

第二十條 健康保險組合設立ノ認可申請書ニハ左ニ掲クル書
 類ヲ添付スヘシ但シ健康保險法第三十二條ノ規定ニ依リ組合
 設立ノ認可申請ヲ爲ス場合ニ於テハ第五號及第六號ノ書類ハ
 之ヲ添付スルコトヲ要セス
 一 規約
 二 事業計畫書
 三 保険料率及其ノ計算ノ基礎ヲ示シタル書面
 四 初年度ノ收入支出ノ豫算
 五 健康保險法施行令第十一條ノ書面ノ寫(被保險者ニ送付
 ノ年月日ヲ記載スルコト)
 六 組合ノ設立ニ付健康保險法第二十九條第一項ノ同意アリ
 タルコトヲ認ムルニ足ル書類
 第二十五條 健康保險法又ハ之ニ基ク命令ノ規定ニ依リ組合ニ
 於テ監督官廳ノ認可ヲ受クヘキ事項カ組合會ノ議決ヲ經タル
 モノナルトキハ申請書ニ其ノ會議録ノ寫ヲ添付スヘシ
 認可申請ヲ爲スヘキ事項カ健康保險法施行令第四十條ノ規定
 ニ依リ理事專決シタルモノナルトキハ申請書ニ專決ノ理由ヲ
 記載シタル書面ヲ添付スヘシ
 第二十六條 組合合併ノ認可申請書ニハ合併スル各組合ノ名稱

【道一〇號】

及被保險者ノ員數並合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ成
 立スル組合ノ名稱ヲ記載シ左ニ掲クル書類ヲ添付スヘシ
 一 合併後ニ於ケル事業計畫書
 二 認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調製シタル各組合ノ財
 産目錄
 三 合併ニ因リテ成立スル組合アル場合ニ於テハ其ノ組合ノ
 規約、保険料率及其ノ計算ノ基礎ヲ示シタル書面並初年度
 ノ收入支出ノ豫算
 合併後存續スル組合アル場合ニ於テハ合併ニ伴フ規約變更ノ
 認可申請ハ合併ノ認可申請ト同時ニ之ヲ爲スヘシ
 第二十七條 組合分割ノ認可申請書ニハ分割スル組合、分割後
 存續スル組合及分割ニ因リテ成立スル組合ノ名稱及被保險者
 ノ員數ヲ記載シ左ニ掲クル書類ヲ添付スヘシ
 一 分割後ニ於ケル各組合ノ事業計畫書
 二 認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調製シタル分割スル組
 合ノ財産目錄
 三 分割ニ因リテ成立スル組合ノ承繼スル權利義務ノ限度ヲ
 示シタル書面
 四 分割ニ因リテ成立スル組合ノ規約、保険料率及其ノ計算
 ノ基礎ヲ示シタル書面並初年度ノ收入支出ノ豫算
 前條第二項ノ規定ハ分割後存續スル組合ノ分割ニ伴フ規約變

更ノ認可申請ニ之ヲ準用ス
 第二十八條 組合解散ノ認可申請書ニハ解散スル組合ノ名稱及被保險者ノ員數ヲ記載シ認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調製シタル財産目録ヲ添附スヘシ
 第二十九條 被保險者タル組合員當時ナキニ至リタル爲組合解散シタルトキハ其ノ事由、組合ノ名稱及解散ノ年月日ヲ理事タリシ者ニ於テ運滞ナク厚生大臣ニ届出ツヘシ
 前項ノ届書ニハ解散ノ日ノ現在ニ依リ調製シタル財産目録ヲ添附スヘシ
 第三十條 組合ノ設立アル事業ノ編入又ハ削除ニ關スル規約變更ノ認可申請書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ
 一 規約變更後ニ於ケル事業計畫書
 二 健康保險法施行令第七十條ノ書面ノ寫(被保險者ニ送付ノ年月日ヲ記載スルコト)
 三 事業ノ編入又ハ削除ニ付健康保險法施行令第六十七條第一項ノ同意アリタルコトヲ認ムルニ足ル書類
 第三十一條 組合合併又ハ分割シタル場合ニ於テハ理事又ハ理事タリシ者ハ其ノ組合員タリシ被保險者ノ保險ヲ管掌スル組合ノ理事ニ對シ運滞ナク其ノ事務ノ引繼ヲ爲スヘシ
 事務引繼完了シタルトキハ引繼ヲ爲シタル者及引繼ヲ受ケタル者運滞ノ上完了ノ日ヨリ五日以内ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ届

〔四一〇號〕

第四十條 組合ハ様式第十號ニ依リ毎月ノ事業狀況ヲ翌月十五日迄ニ地方長官ニ報告スヘシ
 第四十一條 組合原簿ハ様式第十一號ニ依リ之ヲ調製スヘシ
 第四十二條 組合ハ被保險者臺帳、歳入簿、歳出簿及現金出納簿ヲ備フヘシ
 前項ノ帳簿ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム
 第四十三條 組合ニ於テ組合員ノ權利義務ニ關スル規定ヲ定メ又ハ改廢シタルトキハ運滞ナク之ヲ地方長官ニ報告シ且組合員ニ周知セシムヘシ
 第四十四條 理事長就職、退職又ハ死亡シタルトキハ組合ハ運滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ
 第四十四條ノ二 健康保險法第四十七條第二項ノ規定ニ依リ結核性疾病ヲ指定ス
 第四章 保險給付
 第四十五條 被保險者療養ノ給付ヲ受ケムトスルトキハ被保險者ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師(以下保險醫ト稱ス)ニ之ヲ申出ツヘシ
 前項ノ申出ヲ爲ス場合ニ於テハ被保險者ハ被保險者證ヲ其ノ保險醫ニ提出スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此ノ限ニ達ラズ此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止モ其後運滞ナク被保險

第二章 國民健康保險法 第二款 健康保險法

九九

出ツヘシ
 第三十二條 前條ノ規定ハ組合解散シタル場合及組合其ノ組合ノ設立アル事業ヲ削除シタル場合ニ之ヲ準用ス
 第三十三條 組合會ノ會議録ニハ議長及出席議員二人以上之ニ署名スヘシ
 第三十四條 收入支出ノ豫算ハ様式第七號ニ依リ之ヲ調製シ毎年二月末日迄ニ認可申請ヲ爲スヘシ
 第三十五條 保險料率ノ認可申請書ニハ計算ノ基礎ヲ示シタル書面ヲ添附スヘシ
 第三十六條 決算ハ様式第七號ニ依リ、事業報告ハ様式第八號ニ依リ之ヲ調製シ年度經過後四月以内ニ組合會ノ認定ニ付スヘシ
 決算及事業報告ハ組合會ノ認定ヲ經タル後運滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ
 前二項ノ規定ニ依リ事業報告ヲ組合會ノ認定ニ付シ又ハ地方長官ニ届出ツル場合ニ於テハ之ニ年度末現在ニ依リ調製シタル財産目録ヲ添附スヘシ
 第三十七條 財産目録ハ様式第九號ニ依リ之ヲ調製スヘシ
 第三十八條 組合ハ事業報告ニ付組合會ノ認定ヲ經タルトキハ年度末現在ニ依リ調製シタル財産目録ト共ニ之ヲ公示スヘシ
 第三十九條 (削除)

〔四一〇號〕

被保險者其ノ保險醫ニ提出スヘシ
 第一項ノ申出ヲ爲ス場合ニ於テ疾病又ハ負傷カ業務上ノ事由ニ因ルモノナルトキハ被保險者ハ之ニ關スル事業主ノ證明書ヲ提出スヘシ
 健康保險法第四十八條第一項ノ規定ニ依リ繼續シテ療養ノ給付ヲ受ケルコトヲ得ル者療養ノ給付ヲ受ケムトスルトキハ其ノ給付ヲ受ケルコトヲ得ルモノナルコトヲ保險者ニ於テ承認シタル書面ヲ提示シテ之ヲ保險醫ニ申出ツヘシ
 第四十六條 被保險者被保險者ニ對シ療養ヲ爲ササルニ至リタルトキハ運滞ナク被保險者證ヲ被保險者ニ返還スヘシ但シ其ノ被保險者死亡シタルトキハ埋葬料又ハ健康保險法第四十九條第二項若ハ同法第五十六條第二項ノ埋葬費ノ支給ヲ受クヘキ者ニ之ヲ返還スヘシ
 保險醫前項ノ規定ニ依リ被保險者證ヲ返還スルトキハ被保險者證ノ第二面ニ掲クル事項ヲ之ニ記載スヘシ
 第一項ノ場合ニ於テ保險醫第四十七條第一項ノ規定ニ依リ療養證明書ヲ交付シタルモノナルトキハ第一項ノ規定ニ拘ラス其ノ療養證明書ノ全部返納アリタルトキハ被保險者證ヲ返還スヘシ但シ保險醫變更ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
 第四十七條 被保險者療養ヲ受ケル被保險者同時ニ他ノ保險醫

〔四一〇號〕

一 被保険者若シテ必要アリトキハ被保険者證明書ヲ受ケテ
保險醫ニ就テ様式第十三號ニ依ル療養證明書ノ交付ヲ受ケ
前項ノ療養證明書ハ之ヲ被保険者證ト看做シ前二條ノ規定ヲ
適用ス

被保険者保險醫ヨリ療養證明書ノ返還ヲ受ケタルトキハ之ヲ
交付シタル保險醫(保險醫變更ノ場合ニ於テハ變更後ノ保險
醫)ニ還附ナク返納スヘシ

第四十八條 (削除)

第四十九條 被保険者ノ療養ノ爲必要アリト認ムルトキハ保險
醫ハ地方長官又ハ健康保險組合ノ承認ヲ受ケ他ノ保險醫ノ診
療ヲ求ムルコトヲ得
緊急ノ必要アリト認ムルトキハ保險醫ハ前項ノ規定ニ拘ラス
直ニ他ノ保險醫ノ診療ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其
ノ診療後還附ナク其ノ事由ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ報
告スヘシ

第五十條 保險醫被保険者ヨリ處方箋ヲ求メラレタルトキハ正
當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

被保険者ニ對シ處方箋ヲ交付スル場合ニ於テハ保險醫ハ様式
第十四號ニ依リ之ヲ作製スヘシ

第五十一條 被保険者前號ノ規定ニ依ル處方箋ニ依リ藥劑ノ支
給ヲ受ケタルトキハ

給付受ケタルトキハ保險者ノ指定シタル藥劑師(以下傷
險藥劑師ト稱ス)キ之ヲ提出スヘシ

第五十二條 療養ノ給付ヲ受ケタル疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲
ニ因ルモノナルトキハ被保険者ハ其ノ事實、第三者ノ氏名及
住所(氏名又ハ住所不詳ナルトキハ其ノ旨)並疾病又ハ負傷
ノ狀況ヲ還附ナク地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ

第五十三條 被保険者健康保險法施行令第七十七條第一項第一
號ノ規定ニ依リ療養費ノ支給ヲ受ケムトスルトキハ左ニ掲ク
ル事項ヲ届出ツヘシ

- 一 被保険者證ノ記載及番號
- 二 疾病又ハ負傷ノ年月日及原因
- 三 疾病又ハ負傷カ業務上ノ事由ニ因ルモノナリヤ否ヤノ別
- 四 疾病又ハ負傷ノ經過
- 五 療養ノ給付ヲ受ケタル困難ナル事由
- 五ノ二 被保険者醫師又ハ齒科醫師ニ就キ診療ヲ受ケタル場
合ニ於テハ其ノ醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及住所並診療ノ内
容、期間及之ニ要シタル費用ノ額
- 六 疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ其ノ
事實並第三者ノ氏名及住所(氏名又ハ住所不詳ナルトキハ
其ノ旨)

〔道100〕

〔道104〕

ル事業主ノ證明書ヲ前項ノ届書ニ添付スヘシ
被保険者特別ノ事情ニ因リ前項ノ證明書ヲ受ケルコトヲ得サ
ルトキハ届書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

被保険者醫師又ハ齒科醫師ニ就キ診療ヲ受ケタル場合ニ於テ
ハ其ノ診療ニ要シタル費用ノ額ニ關スル證據書類ヲ第一項ノ
届書ニ添付スヘシ

第一項ノ届書ニハ被保険者證ヲ添付スヘシ
地方長官又ハ健康保險組合ハ被保険者證ノ第二面ニ掲ケル事
項ヲ被保険者證ニ記載シ之ヲ被保険者ニ返付スヘシ

第五十四條 健康保險法施行令第七十七條第一項第二號ノ承認
ノ申請書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載スヘシ

- 一 前條第一項第一號乃至第四號及第六號ニ掲ケル事項
- 二 診療ヲ受ケムトスル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及住所並其
ノ診療ヲ受ケムトスル事由

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第五十五條 健康保險法施行令第七十七條第一項第二號ノ療養
費支給ノ申請書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載スヘシ

- 一 被保険者證ノ記載及番號
- 二 診療ノ内容及期間
- 三 診療ニ要シタル費用ノ額
- 四 診療ヲ受ケサルニ至リタルトキハ其ノ事由

第五十六條 被保險者健康保險法施行令第七十四條第一項
第四號及第五號ノ給付ヲ受ケ又ハ病院ニ入院セムトスルトキ
ハ第五十三條第一項第一號乃至第三號ニ掲ケル事項ヲ記載シ
タル申請書ヲ提出スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此
ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後還附ナク
申請書記載事項及已ムヲ得サル事由ヲ記載シタル届書ヲ提出
スヘシ

前項ノ申請書又ハ届書ニハ左ノ事項ヲ記載シタル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スヘシ

一 健康保險法施行令第七十四條第一項第四號及第五號ノ給付又ハ入院ヲ必要ト認ムル事由

二 給付ノ内容及之ニ要スヘキ費用ノ見積額

三 病院ニ入院セムトスル場合ニ在リテハ入院ノ期間

第五十六條ノ三 被保險者健康保險法第四十七條第二項ノ規定ニ依ル療養ノ給付ヲ受ケムトスルトキハ其ノ給付ヲ受ケルコトヲ得ヘキコトヲ保險者ニ於テ認定シタル書面ヲ提出シテ之ヲ保險醫ニ申出ツヘシ

被保險者前項ノ規定ニ依ル認定ヲ受ケムトスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スヘシ

一 被保險者證ノ記號及番號

二 療養ノ給付開始年月日

前項ノ申請書ニハ其ノ疾病カ結核性疾病ナルコトヲ證スルニ足ル醫師ノ意見書ヲ添附スヘシ

前二項ノ規定ハ健康保險法第四十七條第二項ノ期間ニ支給スル補給金ニ付之ヲ準用ス

第五十六條ノ四 被保險者其ノ世帯員ノ疾病又ハ負傷ニ關シ健康保險法施行令第八十七條ノ三ノ規定ニ依リ入院、處置又ハ手術ノ承認ヲ受ケムトスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此ノ

限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク申請書記載事項及已ムヲ得サル事由ヲ記載シタル届書ヲ提出スヘシ

一 被保險者證ノ記號及番號

二 診療ヲ受ケントスル世帯員ノ氏名、生年月日及被保險者トノ続柄

三 發病又ハ負傷ノ年月日及原因

四 診療ヲ受ケントスル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及住所

前項ノ申請書又ハ届書ニハ世帯員タルコトヲ證スルニ足ル事業主ノ證明書及左ノ事項ヲ記載シタル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スヘシ

一 入院又ハ一回十圓以上ノ處置又ハ手術ヲ必要ト認ムル事由

二 診療ノ内容及費用

三 入院診療ノ場合ニ在リテハ入院ノ期間

第五十六條ノ五 世帯員カ保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ健康保險法施行令第八十七條ノ三ノ規定ニ依ル療養ヲ受ケタル場合ニ於テハ地方長官又ハ組合ハ同令第八十七條ノ三第四項ノ規定ニ依リ被保險者ニ對シ支給スヘキ補給金ヲ當該保險醫又ハ保險藥劑師ニ對シ支拂フモノトス

前項ノ規定ニ依ル補給金支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ
一 被保險者證ノ記號及番號

1012

二 診療ヲ受ケタル世帯員ノ氏名

三 診療ノ内容

四 診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及住所

五 診療ニ要シタル費用ノ額

第五十六條ノ六 世帯員保險醫以外ノ者ニ就キ療養ヲ受ケタル場合ニ於ケル補給金支給ノ請求書ニハ前條第二項各號ニ掲クル事項ノ外診療ニ要シタル費用ノ額ニ關スル證據書類ヲ添附スヘシ

第五十七條 傷病手當金支給ノ請求者ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一 被保險者證ノ記號及番號

二 發病又ハ負傷ノ年月日及原因

三 疾病又ハ負傷カ業務上ノ事由ニ因ルモノナリヤ否ヤノ別

四 勞務ニ服スルコト能ハサリシ期間

五 被保險者病院、病舎又ハ療養所ニ收容セラレタルトキハ專ラ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者ノ氏名、生年月日及被保險者トノ続柄、收容セラレタル病院、病舎又ハ療養所ノ名稱及所在地或收容セラレタル年月日及期間

六 傷病手當金カ健康保險法施行令第八十五條該但書ノ規定ニ依ルモノナルトキハ其ノ報酬ノ額及期間

七 傷病手當金カ健康保險法施行令第八十六條ノ規定ニ依ル

モノナルトキハ受ケルコトヲ得ヘカリシ報酬ノ額及期間、受ケルコト能ハサリシ報酬ノ額及期間並健康保險法施行令第八十五條但書ノ規定ニ依リ受ケタル傷病手當金ノ額及報酬ヲ受ケルコト能ハサリシ事由

前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ
一 前項第四號ノ期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書及事業主ノ證明書

二 疾病又ハ負傷カ業務上ノ事由ニ因ルモノナルトキハ之ニ關スル事業主ノ證明書

療養ノ給付ヲ受ケルコト困難ナル爲療養費ノ支給ヲ受ケル場合ニ於テハ傷病手當金支給ノ請求書ニハ前項各號ノ書類ハ之ヲ添附スルコトヲ要セス此ノ場合ニ於テハ請求書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付引續キ傷病手當金ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ請求書ニ第二項第二號ノ證明書ヲ添附スルコトヲ要セス

第五十八條 健康保險法第四十八條第一項ノ規定ニ依ル療養ノ給付ノ申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一 被保險者ノ氏名並被保險者證ノ記號、番號

二 療養ノ給付ヲ受ケムトスル期間

三 療養ニ要スル費用ノ見積額

1011

四 現ニ療養ヲ受ケル保險醫ノ氏名及住所

五 健康保險法第四十八條第一項第一號ノ場合ニ於テハ事業主ニ於テ扶助ヲ爲スヘキ義務ノ基ク法令ノ條項

六 健康保險法第四十八條第二項ノ場合ニ於テハ擔保ノ種類、數量及價格又ハ費用ノ償還ニ付定メタル方法

第五十九條 埋葬料支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ市町村長ノ埋火葬認許證ノ寫、死亡診斷書ノ寫又ハ被保險者ノ死亡ニ關スル事業主若ハ第八條ノ二ノ規定ニ依ル代理人ノ證明書ヲ添付スヘシ

- 一 死亡シタル被保險者ノ氏名並被保險者證ノ記號及番號
- 二 死亡ノ年月日及原因
- 三 死亡カ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ其ノ事實並第三者ノ氏名及住所(氏名又ハ住所不詳ナルトキハ其ノ旨)
- 四 被保險者ト請求者トノ続柄
- 五 死亡カ業務上ノ事由ニ因ルモノナリヤ否ヤノ別

第六十條 健康保險法第四十九條第二項又ハ同法第五十六條第二項ノ埋葬費支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ市町村長ノ埋火葬認許證ノ寫、死亡診斷書ノ寫又ハ被保險者ノ死亡ニ關スル事業主若ハ第八條ノ二ノ規定ニ依ル代理人ノ證明書及埋葬ニ要シタル費用ノ額ニ關スル證明書ヲ添付スヘシ

- 一 前條第一號乃至第三號ニ掲クル事項
- 二 埋葬ヲ行ヒタル年月日

- 三 埋葬ニ要シタル費用ノ額
- 四 死亡カ業務上ノ事由ニ因ルモノナリヤ否ヤノ別

第六十一條 分娩費支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ市町村長、醫師又ハ產婆ニ於テ出産又ハ死産ノ事實ヲ證明シタル書類ヲ添付スヘシ

- 一 被保險者證ノ記號及番號
- 二 分娩ノ年月日
- 三 死産ナルトキハ其ノ旨
- 四 分娩費カ健康保險法施行令第八十一條第一項ノ規定ニ依ルモノナルトキハ收容セラレタル産院ノ名稱及所在地又ハ助産ノ手當ヲ爲シタル醫師若ハ產婆ノ氏名及住所

第六十二條 出産手當金支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

- 一 被保險者證ノ記號及番號
- 二 分娩前ノ場合ニ於テハ分娩ノ豫定年月日、分娩後ノ場合ニ於テハ分娩アリタル年月日
- 三 勞務ニ服セザリシ期間
- 四 被保險者産院ニ收容セラレタルトキハ專ラ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者ノ氏名、生年月日及被保險者トノ続柄收容セラレタル産院ノ名稱及所在地並收容セラレタル年月日及期間

五 出産手當金カ健康保險法施行令第八十五條但書ノ規定ニ依ルモノナルトキハ其ノ報酬ノ額及期間

六 出産手當金カ健康保險法施行令第八十六條ノ規定ニ依ルモノナルトキハ受クルコトヲ得ヘカリシ報酬ノ額及期間、受クルコト能ハサリシ報酬ノ額及期間並健康保險法施行令第八十五條但書ノ規定ニ依リ受ケタル出産手當金ノ額及報酬ヲ受クルコト能ハサリシ事由

前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添付スヘシ

- 一 前項第三號ノ期間ニ關スル事業主ノ證明書
- 二 分娩ノ豫定年月日ニ關スル醫師又ハ產婆ノ意見書

前項第二號ノ意見書ニ付テハ第五十七條第四項ノ規定ヲ準用ス

第六十三條 (削除)

第六十四條 第五十三條、第二項第五十四條第二項、第五十六條第二項、第五十六條ノ三第三項、第五十六條ノ四第三項、第五十七條第二項、第五十九條乃至第六十一條及第六十二條第二項ノ規定ニ依ル醫師、齒科醫師若ハ產婆ノ意見書若ハ證明書又ハ事業主ハ市町村長ノ證明書ヲ添付スヘキ場合ニ於テ保險給付ノ請求書又ハ申請書ニ相當ノ記載ヲ受ケタルトキハ意見書又ハ證明書ヲ添付テ省略スルコトヲ得

第六十五條 (削除)

第六十六條 保險給付ヲ受ケムトスル者ヨリ第四十五條第三項、第五十三條第二項、第五十四條第二項、第五十六條第二項、第五十六條ノ四第二項、第五十七條第二項及第六十二條第二項ノ規定ニ依ル證明書ヲ求メラレタルトキハ事業主ハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス第六十四條ノ規定ニ依ル證明ノ記載ヲ求メラレタルトキ亦同シ

第六十六條ノ二 保險給付ヲ受ケムトスル者ヨリ第四十七條第一項ノ規定ニ依ル療養證明書、第五十六條ノ二第二項、第五十六條ノ三第三項、第五十六條ノ四第二項、第五十七條第二項若ハ第六十二條第二項ノ規定ニ依ル意見書又ハ第六十一條ノ規定ニ依ル證明書ヲ求メラレタルトキハ保險醫ハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス第六十四條ノ規定ニ依ル意見又ハ證明ノ記載ヲ求メラレタルトキ亦同シ

第六十六條ノ三 地方長官又ハ健康保險組合ハ保險醫及保險藥劑師ニ就キ療養ノ給付ニ關シ帳簿書類ヲ檢閲シ、説明ヲ求メ又ハ報告ヲ徵スルコトヲ得

第六十七條 健康保險組合ハ其ノ管掌スル保險ノ給付ニ關スル手續ニ付第四十五條乃至第六十二條ノ規定ニ拘ラス別段ノ定メ爲スコトヲ得

第六十八條 (削除)

第六十九條 (削除)

第七十條 (削除)

第七十一條 本章ニ於テ被保險者トアルハ被保險者ノ資格喪失後保險給付ヲ受クル者ヲ含ムモノトス

第七十二條乃至第七十九條 (削除)

第六章 罰則

第八十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

- 一 第三條、第四條第二項、第十條、第十一條第二項、第十七條第一項及第十八條乃至第二十條ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届出ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者
- 二 第五條第二項規定ニ依ル標準報酬ノ告知ヲ怠リタル者
- 三 正當ノ事由ナクシテ第六十六條ノ規定ニ依ル請求ニ應セズ又ハ虚偽ノ證明ヲ爲シタル者
- 四 第七條ノ規定ニ依ル保険料ノ控除ニ關スル計算書ノ備付若ハ記載ヲ怠リ、虚偽ノ記載ヲ爲シ又ハ故ナク被保險者ニ對シ閲覧ヲ拒ミタル者
- 五 第八條ノ規定ニ依ル書類ノ保存ヲ怠リタル者
- 第八十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
- 一 第十一條第一項ノ規定ニ依ル申出ヲ怠リ又ハ虚偽ノ申出ヲ爲シタル者

- 二 第十七條第二項、第二十一條第一項及第五十二條ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者
- 三 事業主以外ノ者ニシテ第二十條ノ二第二項ノ規定ニ依ル被保險者證ノ返納又ハ提出ヲ怠リタル者
- 四 第二十三條ノ二第一項但書、第四項若ハ第五項ノ規定ニ依ル被保險者證ノ返納又ハ同條第三項ノ規定ニ依ル被保險者證ノ提出ヲ怠リタル者
- 五 第四十七條第三項ノ規定ニ依ル療養證明書ノ返納ヲ怠リタル者

第八條、第九條、第十三條乃至第十六條、第十九條、第二十一條、第二十四條乃至第四十四條、第六十七條、第八十條及第八十一條ノ規定ハ大正十五年七月一日ヨリ、第一條ノ規定ハ大正十五年十月一日ヨリ、第二條乃至第五條、第十條乃至第十二條、第十八條、第二十條、第二十二條及第二十三條ノ規定ハ大正十五年十一月一日ヨリ、第六條、第七條、第十七條、第四十五條乃至第六十六條及第六十八條乃至第七十九條ノ規定ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十條第一項ノ規定ニ依ル届出ノ期間ハ第十條ノ規定施行ノ日以前ニ於テ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ニ關シテハ第十條ノ規定施行ノ日ヨリ五日以内トス

附則 (昭和二年十月三日內務省令第四〇號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和三年四月七日內務省令第十二號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和四年六月二日內務省令第十八號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

ト雖モ之ヲ使用スルコトヲ妨ケス

附則 (昭和四年七月三十一日內務省令第二十九號)

本令ハ昭和四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和九年十二月二十九日內務省令第三十九號)

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和九年法律第十三號實施ノ爲ニ必要ナル事項ニ關シテハ昭和十年一月一日ヨリ之ヲ實施ス

本令施行前ニ交付シタル被保險者證ハ本令施行後ト雖モ之ヲ使用スルコトヲ妨ケス

本令施行前ニ地方官ノ交付ヲ受ケタル被保險者ハ本令施行後ト雖モ之ニ依リ費用ノ支給ヲ受クルコトヲ妨ケス此ノ場合ニ於ケル手續ハ從前ノ例ニ依ル

附則 (昭和十年五月一日內務省令第二十九號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和十五年五月三十一日厚生省令第十九號)

本令ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第八條ノ二ノ改正規定、第四十四條ノ二、第四十四條ノ三、第五十六條ノ三、第五十六條ノ四、第五十六條ノ五、第五十六條ノ六、第六十四條ノ改正規定、第六十六條ノ改正規定、第六十六條ノ二ノ改正

規定及第七十三條ノ改正規定並ニ様式第六號中(イ)ノ改正規定様式第七號中(イ)ノ改正規定、様式第八號中(イ)ノ改正規定及様式第十號ノ改正規定ハ昭和十四年法律第七十四號中第一條第二項、第七條第二項、第四十七條第二項第三項、第六十二條第四項及第六十九條ノ二ノ規定並ニ第七十六條ノ改正規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ交付シタル被保險者證ハ本令施行後ト雖モ之ヲ使用スルコトヲ妨ケス

附則 (昭和十七年一月三十日厚生省令第五號)

本令ハ昭和十七年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

事業主ハ昭和十七年二月一日ノ現在ニ依リ被保險者ノ報酬月額算定ノ基礎ニ關スル届書ヲ様式第一號ニ依リ同月十日迄ニ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ但シ政府管掌被保險者ニシテ労働者年金保險ノ被保險者タル者ニ關シテハ様式特第一號ニ依ル届書正副(二通)ヲ提出スヘシ

本令施行ノ日後昭和十七年四月一日前ニ於テ健康保險法第十三條又ハ同法第十五條ニ規定スル被保險者ノ資格ヲ取得シタル者アルトキハ事業主ハ第十條第一項又ハ第十一條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スノ外從前ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スヘシ

第二項又ハ前項ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ地方長官又ハ健康保險組合ハ標準報酬ヲ決定シ遲滞ナク之ヲ事業主ニ通知スヘシ

附則 (昭和十七年三月三十一日厚生省令第二十號)

本令ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第2號表式

第何號	何府(縣)何市(郡)何町(村)大字何何等地	昭和何年度	何々(款)	何々(項)
	何	何	何	何
種	昭知何年何月分保費料	一金貳拾錢	昭知何年何月分保費料	昭知何年何月何日
促	昭知何年何月何日	一金貳拾錢	昭知何年何月何日	昭知何年何月何日
狀	昭知何年何月何日	昭知何年何月何日	昭知何年何月何日	昭知何年何月何日

式第二號ノ二
 本條ノ條約八種、條約十種トシ厚キ款ヲ用ヒ中央點線ノ所ヨリ二ツ折ト爲シ裁斷
 ニ「健康保險検査区」ト記ス

第九條 行政官廳ハ必要アリト認ムルトキハ、
 該保險者ノ異動及報酬並ニ保費料付ノ決定
 ニ關シ當該官吏ヲシテ該保險者又ハ該保險
 者ヲシテ該官吏ノ職務所ニ就キ關係者ニ對シテ
 質問ヲ爲シ又ハ根據特種罰則ノ他ノ檢査ヲ爲
 サシムルコトヲ得
 第八十七條 正當ノ理由ナクテ第九條ノ規
 定ニ依ル當該官吏ノ異動ニ對シテ檢査ヲ爲サ
 ス者ハ處罰ノ符號ヲ爲シ又ハ其ノ檢査ヲ拒
 絶シ或ハ妨ケ若ハ忌避シタル者ハ三百圓以下ノ
 罰金ニ處ス

第何號
 昭和何年何月何日交付
 保險院
 府印

【第11號表式】

式第三號 (附錄)
 本條ノ條約八種、條約五種トシ厚キ款ヲ用テ、

何道府縣廳又ハ廳府縣何健康保險出張所
 官職氏名

健康保險徵收金簿
 納者財產選擇電票
 廳府
 廳印

【第11號表式】
 備考
 一 延滞金ヲ徵收セサルモノニ在リテハ「一納期限ノ翌日ヨリ保險料額百圓
 付一日參錢ノ割合ニ依ル金額 延滞金」及「指定期限迄ニ保費料及督促手
 數料ヲ完納シタルトキハ延滞金ヲ徵收セズ」ノ文字ヲ記載セサルモノトス
 二 日本銀行ニ納付ヲ指定シタルトキハ本文ノ「納付スヘシ」ノ下ニ左ノ但書
 ヲ加フルモノトス
 「但シ同日ヲ經過シタルトキハ何道府縣廳又ハ廳府縣何健康保險出張所
 へ納付スルヲ要ス」
 三 保費料以外ノ徵收金ノ督促狀ハ本條式ニ準スヘシ

第二編 國民健康保險法 第二章 健康保險法

一、金
 一、金
 合計
 差引
 昭和何年何健康保險組合收入支出決算
 收入

支出
 經常部決算高
 臨時部決算高
 繰上繰下高

科	目	本年	前年	増減	附	記
一	健康保險收入					
二	二級 越金					
三	三級 越金					
四	四級 越金					
五	五級 越金					
六	六級 越金					
七	七級 越金					
八	八級 越金					
九	九級 越金					
十	十級 越金					
十一	十一級 越金					
十二	十二級 越金					
十三	十三級 越金					
十四	十四級 越金					
十五	十五級 越金					
十六	十六級 越金					
十七	十七級 越金					
十八	十八級 越金					
十九	十九級 越金					
二十	二十級 越金					
二十一	二十一級 越金					
二十二	二十二級 越金					
二十三	二十三級 越金					
二十四	二十四級 越金					
二十五	二十五級 越金					
二十六	二十六級 越金					
二十七	二十七級 越金					
二十八	二十八級 越金					
二十九	二十九級 越金					
三十	三十級 越金					
三十一	三十一級 越金					
三十二	三十二級 越金					
三十三	三十三級 越金					
三十四	三十四級 越金					
三十五	三十五級 越金					
三十六	三十六級 越金					
三十七	三十七級 越金					
三十八	三十八級 越金					
三十九	三十九級 越金					
四十	四十級 越金					
四十一	四十一級 越金					
四十二	四十二級 越金					
四十三	四十三級 越金					
四十四	四十四級 越金					
四十五	四十五級 越金					
四十六	四十六級 越金					
四十七	四十七級 越金					
四十八	四十八級 越金					
四十九	四十九級 越金					
五十	五十級 越金					

【附註】

科	目	本年	前年	増減	附	記
一	三級 入金					
二	四級 入金					
三	五級 入金					
四	六級 入金					
五	七級 入金					
六	八級 入金					
七	九級 入金					
八	十級 入金					
九	十一級 入金					
十	十二級 入金					
十一	十三級 入金					
十二	十四級 入金					
十三	十五級 入金					
十四	十六級 入金					
十五	十七級 入金					
十六	十八級 入金					
十七	十九級 入金					
十八	二十級 入金					
十九	二十一級 入金					
二十	二十二級 入金					
二十一	二十三級 入金					
二十二	二十四級 入金					
二十三	二十五級 入金					
二十四	二十六級 入金					
二十五	二十七級 入金					
二十六	二十八級 入金					
二十七	二十九級 入金					
二十八	三十級 入金					
二十九	三十一級 入金					
三十	三十二級 入金					
三十一	三十三級 入金					
三十二	三十四級 入金					
三十三	三十五級 入金					
三十四	三十六級 入金					
三十五	三十七級 入金					
三十六	三十八級 入金					
三十七	三十九級 入金					
三十八	四十級 入金					
三十九	四十一級 入金					
四十	四十二級 入金					
四十一	四十三級 入金					
四十二	四十四級 入金					
四十三	四十五級 入金					
四十四	四十六級 入金					
四十五	四十七級 入金					
四十六	四十八級 入金					
四十七	四十九級 入金					
四十八	五十級 入金					

【附註】

第二編 國民健康保險法 第二章 健康保險法

二倍利手當金	一倍	二何	四何
三倍準備費	一倍	二何	二何
四分換費	二何	一何	一何
三等	一何	二何	一何
五助費	二何	一何	一何
六助費手當金	一何	一何	一何
四補給金	一何	一何	一何
一補給金	一何	一何	一何
五保備庫費	一何	一何	一何

【第三編】

六組會費	一何	一何	一何
一元金庫費	一何	一何	一何
二利子	一何	一何	一何
七管轄費	一何	一何	一何
一事務所費	一何	一何	一何
二病院費	一何	一何	一何
三何	一何	一何	一何
八病院費	一何	一何	一何

【第三編】

(一) 被保險者数
イ 異動及現在

種別	前年度末現在		本年度中増		本年度中減		本年度末現在	
	男	女	男	女	男	女	男	女
強制被保險者								
任意被保險者								
任意被保險者 （包括被保險者）								
合計								

備考

- 一 被保險者トアルハ健康保險法第十三條ノ規定ニ依ル被保險者、任意被保險者トアルハ健康保險法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ヲ指シ、以下之ニ依ル。
- 二 組合ノ設立アル事業ノ主要製品ノ製造又ハ作業ノ内容ヲ附記スヘシ。
- 三 健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者アルトキハ、種別欄ニ任意被保險者ノ種別ヲ附記スヘシ。

種別	第一條第二條第三條第四條第五條第六條第七條第八條第九條第十條		第十一條第十二條第十三條第十四條第十五條		計
	男	女	男	女	
強制被保險者					
任意被保險者					
合計					

1111

任意被保險者 種別	計		男		女	
	男	女	男	女	男	女
第一條第二條第三條第四條第五條第六條第七條第八條第九條第十條						
第十一條第十二條第十三條第十四條第十五條						
計						

備考

- 一 年度末現在ニ依ルヘシ。
- 二 健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者アルトキハ種別欄ニ任意被保險者ノ種別ヲ附記スヘシ。
- 三 本項ニハ理事長及理事ノ氏名及住所（被保險者タル理事ニ在リテハ工場、事業場又ハ事業ニ於ケル場所ノ種別及理事長代理者又ハ常務理事アルトキハ其ノ旨）ヲ記載スヘシ。
- 四 六 保険成積

（ハ） 保険給付ノ件数、日数及費用額

種別	男		女		計
	日数	費用額	日数	費用額	
療養ノ給付					
療養ノ費用					
傷病手当金					
計					

種別	給付金	補給	集積	備考
計				

備考
 一 健康保険法第四十八條第一項ノ規定ニ依リ療養ノ給付ノ分ハ×印ヲ附シ區別シテ之ヲ記載スヘシ
 二 同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付數回ニ分テテ給付ヲ爲シタル場合ト雖此ノ數回分ヲ合シテ一件トシテ之ヲ記載スヘシ
 三 組合力別給付、産院其ノ他ノ設備ヲ有スル場合ニ於テ其ノ設備ニ依リ療養ノ給付、産院收容又ハ助産ノ手當ヲ爲シタルトキハ之ニ要シタル費用額ハ助産ノ手當ヲ爲シタルトキハ之ニ要シタル費用ハ分給費中ニ算入スルモノトス
 四 療養ノ給付ノ費用額ヲ男ト女トニ區別シ録キモノアルトキハ其ノ總額ノミヲ記載スルモ妨ケナレ
 五 産院收容又ハ助産ノ手當ヲ爲シタルトキハ之ニ要シタル費用ハ分給費中ニ算入スルモノトス

種別	計	女	男	療養ノ給付		死亡シタルモノ		其ノ他		計	
				件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
計											

種別	計	女	男	療養ノ給付		死亡シタルモノ		其ノ他		計	
				件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
計											

第二編 國民健康保險法 第二章 健康保險法令

健康證明書

被保険者ノ記號及番號	(氏名)
被 保 險 者	(男女別) (生年月)
	(住 所)
工場、事業場又ハ事務所	(名 稱)
	(所在地)
現ニ療養ヲ爲ス傷病名及給付開始年月日	
發 行 年 月 日	
發 行 者	何府(縣)何市(郡)何町(村)大字何何番地 醫師(齒科醫師) 何 某◎
本證明書ニ依リテ爲シタル療養ノ給付	傷病名
	開始日 終了日 終了事由 備考 認 印

- 備考
- 一 本證明ニ依リテ爲シタル療養ノ給付ニ關シテ事項ハ健康證明書ニ依リテ療養ヲ爲シタル被保険者ニ於テ其ノ健康證明書返還ノ際記載スルニ付テハ
 - 二 本證明書ニ依リテ爲シタル療養ノ給付ニ關シテ記載ニ付テハ第六號備考四ノイ乃至ヘニ準スルニ付
 - 三 工場、事業場又ハ事務所ノ欄ノ記載ニ付テハ第六號備考六ニ準スルニ付

【第二四號】

健康第十四號

被保険者ノ記號及番號	處 方 書
患 者	所屬府縣 又ハ 組合ノ名稱
年 月 日	年 月 日
用 量	用 量
位用期間	開始昭和 年 月 日 終了昭和 年 月 日
保險者印	診療所ノ名稱、所在地又ハ保險者ノ住所

健康保險用

【第二四號】

一 所屬府縣又ハ健康保險組合ノ名稱ニハ被保険者ノ屬スル府縣又ハ健康保險組合ノ名稱ヲ記載スルニ付

二 健康保險組合ニ於テハ本様式ニ依リテ得但シ被保険者ノ記載及番號並ニ使用期間ノ開始及終了年月日ノ記載ハ之ヲ省略スルコトヲ得ス

第三編 國民健康保險法 第二章 健康保險法令

又ハ其ノ揭示板ニ少クトモ七日間揭示シテ之ヲ爲スヘシ
第五條ノ二 事業主又ハ被保險者ヨリ口頭ニ依ル届出、申請又
ハ請求ヲ受ケタルトキハ必要ナル事項ヲ聽取シ之ニ基キ書面
ヲ調製シ必要アリト認ムルトキハ該調製カセタル上之ニ記名調
印セシムヘシ

施行規則第八條ノ三第二項ノ規定ニ依ル被保險者ヨリ提出ア
リタル書類ハ前項ノ書面ニ之ヲ添附シ置クヘシ

第二章 帳簿ニ關スル事項

第六條 廳府縣ニハ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

- 一 健康保險組合蓋帳(大正十五年十月
內務省令第四十九號) 様式第一 一號
- 二 被保險者蓋帳 様式第二 二號
- 三 工場蓋帳 様式第三 三號
- 四 嶺山蓋帳 様式第三號ニ準ス
- 四ノ二 專業蓋帳 様式第三號ノ二
- 五 任意包括專業蓋帳 様式第四 四號
- 六 被保險者證未返納整理簿 様式第五 五號
- 七 任意繼續被保險者名簿 様式第六 六號
- 八 法第六十二條該當者名簿 様式第七 七號
- 九 專業主代理人名簿 様式第八 八號
- 十 被保險者證再交付簿 様式第九 九號
- 十一 保險醫名簿 様式第十 十號

- 十二 保險齒科醫名簿 様式第十二號
- 十三 保險藥劑師名簿 様式第十三號
- 十四 保險產婆名簿 様式第十四號
- 十五 指定外醫師齒科醫師承認簿 様式第十五號
- 十六 延長診療認定簿 様式第十六號
- 十七 繼續療養承認簿 様式第十七號
- 十八 對診承認簿 様式第十八號
- 十九 入院手術等承認簿 様式第十八號ノ二
- 十九ノ二 世帯員診療承認簿 様式第十八號ノ二
- 二十 看護承認簿 様式第十九號
- 二十一 移送承認簿 様式第二十號
- 二十二 十圓以上齒科診療意見簿 様式第二十一號
- 二十三 齒科補綴意見簿 様式第二十二號
- 二十四 料金表外齒科診療意見簿 様式第二十一號
ニ準ス
- 二十五 助産ノ手當受給資格證明書交付簿 様式第二十三號
- 二十六 病院收容承認簿 様式第二十四號
- 二十七 健康保險檢査證交付簿 様式第二十五號
- 二十八 健康保險徵收金滯納財産差押證票交付簿 様式第二十六號

第七條

被保險者蓋帳ハ「カード」ニ記號及番號ヲ附スベシ
一 被保險者蓋帳ノ記號ハ左ノ方法ニ依リ工場、事業場又ハ
事務所毎ニ異ルモ左ノ附スベシ

(イ) 記號ハ平假名「いろは」(わ、え、お及ル)四字ヲ除キ
わ、い、え、お、をト看做シ取扱フモノトス以下之
(イ)ノ中工場、事業場又ハ事務所ノ名稱第一音ヲ
用フモノトシ名稱中「何業」又ハ「合資會社」、「株式會
社」等ノ文字ヲ冠セルモノニ付テハ其ノ文字ハ名稱ニ屬
セザルモノトシテ取扱フコト

(例)

- 工場、事業場又ハ事務所ノ名稱 記號
- 伊藤製材株式會社本所工場 記號
- 北海電氣株式會社旭川出張所 記號
- 東京鐵道株式會社電車部 記號
- 河合組運送店 記號
- 土木業竹中組 記號
- 九十九鐵結工場 記號
- 止野製菓所 記號
- 丸ノ内タクシ 記號
- 合資會社佐藤鐵物工場 記號
- 京都鐵物工場 記號

第三節 國民健康保險法 第二章 健康保險法

第七條

被保險者蓋帳ハ「カード」ニ記號及番號ヲ附スベシ
二 被保險者蓋帳ノ記號ハ左ノ方法ニ依リ工場、事業場又ハ
事務所毎ニ異ルモ左ノ附スベシ

(イ) 記號ハ平假名「いろは」(わ、え、お及ル)四字ヲ除キ
わ、い、え、お、をト看做シ取扱フモノトス以下之
(イ)ノ中工場、事業場又ハ事務所ノ名稱第一音ヲ
用フモノトシ名稱中「何業」又ハ「合資會社」、「株式會
社」等ノ文字ヲ冠セルモノニ付テハ其ノ文字ハ名稱ニ屬
セザルモノトシテ取扱フコト

(例)

- 工場、事業場又ハ事務所ノ名稱 記號
- 伊藤製材株式會社本所工場 記號
- 北海電氣株式會社旭川出張所 記號
- 東京鐵道株式會社電車部 記號
- 河合組運送店 記號
- 土木業竹中組 記號
- 九十九鐵結工場 記號
- 止野製菓所 記號
- 丸ノ内タクシ 記號
- 合資會社佐藤鐵物工場 記號
- 京都鐵物工場 記號

第三節 國民健康保險法 第二章 健康保險法

第二章 伊豆電機株式會社 第二條 伊豆電機株式會社

イモロニ以上アルトキハ一ノ工場、事業場又ハ事務所
ニ付テハイ及ロノ規定ニ依リ他ノ工場、事業場及事務所
ニ付テハイ及ロノ規定ニ依リテ附シタル假名ノ下ニ「イ
ろハ」ヲ順次一字宛附加スルコト此ノ場合ニ於テ「いろ
ハ」ニ全部盡シタルモ尙名稱ノ第一音同ジキ工場、事業場
又ハ事務所ナルトキハ此ノ例ニ準ジ更ニ「いろハ」ヲ順
次一字宛附加スルコト

(例)

工場、事業場又ハ事務所ノ名稱 記號
伊豆製材株式會社本所工場 S S
井木鐵工所 S S
伊豆鐵業所 S S
伊東聯合自動車株式會社伊東事務所 S S

井田車輛製作所
合名會社井田紡績工場
出雲鐵物會社會社工場
伊豆印刷工場
伊豆製材株式會社
伊豆鐵業所
伊東聯合自動車株式會社
井田車輛製作所
合名會社井田紡績工場
出雲鐵物會社會社工場
伊豆印刷工場
伊豆製材株式會社
伊豆鐵業所
伊東聯合自動車株式會社

一四三ノ六

伊豆電機株式會社下田
石岡砂利採取所
今井製鐵工場
岩本硝子工場

(ニ) 被保險者名義ノ記號ハ必要アリト認ムル場合ニ於テハ
郡市又ハ郡區等ノ地方別ニ從ヒイ及ロニ規定スル方法ニ
依リテ之ヲ附スルコト此ノ場合ニ於テハ郡市又ハ郡區等ノ
名稱ノ第一位ノ文字ヲ前項ノ規定ニ依ル平假名ニ冠スル
コト(郡市又ハ郡區等ノ名稱ノ第一位ノ文字同ジキモノ
ニ以上アルトキハ一ノ第一位ノ文字ニ依リ他ハ第二位又
ハ第三位ノ文字ニ依ル等ノ方法ヲ講ジ區別ヲ明カナラシ
ムルコト)

(例) 伊豆鐵工所
在東區 伊豆鐵工所
泉南郡 木村印刷工場
泉北郡 石川製材工場
(ホ) 任意繼續被保險者ニ付テハ其ノ被保險者名義ノ記號ハ
前二項ノ規定ニ拘ラズ「山」トモルコトヲ許スルコト
被保險者名義ノ記號ハ各記號等ニ一ヨリ始ムルコト

三 被保險者名義ノ記號及番號ハ特別ノ事由アル場合ヲ除ク
テ外之ヲ變更スルコトヲ得サルコト

四 被保險者名義ノ記號及番號ハ其ノ人ノ意思スル意味ヲ有
スルコトヲ得ルコトヲ得サルコト

第八條 被保險者名義ノ「カード」ハ常ニ記號別ニ分チ其ノ順序ヲ
一定シ更ニ記號毎ニ番號順ト爲シ必要ニ應ジ容易ニ抽出スル
コトヲ得ルコトヲ得ルコトヲ得ルコト

第九條 被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者其ノ他保險ヲ掌ルコト
ヲ要セサルニ至リタル被保險者ノ被保險者名義「カード」ハ前
條ニ準ジ別ニ之ヲ保存スヘシ

第十條 被保險者名義ノ「カード」ハ其ノ事項ニ關スル事項
ニ關シテ給料又ハ給與ニ準スヘキ食料及給與、住宅ノ利
益其ノ他金銭以外ノ給與又ハ利益ニ付テハ毎年二月一日ノ現
在ヲ以テ其ノ管内ノ時價ニ依リ標準價額ヲ定メ二月二十日迄
之ヲ公示スルコトヲ得ルコト

第十一條 被保險者名義ノ日額算定基礎額(健康保險法施行規則
以下施行規則ヲ稱ス)第五條)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ
爲スヘシ

一 標準報酬ヲ決定シ其ノ日額及等級ヲ圖書ノ「標準報酬調
査」記載シ必要アルトキハ被保險者名義ノ工場名義、山名
第二條 健康保險法施行規則

第二章 健康保險法施行規則

一 被保險者名義又ハ任意繼續被保險者ト照合スルコト
ニ決定通知書ヲ事業主ニ送付スルコト

二 被保險者名義ノ資格ヲ喪失シタル者其ノ他保險ヲ掌ルコト
ヲ要セサルニ至リタル被保險者ノ被保險者名義「カード」ハ前
條ニ準ジ別ニ之ヲ保存スヘシ

第十二條 被保險者名義ノ「カード」ハ其ノ事項ニ關スル事項
ニ關シテ給料又ハ給與ニ準スヘキ食料及給與、住宅ノ利
益其ノ他金銭以外ノ給與又ハ利益ニ付テハ毎年二月一日ノ現
在ヲ以テ其ノ管内ノ時價ニ依リ標準價額ヲ定メ二月二十日迄
之ヲ公示スルコトヲ得ルコト

第十三條 被保險者名義ノ「カード」ハ其ノ事項ニ關スル事項
ニ關シテ給料又ハ給與ニ準スヘキ食料及給與、住宅ノ利
益其ノ他金銭以外ノ給與又ハ利益ニ付テハ毎年二月一日ノ現
在ヲ以テ其ノ管内ノ時價ニ依リ標準價額ヲ定メ二月二十日迄
之ヲ公示スルコトヲ得ルコト

第十四條 被保險者名義ノ「カード」ハ其ノ事項ニ關スル事項
ニ關シテ給料又ハ給與ニ準スヘキ食料及給與、住宅ノ利
益其ノ他金銭以外ノ給與又ハ利益ニ付テハ毎年二月一日ノ現
在ヲ以テ其ノ管内ノ時價ニ依リ標準價額ヲ定メ二月二十日迄
之ヲ公示スルコトヲ得ルコト

第十五條 被保險者名義ノ「カード」ハ其ノ事項ニ關スル事項
ニ關シテ給料又ハ給與ニ準スヘキ食料及給與、住宅ノ利
益其ノ他金銭以外ノ給與又ハ利益ニ付テハ毎年二月一日ノ現
在ヲ以テ其ノ管内ノ時價ニ依リ標準價額ヲ定メ二月二十日迄
之ヲ公示スルコトヲ得ルコト

一 標準報酬ヲ決定シ其ノ日額及等級ヲ圖書ノ「標準報酬調
査」記載シ必要アルトキハ被保險者名義ノ工場名義、山名
第二條 健康保險法施行規則

一四三ノ七

第四 被保險者名簿、任意繼續被保險者名簿及任意繼續被保險者名簿、被保險者所屬定局（施行規則第二條第一項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 被保險者名簿ヲ整理スルコト
- 二 關係アル地方長官又ハ組合ニ對シテ左ノ事項ヲ通知スルコト
 一 地方長官又ハ組合ニ對シテ被保險者名簿「カード」ノ寫ノ送付方ヲ應會スルコト
- イ 被保險者ノ氏名
- ロ 事業主ノ氏名及住所
- ハ 被保險者ヲ使用スル工場、事業場又ハ事務所ノ名稱及所在地
- ニ 二以上ノ業務ニ使用セラルルニ至リタル年月日

- 三 各事業主ニ對シテ當該地方長官又ハ組合ヨリ被保險者ノ報明日額ヲ專業主別ニ分チタル額ヲ通知スルコト
- 第一項第二號ノ應會方キタルトキハ當該地方長官ハ選擇テ

- 一 被保險者名簿ヲ整理スルコト
- 二 被保險者名簿日數表ヲ整理スルコト
- 三 各事業主ニ對シテ當該地方長官又ハ組合ヨリ被保險者ノ報明日額ヲ專業主別ニ分チタル額ヲ通知スルコト
- 第一項第二號ノ應會方キタルトキハ當該地方長官ハ選擇テ

被保險者名簿「カード」ノ寫ヲ送付スヘシ

- 一 各事業主ニ對シテ被保險者ノ報明日額ヲ專業主別ニ分チタル額ヲ通知スルコト
- 二 被保險者名簿ヲ整理スルコト
- 三 被保險者名簿日數表ヲ整理スルコト

- 一 被保險者名簿ト照合シ任意繼續被保險者タル條件ヲ具備スルヤ否ヲ審査スルコト此ノ場合ニ於テ被保險者力資格喪失ノ際他ノ府縣又ハ組合ニ屬シタルモノナルトキハ當該地方長官又ハ組合ニ對シテ被保險者名簿「カード」ノ寫ノ送付方ヲ照會シ其ノ送付ヲ受ケ審査スルコト
- 二 被保險者名簿ヲ訂正修補スルコト但シ被保險者力被保險者ニ對シテ其ノ屬シタル府縣又ハ組合ニ屬シタルモノナルトキハ八章條被保險者名簿ヲ訂正修補スルコト
- 三 申請者力任意繼續被保險者タルコトヲ得ルモノナルトキハ專業主別ノ報明日額ヲ通知スルコト及被保險者力送付方任責繼續被保險者タルコトヲ得サルモノナルトキハ其ノ旨ヲ申請者ニ通知スルコト

- 一 被保險者名簿ヲ作成シ減失再交付、被損再交付若ハ無餘白再交付ノ印ヲ捺捺スルコト
- 二 被保險者名簿再交付ヲ整理スルコト
- 三 被保險者名簿ヲ當該被保險者ヲ使用スル事業主ニ交付スルコト

被保險者名簿、任意繼續被保險者名簿及任意繼續被保險者名簿、被保險者所屬定局（施行規則第二條第一項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 被保險者名簿ヲ整理スルコト
- 二 關係アル地方長官又ハ組合ニ對シテ左ノ事項ヲ通知スルコト
 一 地方長官又ハ組合ニ對シテ被保險者名簿「カード」ノ寫ノ送付方ヲ應會スルコト
- イ 被保險者ノ氏名
- ロ 事業主ノ氏名及住所
- ハ 被保險者ヲ使用スル工場、事業場又ハ事務所ノ名稱及所在地
- ニ 二以上ノ業務ニ使用セラルルニ至リタル年月日

- 三 各事業主ニ對シテ當該地方長官又ハ組合ヨリ被保險者ノ報明日額ヲ專業主別ニ分チタル額ヲ通知スルコト
- 第一項第二號ノ應會方キタルトキハ當該地方長官ハ選擇テ

- 一 被保險者名簿ヲ整理スルコト
- 二 被保險者名簿日數表ヲ整理スルコト
- 三 各事業主ニ對シテ當該地方長官又ハ組合ヨリ被保險者ノ報明日額ヲ專業主別ニ分チタル額ヲ通知スルコト
- 第一項第二號ノ應會方キタルトキハ當該地方長官ハ選擇テ

被保險者名簿「カード」ノ寫ヲ送付スヘシ

- 一 各事業主ニ對シテ被保險者ノ報明日額ヲ專業主別ニ分チタル額ヲ通知スルコト
- 二 被保險者名簿ヲ整理スルコト
- 三 被保險者名簿日數表ヲ整理スルコト

- 一 被保險者名簿ト照合シ任意繼續被保險者タル條件ヲ具備スルヤ否ヲ審査スルコト此ノ場合ニ於テ被保險者力資格喪失ノ際他ノ府縣又ハ組合ニ屬シタルモノナルトキハ當該地方長官又ハ組合ニ對シテ被保險者名簿「カード」ノ寫ノ送付方ヲ照會シ其ノ送付ヲ受ケ審査スルコト
- 二 被保險者名簿ヲ訂正修補スルコト但シ被保險者力被保險者ニ對シテ其ノ屬シタル府縣又ハ組合ニ屬シタルモノナルトキハ八章條被保險者名簿ヲ訂正修補スルコト
- 三 申請者力任意繼續被保險者タルコトヲ得ルモノナルトキハ專業主別ノ報明日額ヲ通知スルコト及被保險者力送付方任責繼續被保險者タルコトヲ得サルモノナルトキハ其ノ旨ヲ申請者ニ通知スルコト

- 一 被保險者名簿ヲ作成シ減失再交付、被損再交付若ハ無餘白再交付ノ印ヲ捺捺スルコト
- 二 被保險者名簿再交付ヲ整理スルコト
- 三 被保險者名簿ヲ當該被保險者ヲ使用スル事業主ニ交付スルコト

被保險者名簿、任意繼續被保險者名簿及任意繼續被保險者名簿、被保險者所屬定局（施行規則第二條第一項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 被保險者名簿ヲ整理スルコト
- 二 關係アル地方長官又ハ組合ニ對シテ左ノ事項ヲ通知スルコト
 一 地方長官又ハ組合ニ對シテ被保險者名簿「カード」ノ寫ノ送付方ヲ應會スルコト
- イ 被保險者ノ氏名
- ロ 事業主ノ氏名及住所
- ハ 被保險者ヲ使用スル工場、事業場又ハ事務所ノ名稱及所在地
- ニ 二以上ノ業務ニ使用セラルルニ至リタル年月日

- 三 各事業主ニ對シテ當該地方長官又ハ組合ヨリ被保險者ノ報明日額ヲ專業主別ニ分チタル額ヲ通知スルコト
- 第一項第二號ノ應會方キタルトキハ當該地方長官ハ選擇テ

- 一 被保險者名簿ヲ整理スルコト
- 二 被保險者名簿日數表ヲ整理スルコト
- 三 各事業主ニ對シテ當該地方長官又ハ組合ヨリ被保險者ノ報明日額ヲ專業主別ニ分チタル額ヲ通知スルコト
- 第一項第二號ノ應會方キタルトキハ當該地方長官ハ選擇テ

第二十四條 代理人選任届(施行規則第八條ノ二第二項)ヲ受ケタルトキハ事業主代理人名簿ヲ整理スヘシ

第二十五條 保險醫タルヘキ者ノ届書ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 保險醫指定ノ決定ヲ爲シ左ノ事項(齒科醫師ノ場合ハ專門科名ヲ除ク)ヲ公示スルコト
- 二 指定年月日
- 三 齒科醫師會、齒科醫師會又ハ公立病院ニ對シ指定シタル旨ヲ通知スルコト
- 四 保險醫名簿又ハ保險齒科醫名簿ヲ整理スルコト
- 五 保險醫ヲ辭セシムル及公示ノ事項ニ變更アリタルコト之届出ヲ受ケタルトキハ前項ノ手續ヲ共ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十六條 前條ノ規定ハ保險藥劑師、保險產婆ニ付之ヲ準用ス

第二十七條 (削除)

第二十八條 指定外醫師承認申請書(健康保險法施行令第七十七條第一項第二號、施行規則第五十四條)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 被保險者名簿ト照合スルコト
- 二 指定外醫師齒科醫師承認簿ヲ整理スルコト
- 三 承認書ヲ被保險者ニ送付スルコト
- 四 不承認ノ場合ニハ其ノ旨被保險者ニ通知スルコト
- 五 第二十八條ノ二 延長診療認定申請書(施行規則第五十六條ノ三)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ
- 六 資格期間及申請ノ内容ニ付審査決定スルコト
- 七 延長診療認定簿及被保險者名簿ヲ整理スルコト
- 八 保險醫ニ提出スヘキ旨ヲ附記シタル認定通知書ヲ被保險者ニ送付スルコト
- 九 不認定ノ場合ニハ其ノ旨被保險者ニ通知スルコト
- 十 前項ノ規定ハ世帯員ノ延長診療ニ付之ヲ準用ス

第二十九條 繼續療養承認申請書(施行規則第五十八條)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

CHICAGO

CHICAGO

第三十條 擔保ヲ擔保スル場合ニ於テハ其ノ擔保金タル現金又ハ確實ナル有價證券(記名股票ハ委任狀ヲ添付セシムル日(三ト)トシ其ノ金額又ハ見積額ハ療養ニ要スル費用ノ豫定額ニ下ラザルコト)

- 一 保證人ヲ定ムル場合ニ於テハ身元確實ト認めラルル者ヲ保證人タラシムルコト
- 二 療養中ニ於テ療養ニ要スル費用額ヲ第二號ニ豫定額ヲ超過シタルトキハ爾後ニ於ケル療養ニ要スル費用額ニ付前三號ノ例ニ依リ取扱フコト
- 三 繼續療養承認簿ニ記入スルコト
- 四 保險醫ニ提出スヘキ旨ヲ附記シタル承認書ヲ申請者ニ送付スルコト
- 五 不承認ノ場合ニハ其ノ旨申請者ニ通知スルコト
- 六 第三十條 繼續療養ニ要シタル費用ノ請求ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ
- 七 繼續療養承認簿ト照合シ請求額ノ内容ヲ審査スルコト
- 八 療養費用額ヲ支拂フト共ニ療養費用納入方ヲ繼續療養申請者ニ請求スルコト
- 九 繼續療養申請者ニ返還スルコト
- 十 繼續療養承認簿ヲ整理スルコト

第三十一條 對診承認申請書(施行規則第四十九條)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 被保險者名簿及保險醫名簿ト照合スルコト
- 二 被保險者名簿ノ療養ノ給付ノ「備考」欄ニ記入スルコト
- 三 對診承認簿ヲ整理スルコト
- 四 承認書ヲ被保險者ニ送付スルコト
- 五 不承認ノ場合ニハ其ノ旨被保險者ニ通知スルコト
- 六 第三十二條 保險醫又ハ官公立大學附屬醫院等ヨリ毎月ノ診療報告書ヲ受ケタルトキハ其ノ内容ヲ審査シ被保險者名簿、入院手術等承認簿及延長診療認定簿ヲ整理スヘシ
- 七 第三十三條 傷病手當金、出産手當金、埋葬料又ハ埋葬費ノ請求ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ
- 八 被保險者名簿ト照合シ給付ノ決定ヲ爲スコト
- 九 保險給付決定通知書ヲ請求者ニ送付スルコト
- 十 被保險者名簿ヲ整理スルコト
- 十一 第三十三條ノ二 分給費ノ請求ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ
- 十二 被保險者名簿及助産ノ手當受給資格證明書交付簿ト照合シ決定ヲ爲スコト
- 十三 分給費支給決定通知書ヲ被保險者ニ送付スルコト

二 被保險者遺骸及助産ノ手當受給資格證明書交付簿ヲ整理スルコト

第三十三條ノ三 助産ノ手當ヲ受ケントスル届出アリタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 被保險者遺骸ト照合スルコト
- 二 助産ノ手當ヲ受ケタル條件(施行令第八十二條)ヲ具備スル者ニ付テハ助産ノ手當受給資格證明書ヲ交付スルコト
- 三 助産ノ手當受給資格證明書交付簿ヲ整理スルコト
- 四 助産ノ手當受給資格證明書ヲ交付スヘカラサルモノニ付テハ其ノ旨被保險者ニ通知スルコト

第三十三條ノ四 被保險者緊急ノ場合ニ於テ助産ノ手當受給資格證明書ヲ交付ヲ受ケスルシテ保險産婆又ハ保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケ又ハ承認ヲ受ケスシテ他ノ地方長官ノ指定シタル保險産婆又ハ保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケ若ハ保險産婆又ハ保險醫ヲ變更シタル旨ノ届出ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 被保險者遺骸ト照合スルコト
- 二 緊急ノ事由ノ有無ニ付決定ヲ爲スコト
- 三 助産ノ手當受給資格證明書交付簿ヲ整理スルコト
- 四 助産ノ手當ヲ受ケタル條件(施行令第八十二條)ヲ具備シ且緊急ノ事由アルモノニ付テハ承認書ヲ交付スルコト

二 被保險者遺骸又助産ノ手當受給資格證明書交付簿ヲ整理スルコト

第三十條ノ三 入院手術等承認申請書(施行規則第五十六條ノ二)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 被保險者遺骸ト照合シ其ノ必要ノ有無及入院期間ヲ審査決定スルコト
- 二 被保險者ニ對シ承認書ヲ送付シ關係醫師會、齒科醫師會又ハ公立病院ニ其ノ旨ヲ通知スルコト
- 三 入院手術等承認簿、被保險者遺骸ヲ整理スルコト
- 四 承認ノ場合ニハ其ノ旨被保險者ニ通知スルコト
- 第三十五條ノ二 世帯員診療承認申請書(施行規則第五十六條ノ四)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ
- 一 被保險者遺骸ト照合スルコト
- 二 世帯員診療ヲ受ケタル條件ニ付審査スルコト(健康保險法施行令第八十七條ノ二)
- 三 申請内容ニ付其ノ必要ノ有無及入院期間ヲ審査決定スルコト
- 四 世帯員診療承認簿及被保險者遺骸ヲ整理スルコト
- 五 被保險者ニ對シ承認通知書ヲ送付スルコト
- 六 承認ノ場合ニハ其ノ旨被保險者ニ通知スルコト
- 第三十五條ノ三 補給金ノ請求(施行規則第五十六條ノ五)ヲ受

五 不承認ノ場合ハ其ノ旨被保險者ニ通知スルコト

第三十三條ノ五 被保險者保險産婆ニ就キ助産ノ手當ノ全部又ハ一部ヲ受ケサルニ付届出アリタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 被保險者遺骸ト照合スルコト
- 二 助産ノ手當ノ全部又ハ一部ヲ受ケサルニ付正當ノ事由ノ有無ヲ審査決定スルコト
- 三 助産ノ手當受給資格證明書交付簿ヲ整理スルコト
- 第三十三條ノ六 被保險者骨盤狹窄又ハ胎位異常其ノ他特別ノ場合ニ於テ保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケントスル申請アリタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ
- 一 被保險者遺骸ト照合スルコト
- 二 申請ノ内容ニ付審査決定ヲ爲スコト
- 三 被保險者ニ承認書ヲ送付スルコト
- 四 不承認ノ場合ハ被保險者ニ其ノ旨通知スルコト
- 五 助産ノ手當受給資格證明書交付簿ヲ整理スルコト
- 第三十條ノ三 補給金ノ請求ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ
- 一 第三十三條ニ準シ手續ヲ爲スコト此ノ場合ニ於テ療養費ノ請求カ健康保險法施行令第七十七條第一項第二號ニ依ルシテノアルトキハ指定外醫師會承認簿ト照合スルコト

ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 被保險者遺骸及世帯員診療承認簿ト照合スルコト
- 二 請求ノ内容ヲ審査シ其ノ支給額ヲ決定スルコト
- 三 世帯員診療承認簿ヲ整理スルコト
- 四 補給金支給決定通知書ヲ被保險者ニ送付スルコト
- 第三十六條 看護承認申請書及移送承認申請書(施行規則第五十六條ノ二)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ
- 一 被保險者遺骸ト照合シ看護又ハ移送ノ必要ノ有無ヲ決定シ看護承認ノ場合ニ於テハ附添期間ヲ決定スルコト
- 二 看護承認ニ付テハ入院手術等承認簿ト照合スルコト
- 三 看護承認簿又ハ移送承認簿ヲ整理スルコト
- 四 承認書ヲ被保險者ニ送付スルコト
- 五 不承認ノ場合ニハ其ノ旨被保險者ニ通知スルコト
- 第三十七條 看護又ハ移送ニ要シタル費用ノ請求ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ
- 一 看護承認簿、移送承認簿ト照合シ支拂金額ヲ決定スルコト
- 二 被保險者遺骸及看護承認簿又ハ移送承認簿ヲ整理スルコト
- 第三十八條 十圓以上ノ齒科診療、齒科補綴又ハ料金表外齒科診療承認ニ關シ齒科醫師會ヨリ意見ヲ求メラレタルトキハ左

第三十條 必要の有無ヲ審査シ之ニ對スル意見ヲ決定スルコト

一 齒科醫師會ニ對シ意見書ヲ送付スルコト

二 十圓以上齒科診療意見簿、齒科補綴意見簿又ハ料金表外齒科診療意見簿ヲ整理スルコト

第三十九條 (削除)

第四十條 傷病手當金及出產手當金ノ支給期日ヲ決定又ハ變更シタルトキハ遲滞ナク之ヲ公示スヘシ

第四十一條 (削除)

第四十二條 第三者ノ行為ニ因リテ生ジタル保險事故ニ付給付ヲ爲シタル場合ニ於テ第三者ニ對シ損害賠償ヲ請求ヲ爲スヘキモノニ付テハ遲滞ナク其ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十三條 健康保險法施行令第八十八條第一項ノ決定ヲ爲シタルトキ又ハ健康保險法第六十條、第六十一條、第六十三條若ハ第六十五條第二項又ハ第六十九條ノ二第一項ノ規定ニ依リ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲ササリシトキハ遲滞ナク被保險者遺族及關係者ヲ整理スヘシ

第七條 保險料ニ關スル事項

第四十條 同時ニ二以上ノ業務ニ使用セラルル被保險者ニ付各事業主ノ負擔スル保險料ノ額ハ其ノ被保險者ノ保險料額ヲ各業務ニ於ケル報酬日數ニ依リ按分シタル額トス

シタルモノヲ記入スルコト

チ 健康保險法施行令第百條ノ超過金額アルトキハ「超過金額」欄ニ記入シ前號ノ金額ヨリ之ヲ控除シテ得タル額ヲ「差引告知額」欄ニ記入スルコト

二 保險料控除日數表ハ左ノ順序ニ依リ之ヲ處理スルコト

イ 「資格取得」欄ニハ被保險者ノ資格取得日、被保險者資格變更日、被保險者報酬日額算定基礎日及被保險者報酬日額變更日ニ依リ整理シタル該當日數ヲ轉記スルコト

ロ 「資格喪失」欄ニハ被保險者資格喪失日、被保險者資格變更日及被保險者報酬日額變更日ニ依リ整理シタル該當日數ヲ轉記スルコト

ハ 「法第六十二條」欄ニハ法第六十二條該當不該當日ニ依リ整理シタル該當日數ヲ轉記スルコト

ニ 前二項ノ規定ニ依リ納入告知額ヲ決定シタルトキハ納入告知書ヲ事業主ニ送付スヘシ

第四十六條 任意繼續被保險者ヨリ徵收スヘキ毎月ノ保險料額ハ任意繼續被保險者保險料算定表(様式第二十九號)ニ依リ前條ニ準シ之ヲ決定スヘシ

第八章 雜則

第四十七條 組合ノ設立又ハ設立アル事業ノ編入アリタル爲政

第四十五條 強制被保險者又ハ任意包括被保險者ニ付事業主ヨリ徵收スヘキ毎月ノ保險料額ハ左ノ方法ニ依リ處理シタル保險料算定表(様式第二十七號)及保險料控除日數表(様式第二十八號)ニ依リ之ヲ決定スヘシ

一 保險料算定表ハ左ノ順序ニ依リ之ヲ處理スルコト

イ 「前月末現在人員」欄ニハ前月分ノ「月末人員」ヲ轉記スルコト

ロ 「其ノ後ノ増減」欄ニハ保險料控除日數表ヨリ資格取得及資格喪失數ヲ轉記スルコト

ハ 「月末人員」欄ニハ前月末現在人員ニ「其ノ後ノ増減」欄ノ増減ヲ差引シ記入スルコト

ニ 「調定人員」欄ニハ其ノ月ニ於テ被保險者タリシ總人員(前月末現在ニ「其ノ後ノ増減」欄ノ増ノミヲ加ヘタルモノ)ヲ記入スルコト

ホ 「延日數」欄ニハ調定人員ニ其ノ月ノ曆日數ヲ乘シテ得タル日數ヲ記入スルコト

ヘ 「控除日數」欄ニハ保險料控除日數表ノ「等級別分類」欄ヨリ轉記スルコト

ト 「差引負擔日數」欄ニハ延日數ヨリ控除日數ヲ控除シタル日數ヲ記入スルコト

「同上金額」欄ニハ各等級ノ保險料額ニ差引負擔日數ヲ乘

府ノ管掌スル保險ノ被保險者カ組合ノ管掌スル保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ當該組合ノ理事ニ對シ遲滞ナク事務ノ引繼ヲ爲スヘシ

附則 (昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス)

附則 (昭和八年九月內務省訓令第二四二〇號)

本令ハ昭和八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ使用中ノ被保險者遺帳ハ本令施行後ト雖モ之ヲ使用スルコトヲ妨ケス

附則 (昭和十五年五月三十一日)

附則 (厚生省訓令第二五四號)

本令ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス、但シ第六條中第十六號及第十九號ノ二、第二十八條ノ二、第三十二條、第三十三條、第三十五條ノ二、第三十五條ノ三、第四十三條及第四十五條ノ規定ハ昭和十四年法律第七十四號中第一條第二項、第七條第二項、第四十七條第二項、第三項、第六十二條第四項、及第六十九條ノ二ノ規定並ニ第七十六條ノ改正規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

分號ニ關スル保險給付ニシテ健康保險法第五十三條ノ改正規定施行ノ日前ニ爲シタルモノ及同規定施行ノ日ノ前後ニ隣ルモノニ關スル費用ノ分擔ニ關スル取扱ハ仍從前ノ規定ニ依ル

本令施行ノ際現ニ使用中ノ被保險者遺帳ニ付テハ世帯員ニ關スル記事ハ便宜其ノ療養給付欄(齒科診療欄)ニ記載シ置クヘシ

様式第一號 (健康保險組合章程)

第二編 國民健康保險法

第二章 健康保險令

名	事務所	所在地	組合ノ設立アル事業ノ名稱及所在地	設立認可ノ年月日	理事	長	事	備考	所
									主たる事務所

- 備考
- 一 分割又ハ合併ニ依リ成立シタル組合ニ付テハ「設立認可ノ年月日」欄ニ成立ノ年月日及事由ヲ記載スヘシ
 - 二 組合カ解散又ハ消滅シタルトキハ其ノ年月日及事由ヲ欄外ニ記載スヘシ

様式第二號 (被保険者名簿)

被保険者名簿 (男子用表紙)

被保険者	氏名	生年月日	性別	法第幾	被保険者証交付年月日	備考

事業主	資格取得	資格喪失	備考
氏名	年月日	年月日	

標準報酬等級	適用年月日	標準報酬額	備考

死亡ニ關スル給付	遺族ノ給付 (齒科診療)
死亡年月日	開始年月日
死因	終了年月日
埋葬料支給額	診療費
支給年月日	診療期間
	終了年月日

世帯員ニ關スル記事						
承認番號	承認年月日	承認番號	承認年月日	承認番號	承認年月日	備考

被保險者臺帳 (女子用表面)

昭 號	被保險者交付年月日	類別	法律 號
番 號	年 月 日	氏名	
番 號	年 月 日	生年月	年 月 日
職名/種別		備考	

事業主 氏名	工種、事業名又ハ事務名	資格取得年月日	資格喪失年月日	備考
	名稱 種類	原因	原因	
		年 月 日	年 月 日	

標準報酬等級			
適用等級	適用等級	適用等級	適用等級
年月日	年月日	年月日	年月日

死亡ニ關スル給付		法第六十二條第一項其四 令第八十八條第一項ノ規定	
死亡年月日	死因	事項	決定年月日

分娩ニ關スル給付			
分娩年月日	分娩費	助産ノ手當費	出產手當金
	支給額	支給額	支給額
	年月日	年月日	年月日

療養ノ給付 (齒科診療)			
傷病名	給付期間	終了診療事由	備考
	開始 終了 計 日 内		
	年 月 日 年 月 日		

世帯員ニ關スル記事			
承認番號	承認年月日	承認番號	承認年月日
	年 月 日	年 月 日	年 月 日

第二編 國民健康保險法 第二章 健康保險法

一四三ノ二一

(四)

療養ノ給付 (一般診療) (男子用表面)

傷病名	給付期間	終了診療事由	備考
	開始 終了 計 日 内		
	年 月 日 年 月 日		

傷病手當金			
傷病名	支給期間	支給額	備考
	開始 終了 計 日 内		
	年 月 日 年 月 日		

(五)

第二編 國民健康保險法 第二章 健康保險法

一四三ノ二〇

様式第十三號 (保險産産名簿)

被保険者氏名	開業所ノ所在地又ハ住所	指定年月日	公示年月日	備考

様式第十四號 (指定外醫師齒科醫師承認簿)

記載番號	被保険者氏名	傷病名	指定外醫師ノ氏名及住所	事由	承認番號	備考

様式第十五號 (延長診療認定簿)

備考
本帳簿ニ代ヘ指定外醫師受診承認何ノ原簿又ハ其ノ寫ヲ綴録シ置クモ差支ナシ

記載番號	被保険者氏名	病名	診療開始年月日	延長診療開始年月日	延長診療満了年月日	延長診療ヲ受ケントスル被保険者氏名住所	認定番號	備考

様式第十六號 (繼續療養承認簿)

備考
一 本帳簿ニ代ヘ延長診療認定何ノ原簿又ハ其ノ寫ヲ綴録シ置クモ差支ナシ
二 官公立大專附屬醫院(傳染病研究所)ノ取扱ニ係ルモノハ適當ニ記入シ其ノ醫院名ヲ朱書スヘシ
三 延長診療満了日前ニ轉院シタルトキハ轉院事由及年月日ヲ備考欄ニ記載スヘシ

記載番號	被保険者氏名	申請人ノ氏名及住所	傷病名	承認期間	療養ノ種類及金額	住所	診療氏名	備考

備考
本帳簿ハ承認申請書ヲ受理機關ノ上承認簿ト爲スモ差支ナシ
様式第十七號 (對診療承認簿)

記帳香號	被保險者氏名	傷病名	擔當保險醫氏名 及診療所所在地	對診療費ヲ爲サシ トスル保險醫氏名 及診療所所在地	對診療事由	備考

備考
本帳簿ニ代ヘ對診療承認何ノ原簿又ハ其ノ寫ヲ編綴シ置クモ差支ナシ
様式第十八號 (入院手術承認簿)

記帳香號	被保險者氏名	第一回 見日數	第二回 見日數	第三回 見日數	種類	費用 見積額	病院ノ名稱 及所在地	承認香號	備考

備考
一 本帳簿ニ代ヘ入院手術承認何ノ原簿又ハ其ノ寫ヲ編綴シ置クモ差支ナシ
二 官公立大學附屬醫院(傳染病研究所)ノ取扱ニ係ルモノニ付テハ適當欄ニ記入シ其ノ醫院名ヲ未書スヘシ
三 承認日數ト實際ノ入院日數ト異ナル場合ハ「備考」欄ニ實際日數ヲ記載スヘシ
様式第十八號ノ二 (世帯員診療承認簿)

承認年月日	被保險者 ノ氏名	世帯員 ノ氏名	傷病名	承認日數	處置手術 費用見積額	病院 所在地	支給期間	支給金額	支給年月日	備考

備考
一 本帳簿ニ代ヘ世帯員診療承認何ノ原簿又ハ其ノ寫ヲ編綴シ置クモ差支ナシ
二 一回ノ承認ニ對シ數回ニ亘リ補給金ヲ支給スル場合ニ於テモ同一欄内ニ記載スルコト
三 官公立大學附屬醫院(傳染病研究所)ノ取扱ニ係ルモノニ付テハ適當欄ニ記入シ其ノ醫院名ヲ未書スヘシ
四 延長診療ト爲リタルトハ當該欄ノ記載ハ之ヲ未書シ尙延長診療ノ開始及終了豫定年月日ヲ備考欄ニ未書スヘシ
様式第十九號 (看護承認簿)